SR-N5010
ネットワークデジタルレコーダ
取扱説明書

＜ユーザーズマニュアル＞

ご使用前に「取扱説明書」の ” 安全上のご注意 ” をよくお読みになり正しくお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られる場所に大切に保管してください。

第 1.1 版　2010 年 11 月 1 日　発行

株式会社 日立国際電気

安全にお使いいただくために

このたびは、SR-N5010 型ネットワークデジタルレコーダをお求めいただき、まことにありがとうございました。ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。

絵表示について

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

	△記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。
	○記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

⚠ 警告

■表示された電源電圧以外の電圧で使用しない
　表示された電源電圧（交流 100 ボルト）以外の電圧で使用しないでください。
　火災・感電の原因となります。

■異常なときは使わない
　煙が出ている、変な臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに電源を切り、煙が出なくなることを確認してから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

■電源コードに傷をつけない
　電源コードに傷をつけたり、加工したり、破損したりしないでください。また、重いものをのせたり、加熱したり、引っ張ったりするとコードが破損し、火災・感電の原因となります。

■電源コードが傷んだら交換する
　電源コードの芯線が露出したり、断線したときは交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

■発火や引火の危険性がある場所に設置しない
　ガスなどが充満した場所に設置すると、火災の原因となります。

■分解したり、異物を入れない
　ケースを開けて内部に触れたり、金属類や燃えやすいものなどを入れないでください。火災・感電の原因となります。

■改造しない
　この機器を改造しないでください。火災・感電の原因となります。

■水にぬらさない
　水にぬらすと火災・感電の原因となります。万一内部に水が入った場合はご使用を中止し、電源を切ってからお買い上げの販売店にご連絡ください。

■この機器を設置す場合は、間隔を設ける
　放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して設置してください。ラックなどに入れるときは、すきまをあけてください。また、この機器の上に物を載せたり、横倒しや逆さに設置しないでください。内部に熱がこもり火災の原因となります。

■水の入った容器を置かない
　この機器の上に花瓶、植木鉢、化粧品、薬品、水などの入った容器（水槽やコップ）などを置かないでください。
こぼれたりして、内部に水などが入ったまま使用すると火災・感電の原因となります。

■不安定な場所に置かない
　ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。

■振動、衝撃のある場所では使用しない
　落下してけがの原因となります。

■電源を入れたままコネクタや端子台にさわらない
　機器にコネクタを接続するときや端子台に配線を行う時は必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。感電の原因となることがあります。

⚠ 警告

■アースをとって使用する

3 線式電源コードを使用しています。3 線ー2 線変換アダプタを使用して 2 線式 AC 電源に接続する場合は､必ず本体の FG 端子を安全アース用端子に接続したうえでご使用ください。3 線式電源コードの場合は、必ず安全アース用端子を持つソケットに差し込んでご使用ください。アースされていないと感電の原因になります。

■濡れた手でプラグを抜き差ししない

濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電の原因となることがあります。

⚠ 注意

■湿気やほこりの多い場所に設置しない
　火災・感電の原因となることがあります。

■油煙や湯気があたる場所に設置しない
　調理台や加湿器などのそばに設置しないでください。火災・感電の原因となることがあります。

■接続コードを熱機器に近付けない
　コードの皮膜が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

■温度・湿度については、使用環境で定めてある範囲で使用する
　この機器の設置環境は使用環境で定めてある範囲で使用してください。
内部の温度・湿度が上がり、火災や故障の原因となることがあります。

■風通しの悪いところには置かない
　風通しの悪いところに置いたり、通風孔をふさがないでください。機器の通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。

■引火性ガス、腐食性ガスのあたるところには置かない
　この機器の周囲に引火性ガスや腐食性ガスがあると、火災の原因になることがあります。

■長時間ご使用にならないときにはプラグを抜く
　長時間ご使用にならないときは、安全のため電源コードのプラグをコンセントから抜いてください。
火災の原因になることがあります。

■電源プラグを抜くときは必ずプラグを持つ
　プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。

■保守点検について
　保守点検を販売店までご相談ください。機器内部にほこりがたまったまま、長い時間掃除しないと火災や故障の原因となることがあります。特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。
なお、保守点検の費用については販売店までご相談ください。

■電源プラグの掃除
　電源プラグを長時間差し込んだままにしておくと、差し込み部分にほこりがたまり、火災の原因になることがあります。
年に一度くらいはプラグを抜いて、ほこりを取ってください。

■お手入れするときは電源プラグを抜く
　安全のため、必ず電源プラグをコンセントから抜いてお手入れしてください。

このマニュアルについて

このマニュアルは、SR-N5010 をご利用の管理者またはユーザを対象としています。このマニュアルには、お使いのネットワーク上で SR-N5010 の設定、管理を行うための手順が含まれています。

必要に応じて、内容を更新したマニュアルを株式会社日立国際電気（以下、日立国際電気）のホームページで公開することがあります。

知的財産所有権

本製品には、ライセンスされたサードパーティ製のソフトウェアが含まれています。詳しくは、本製品の内部 WEB ページ（［インフォメーション］-［バージョン］）を参照してください。

法律上の注意事項

ビデオの録画は法律によって禁止されている場合があり、その内容は国によって異なります。本製品を監視用途でご利用になる前に、ご利用頂く地域の法律を確認してください。

本製品をご使用いただく前の注意

- 正しい電圧（100V AC）で使用してください。他の電圧で使用すると、火災・感電を引き起こす原因となります。
- 本製品は UPS（無停電電源装置）と併用することをお勧めします。
- 本製品は精密機器ですので、取り扱いには十分ご注意ください。振動や衝撃を与えると故障の原因となることがあります。本製品を輸送する場合は、購入時に使用されていた梱包材を使用するようにしてください。
- 本製品の移動は、電源を落とした後、30 秒以上たってから行ってください。ハードディスクの故障の原因となります。
- 本製品を水にぬらしたり、湿気の多い場所で使用しないでください。火災・感電を引き起こす原因となります。製品内部に水が入った場合は、電源を抜いて販売店までご連絡ください。
- 長時間ご使用にならない場合は、電源コードのプラグを抜いてください。
- ケースを開けたり、また内部の部品に触れたりしないでください。
- 本製品の設置場所にご注意ください。振動、衝撃のあるところ、直射日光の当たるところ、引火性ガスや腐食性ガスのあるところ、動作環境の範囲外となる高温または低温の環境などに設置しないでください。本製品は屋内専用です。
- 本製品を長くお使いいただくためにも、動作環境は 40℃以下に保つようにしてください。
- 動作環境が 5℃以下の場合は、本製品の電源を常に入れたままの状態にしてください。

責任

日立国際電気は、このマニュアルの技術的、印刷上の誤りについて、一切の責任を負いません。また日立国際電気は、予告なく製品やマニュアルの記載内容に対して変更、修正を行うことがあり、将来にわたるいかなる約束を表明するものではありません。日立国際電気は、日立国際電気製品およびソフトウェアの使用の結果に生じた、偶発的な損害および間接的な損害、またこれらに付随する事業上の利益の損失、データの喪失、その他使用に起因して生じるいかなる損害に対しても責任を負いません。日立国際電気は、このマニュアルに含まれる記述、製品の商業価値および製品の特定用途に対する適合性について、明示的また黙示的な保証を一切いたしません。また、ハードディスクの故障によるデータの消失について一切の責任を負いません。

商標

Acrobat、Adobe、Boa、Ethernet、IBM、Linux、Macintosh、Microsoft、Mozilla、Netscape Navigator、Windows、WWW、AXIS は各社の登録商標です。Java およびすべての Java 関連の商標およびロゴは、米国およびその他の国における米国 Sun Microsystems Inc. の商標または登録商標です。NDR は株式会社日立国際電気の登録商標です。

使用権の許諾

本製品を利用する目的に限り本製品に含まれるソフトウェアを使用する権利を本製品の購入者に対して許諾します。使用者は本製品にアクセスするコンピュータ 1 台に対してのみ本製品に含まれるソフトウェア 1 式をインストールし、使用することができます。インストールしたコンピュータに不具合等が発生し、当該コンピュータでは本製品に含まれるソフトウェアの使用ができなくなった場合に限り、使用者は本製品にアクセスする別のコンピュータに本製品に含まれるソフトウェアを再インストールして使用することができます。
本製品に含まれるソフトウェアの著作権は㈱日立国際電気が保有しております。
使用許諾契約を締結した場合であっても、本製品に含まれるソフトウェアの知的財産所有権は㈱日立国際電気が保有します。
使用者は本製品に含まれるソフトウェアの賃貸、リース、あるいは、第三者への使用権の許諾を行うことはできません。本製品に含まれるソフトウェアをリバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブル等すること、またそれによって得た情報をもとにしていかなる創造物も作成することはできません。また、本製品に含まれるソフトウェアの一部または全部のコピーを禁止します。

著作権保護に関する注意事項

他者の著作物を含むお客様が撮影、録画、録音されたデータを複製、送信などされる場合には著作権者の許諾が必要になります。許諾を得ずに他者の著作物を含むお客様が撮影、録画、録音されたデータを複製、送信などされると著作権法違反となり、損害賠償などを請求されます。お客様が撮影、録画、録音されたデータを複製、送信などされる場合には他者の著作物が含まれていないか十分に確認したうえでお客様の責任で行ってください。弊社では責任を負いかねます。

個人情報保護に関する注意事項

お客様が撮影、録画、録音されたデータであっても、それによって特定の個人が識別できる場合にはお客様が撮影、録画、録音されたデータは個人情報の保護に関する法律に定められる個人情報に該当します。お客様が撮影、録画、録音されたデータで特定の個人が識別できるデータを保存した機器、メディアを譲渡や廃棄される場合には個人情報の保護に関する法律に従う形で適切な手法でお客様の責任で行ってください。弊社では責任を負いかねます。

経済産業省の個人情報に関する Web サイト（http://www.meti.go.jp/policy/it_policy/privacy/index.html）をご参照ください。

ネットワーク使用上の注意事項

本製品はネットワークに接続して使用する特性上、ネットワークを経由しての情報漏えいや不正操作、または、プライバシーや肖像権の侵害などが発生する可能性があります。ファイアウォール、VPN などを使用した不正アクセスの防止や適切なアクセス権の設定、管理者のデフォルトパスワードの速やかな変更や適切なアクセス権の設定などの機器の設定、カメラの設置場所や画角の設定を適切に設定するなどの対策をお客様の責任で行ってください。弊社では責任を負いかねます。

その他

このマニュアルの制作には細心の注意を払っておりますが、不正確な記述や脱落、乱丁または落丁を見つけられた場合は、http://www.hitachi-kokusai.co.jp/までご連絡ください。

MPEG-4 特許ライセンスに関するご注意

本製品は、画像情報の取扱に関して、MPEG 技術（MPEG-4 VISUAL STANDARD）を使用しており、同技術の使用に関しては、特許管理団体 MPEG LA,LLC.の許諾を受けております。以下の場合を除いては、本製品のご利用が禁止されていますので、ご注意ください。
MPEG 技術利用者の自己使用及び非営利的な使用であって、
（i）MPEG-4 VISUAL STANDARD に適合するビデオ（以下、「MPEG-4 ビデオ」）の符号化、
及び又は、
（ii）自己使用及び非営利活動に従事する MPEG 技術利用者により符号化された MPEG-4 ビデオ、及び又は、MPEG LA,LLC. からライセンス許諾されているビデオ・プロバイダーから提供された MPEG-4 ビデオの複合化。
なお、販売促進のための使用、営利目的の使用、並びに、ライセンスに関する追加情報は、MPEG LA,LLC.までお問い合わせください。
HTTP://WWW.MPEGLA.COM をご参照ください。

THIS PRODUCT IS LICENSED UNDER THE MPEG-4 VISUAL PATENT PORTFOLIO LICENSE FOR THE PERSONAL AND NON-COMMERCIAL USE OF A CONSUMER FOR
(i) ENCODING VIDEO IN COMPLIANCE WITH THE MPEG-4 VISUAL STANDARD ("MPEG-4 VIDEO") AND/OR
(ii) DECODING MPEG-4 VIDEO THAT WAS ENCODED BY A CONSUMER ENGAGED IN A PERSONAL AND NON-COMMERCIAL ACTIVITY AND/OR WAS OBTAINED FROM A VIDEO PROVIDER LICENSED BY MPEG LA TO PROVIDE MPEG-4 VIDEO.
NO LICENSE IS GRANTED OR SHALL BE IMPLIED FOR ANY OTHER USE.
ADDITIONAL INFORMATION INCLUDING THAT RELATING TO PROMOTIONAL,INTERNAL AND COMMERCIAL USES AND LICENSING MAY BE OBTAINED FROM MPEG LA,LLC. SEE HTTP://WWW.MPEGLA.COM.

目次

ご使用になる前に **11**

概要 11
主な特長 11
同梱品の確認 12
動作環境 13

各部の名称 **14**

前面パネル 14
前面スイッチ、背面パネル 15
モニタ表示、操作パネル 19

機器の接続 **25**

各機器の設置・接続 25
ネットワーク接続 25
映像記録装置にアクセスする 26
パスワードの変更 33
新しいユーザの作成 34
ユーザ認証設定 36
一覧表示 37
ログ&サーバレポート 38
基本設定 39

メインビュー画面の設定 **43**

録画カメラ 43
1 画面表示 48
4 画面表示 49
9 画面表示 51
シーケンス（自動スキャン） 53
本体モニタ表示 55

カメラ選択画面の設定 **56**

ネットワークカメラ 56
1 画面表示 59
4 画面表示 60
9 画面表示 61

全画面表示 62
メニュー 65
ネットワークグループ 68
登録情報コピー 69

カメラ制御 70

カメラ制御 70

ビデオの録画 72

スケジュール録画 73
手動録画 75
アラーム録画 77
音声記録 81

ビデオの再生 83

日付と時刻を利用した再生 84
アラーム一覧を利用した再生 86
録画データをコンピュータにダウンロードする 88
ダウンロードデータを再生する 91

ハードディスク 92

ディスク容量 92

アプリケーション 94

起動時 94
アラーム（電子メール） 96
SNMP 98
メディア 102
日付 & 時刻 103

その他 106

WEB ページ 106
メンテナンス 108

トラブルシューティング 109

SR-N5010 をリセットする 109
インターネット経由で SR-N5010 にアクセスする場合 111
サポート 112
症状、考えられる原因、および対処方法 112

交換部品 114

付 録 115

主な仕様 115
外形寸法図 116
工場出荷時の設定 117

保証とアフターサービス 123

ご使用になる前に

概要

SR-N5010 ネットワークデジタルレコーダは、ネットワーク型監視システムにおいて、WEB エンコーダ、または IP カメラにより配信される映像をネットワーク経由で録画・配信する映像記録装置です。1000GB（実効容量 930GB）の大容量ハードディスクを搭載し、長時間録画することができます。

主な特長

（1） WEB エンコーダ、または、IP カメラより配信された画像をネットワークから直接受信し、録画することができます。

（2） ネットワーク上の PC からアクセスすることにより録画画像をモニタすることができます。

（3） ネットワークデジタルレコーダの外部出力モニタで、1／4／9 画面のモニタ表示をすることができます。また、自動スキャン設定で指定された映像を自動切換表示することができます。

（4） 多様な検索機能［カレンダー選択、時刻指定による時刻検索、アラーム検索など］および強力な再生機能［同時録再（録画しながらの再生、4／9 分割画面のそれぞれで非同期または同期を選択可能）、最大 1200 倍の高速再生、コマ送り、逆方向再生など］により目的の画像をすばやく取り出すことができます。

同梱品の確認

パッケージを開き、内容物を以下のリストと照らし合わせてください。不足しているものや破損しているものがあった場合は、お早めに購入先までご連絡ください。

パッケージの内容

- ネットワークデジタルレコーダ　SR-N5010 本体　1 式
- AC コード　1 本
- CD-ROM　1 ヶ
- ISnex Viewer インストール手順書　1 部
- ヒューズ　2 ヶ
- 鍵　2 ヶ

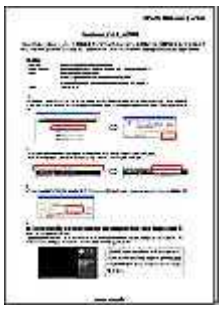
SR-N5010 本体

CD-ROM

AC コード

ヒューズ

鍵



ISnex Viewer インストール手順書

動作環境

クライアント PC 仕様

本機で配信する映像を表示するためには、クライアント PC 上で動作するブラウザと映像表示用 ISnex Viewer が動作する必要があります。このために、以下の条件を満足するクライアント PC をご用意ください。

＜ハードウェア仕様＞

項　目	内　容
コンピュータ本体	IBM PC-AT 互換機 （日本電気製 PC-98、アップル社製 Mac などは使用できません。）
CPU	Pentium４ (3.2GHz 以上) ただし H.264 を使用する場合は下記の CPU 仕様を推奨します。 （１画面表示）　Intel Core2 Duo 2.6GHz 以上 （４画面表示）　Intel Core2 Extreme 2.6GHz　以上
メモリ	Windows XP　　：１Gbyte 以上 Windows Vista　：４Gbyte 以上
グラフィック	XGA(1024×768)以上　かつ HighColor(16ﾋﾞｯﾄ)以上
HDD	100MB 以上の空き
Ethernet	10BASE-T もしくは 100BASE-TX もしくは 1000BASE-T （注）1000BASE-T 時は、Pause 制御が必要です。接続するハブの Pause 制御を有効にしてください。

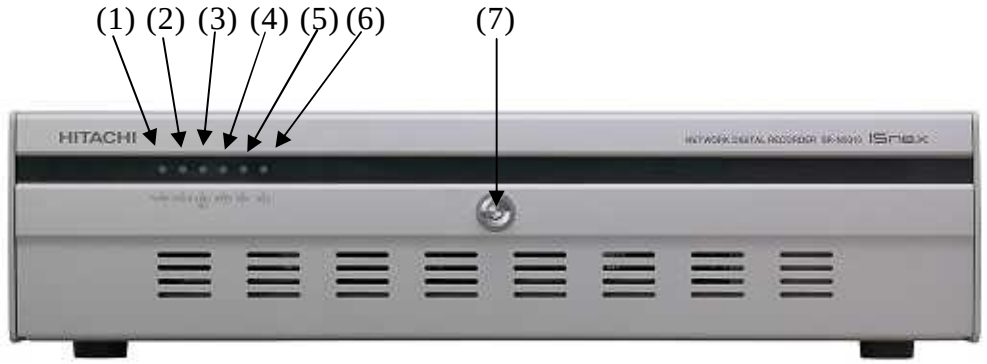
＜ソフトウェア仕様＞

項　目	内　容	備　考
ＯＳ	Windows XP Professional SP3 以降 Windows Vista SP1 以降	標準構成での導入のみ Linux,Mac などの OS では使用できません。
ブラウザ	Microsoft IE6.0/IE7.0	Netscape 製 Communicator には対応していません。

注：これらの条件は目安です。動作性能を保証するものではありませんのでご了承ください。

各部の名称

前面パネル



前面パネルに備えられている LED は、SR-N5010 の現在のステータスに関する情報を提供します。

LED の機能全般について

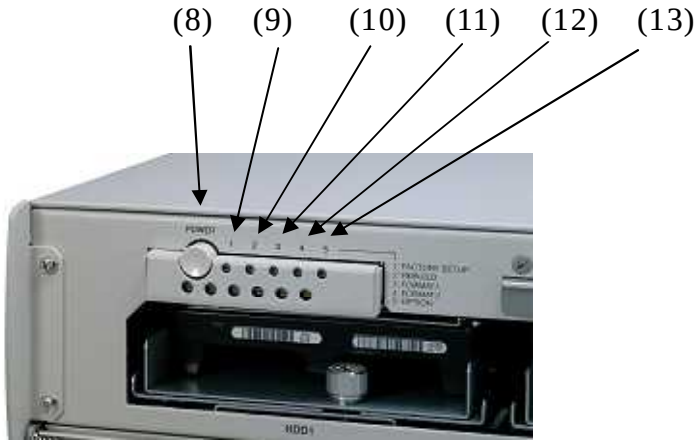
番号	LED	色	内容
(1)	POWER	グリーン	正常に動作しています。
		オレンジ	POWER OFF（スタンバイ）時に、オレンジ点灯します。 起動処理中または終了処理中に、オレンジ点滅します。
(2)	STATUS	グリーン	正常に動作中は、グリーン点灯します。
		オレンジ	工場出荷時の状態にリセットしている場合に、オレンジ点滅します。 データベースの修復中に、オレンジ点滅します。 データベースの修復に失敗すると、オレンジ点灯します。
		レッド	内部温度異常昇またはファンエラーが発生した場合に、レッド点灯します。
(3)	LINK/ACT	グリーン	通信中に、グリーン点滅します。
		消灯	未通信中です。
(4)	SPEED	グリーン	10Mbps ネットワークに接続している場合は、グリーン点滅します。
		グリーン	100Mbp ネットワークに接続している場合は、グリーン点灯します。
		オレンジ	1Gbps ネットワークに接続している場合は、オレンジ点灯します。
		レッド	IP アドレスが重複した場合に、レッド点灯します。
		消灯	ネットワークに接続されていません。
(5) (6)	HDD1 HDD2	グリーン	HDD が正常状態かつディスク書込み、読込み中にグリーン点滅します。
		レッド	ハードディスクのエラーが発生した場合に、レッド点灯します。
		消灯	ディスクが未搭載です。

(7) 鍵穴　　前面パネルを施錠、開錠します。

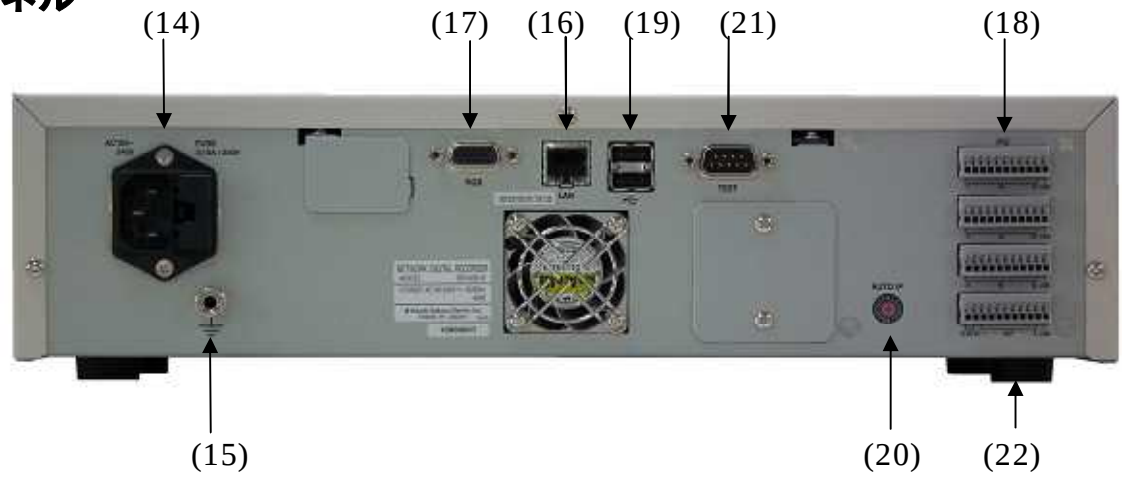
注意：　下記の作業は絶対に行わないでください。NDR が動作しなくなる場合があります。

- **(8)の電源スイッチを、4 秒以上押したままにしないでください。**
- **設定作業中には、電源を切らないでください。**
- **(1)の POWER LED がオレンジ点滅中はコンセントから電源ケーブルを抜かないでください。点滅が止まってオレンジ点灯になってから電源ケーブルを抜いてください。**
- **NDR の移動は電源切断後 30 秒以上経過してから行ってください。**

前面スイッチ



背面パネル



(8)電源スイッチ（POWER）

本機の電源を入／切します。

電源が切の状態でスイッチを押し電源を投入すると、起動処理が開始され、前面パネル(1)の POWER LED がオレンジ点滅します。約 4 分後に動作開始状態となり、LED がグリーン点灯になります。
電源が入の状態でスイッチを押すと、終了処理が開始され LED がオレンジ点滅します。約 1 分後にスタンバイ状態となり、LED がオレンジ点灯になります。

(9)FACTORY SETUP　SR-N5010 を工場出荷時の状態にリセットする時に使用します。リセットの手順について詳しくは［SR-N5010 をリセットする］を参照してください。細い形状のもの（ピンなど）でボタンを５秒以上長押ししてください。

(10)REBUILD　標準では使用しません（RAID 機能用です）。

(11)FORMAT1　標準では使用しません（HDD1 をフォーマットする時に使用します）。

(12)FORMAT2　標準では使用しません（HDD2 をフォーマットする時に使用します）。

(13)OPTION　通常は使用しません（テスト用です）。

(14)AC 電源コネクタ　付属の電源コードを接続します。
電源コードを接続して通電開始すると“電源スイッチを押さなくても”自動で電源が入ります。

注意：
- **NDR 動作中には、絶対にコンセントや電源ケーブルを抜かないでください。**
- **電源を切る場合は必ず(8)の電源スイッチから行ってください。**
- **(10) ～ (13)のボタンは保守用のため、使用しないでください。**

(15) ⏚　アース端子。必ず筐体を接地してください。

(16)LAN コネクタ　LAN ケーブルを接続します。
（注）1000BASE-T 時は、接続するハブの Pause 制御を有効にしてください。

(17)モニタ出力コネクタ　RGB 出力でモニタ出力表示をします。
（注）映像の動画性には制限があります。数フレーム／秒程度となります。

・動作確認済みモニタ一覧

	販売元（製造元）	製品コード	入力信号
1	日立製作所	PC-DTA17BSXN	アナログ RGB

注意：
- **モニタによっては表示できない場合があります。**
- **動作確認済みモニタの使用を推奨します。**

(18)接点端子　　入力 32、出力 8 の接点入出力端子

端子台	ピン番号	信号名	端子台	ピン番号	信号名
1	IN 1	アラーム入力 1	3	IN 21	アラーム入力 21
	IN 2	アラーム入力 2		IN 22	アラーム入力 22
	IN 3	アラーム入力 3		IN 23	アラーム入力 23
	IN 4	アラーム入力 4		IN 24	アラーム入力 24
	IN 5	アラーム入力 5		IN 25	アラーム入力 25
	IN 6	アラーム入力 6		IN 26	アラーム入力 26
	IN 7	アラーム入力 7		IN 27	アラーム入力 27
	IN 8	アラーム入力 8		IN 28	アラーム入力 28
	IN 9	アラーム入力 9		IN 29	アラーム入力 29
	IN 10	アラーム入力 10		IN 30	アラーム入力 30
	COM	GND（入出力共通）		COM	GND（入出力共通）
2	IN 11	アラーム入力 11	4	IN 31	アラーム入力 31
	IN 12	アラーム入力 12		IN 32	アラーム入力 32
	IN 13	アラーム入力 13		OUT 1	アラーム録画中出力
	IN 14	アラーム入力 14		OUT 2	チャンネルロスト出力
	IN 15	アラーム入力 15		OUT 3	HDD 書込みエラー出力
	IN 16	アラーム入力 16		OUT 4	HDD フル出力
	IN 17	アラーム入力 17		OUT 5	システム温度エラー出力
	IN 18	アラーム入力 18		OUT 6	ファンエラー出力
	IN 19	アラーム入力 19		OUT 7	（予約）
	IN 20	アラーム入力 20		OUT 8	LAN エラー出力
	COM	GND（入出力共通）		COM	GND（入出力共通）

＜接点（PIO）仕様＞

・接点入力（IN）

OFF：オープン

ON ：GND とのメーク接点

・接点出力（OUT）

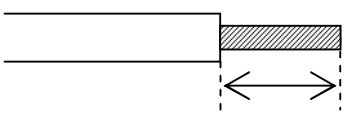
OPEN ：オープンコレクタ出力、オープン

外部からの最大印加電圧 DC20V

CLOSE：GND とのメーク出力（50mA 以下）

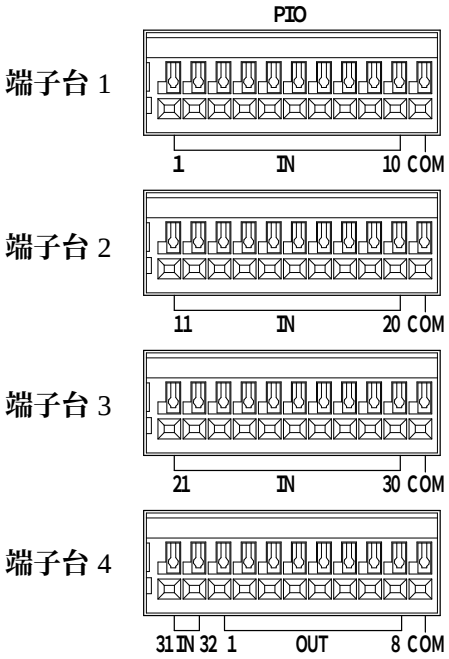
＜線材仕様＞

AWG22～28



むきしろ 9mm～10mm

＜端子台外観　ピン番号配置図＞



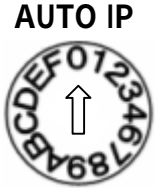
アラーム入力接点仕様　　：無電圧 a 接点（短絡で ON）
ホールド型（アラーム期間中、常に ON 状態）

アラーム出力条件：下記の通り

信号名	考えられる原因／対処方法
アラーム録画中出力	いずれかの録画カメラでアラーム録画が動作中である場合
チャンネルロスト出力	いずれかの録画カメラで映像取得に失敗した場合 エンコーダかネットワークに異常が考えられる
HDD 書込みエラー出力	いずれかの録画カメラで HDD 書込みエラーが発生した場合 HDD の異常が考えられる
HDD フル出力	いずれかの上書き禁止設定の録画カメラが録画領域を使い切った場合 全録画カメラが上書き禁止設定でない場合は出力されない
システム温度エラー出力	筐体内部の温度に異常がある場合
ファンエラー出力	ファンの回転が停止した場合
LAN エラー出力	本機がネットワーク通信を行えない場合

(19)USB コネクタ　　マウスを接続します。
DVD±R/RW、または、CD-R/RW を接続し、録画データのダウンロードを実行します。

(20)AUTO IP ロータリスイッチ　　ロータリスイッチを使用して本機の IP アドレスを設定します。スイッチの設定値と IP アドレスの対応表を以下に示します。以下の組み合わせ以外の場合は AUTO IP 機能は無効になります。



ロータリスイッチ	IP アドレス
0	―
1	192.168.1.62
2	192.168.1.63
3	192.168.1.64
4	192.168.1.65
5	192.168.1.66
6	192.168.1.67
7	192.168.1.68
8	192.168.1.69
9	192.168.1.70
A	192.168.1.71
B	192.168.1.72
C	192.168.1.73
D	192.168.1.74
E	192.168.1.75
F	―

(21)TEST コネクタ　　通常は使用しません（テスト用コネクタです）。

(22)ゴム足　　本機器は据え置き設置用です。

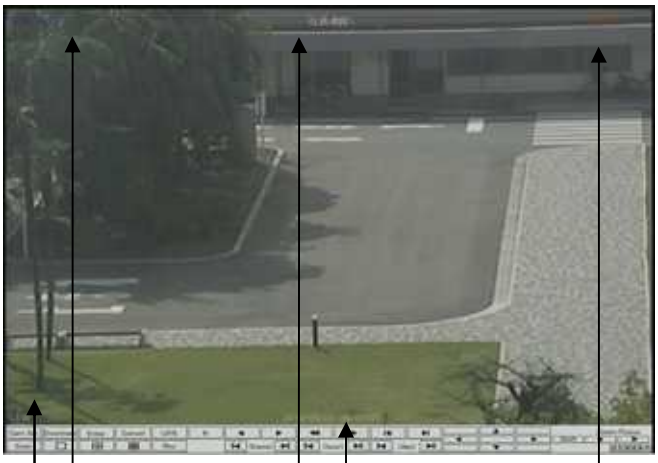
モニタ表示、操作パネル

1 画面表示

4 画面表示

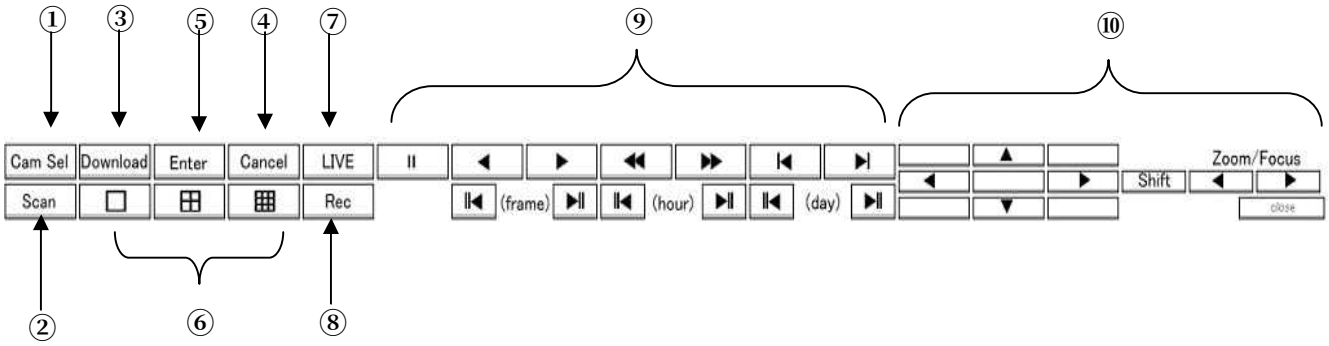
9 画面表示

自動スキャンモード



ダウンロードモード

操作パネル　（モニタ表示の下に操作用ボタンが表示されます）



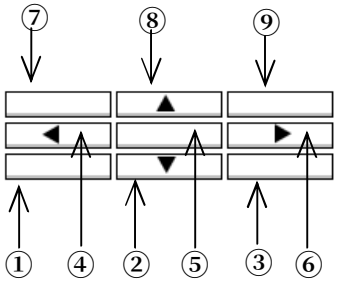
・操作パネル　　マウスでモニタ表示映像の操作を行うことができます。

操作パネルの説明

	項　目	表示	内　　容
①	カメラ選択ボタン	Cam Sel	「映像操作／映像検索／カメラ操作」を行なう対象を選択する
②	自動スキャンボタン	Scan	自動スキャン開始／停止
③	記録画像ダウンロードボタン	DownLoad	記録映像を USB 経由で記録媒体にダウンロードする
④	キャンセルボタン	Cancel	キャンセルを示す用途全般（例：ダウンロードキャンセル）に使用
⑤	決定ボタン	Enter	決定を示す用途全般（例：ダウンロード映像決定）に使用
⑥	表示パターン選択ボタン		単画面、4 画面、9 画面パターン選択
⑦	ライブ表示ボタン	LIVE	既選択カメラのライブ映像を表示する
⑧	録画ボタン	Rec	既選択カメラの手動録画開始／停止
⑨	映像操作ボタン	―	停止、逆再生、再生、早戻し、早送り、先頭、末尾、コマ戻し、コマ送り、1 日前、 1 日後、1 時間前、1 時間後
⑩	カメラ制御ボタン	―	既選択カメラの PTZ、フォーカス操作

モニタ画面の操作ボタンによるカメラ制御操作

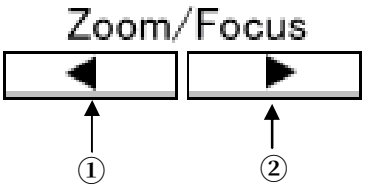
パン/チルト/オートフォーカスボタン



：①　：左下旋回動作
：②　：下旋回動作
：③　：右下旋回動作
：④　：左旋回動作
：⑤　：オートフォーカス動作
：⑥　：右旋回動作
：⑦　：左上旋回動作
：⑧　：上旋回動作
：⑨　：右上旋回動作

SHIFT ON 状態での操作の場合は高速旋回動作します。

ズーム/フォーカスボタン



：①　（SHIFT OFF）：広角ズーム動作
：②　（SHIFT OFF）：望遠ズーム動作
：①　（SHIFT ON）：近フォーカス動作
：②　（SHIFT ON）：遠フォーカス動作

シフトボタン

Shift

：シフトの ON/OFF を切り替えます。シフト ON 時は画面に SHIFT ON と表示されます。

クローズボタン

close

：画像表示から設定表示への切替を行います。下記設定画面が表示されます。
設定内容および方法は PC ビューアと同様です。

この close ボタンを押すと映像表示画面に戻ります。

操作パネルによる映像操作

逆方向再生、順方向再生ボタン

：逆方向、順方向への等速再生を行ないます。
画面右下に“＜”(逆再生)、“＞”(再生）マークが表示されます。

逆方向高速再生、順方向高速再生ボタン

：逆方向、順方向への高速再生を行ないます。押すごとに高速(低)→高速(中)→高速(高)→高速(低)→・・・と速度が変化します。画面右下に“＜＜”(逆高速再生)、“＞＞”(高速再生）マークが表示されます。

先頭、末尾ボタン

：先頭、末尾の映像を表示します。
画面右下に“｜＜”(先頭)、“＞｜”(末尾）マークが表示されます。

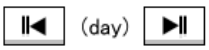
コマ戻し、コマ送りボタン

：現在表示映像の 1 コマ前、後ろの映像を表示します。

1 時間戻し、1 時間送りボタン

：現在表示映像の 1 時間前、後ろの映像を表示します。1 時間前、後ろの映像が SR-N5010 内に保存されていない場合は最寄の映像を表示します。
SHIFT ON 時は 1 分戻し、1 分送りボタンとして動作します。

1 日戻し、1 日送りボタン



：現在表示映像の 1 日前、後ろの映像を表示します。1 日前、後ろの映像が SR-N5010 内に保存されていない場合は最寄の映像を表示します。
SHIFT ON 時は 10 分戻し、10 分送りボタンとして動作します。

ライブボタン

LIVE

：ライブ映像を表示します。
画面右下に“ LIVE ”マークが表示されます。

手動録画ボタン

Rec

：手動録画の開始、停止を行ないます。
手動録画を開始すると画面右上に“ [M]REC ”が表示されます。

停止ボタン

| |

：再生操作を停止します。
画面右下に“ | | ”(停止）マークが表示されます。

自動スキャンボタン

Scan

：自動スキャンの開始、停止を行ないます。
スキャンを開始すると画面左上に“ SCAN MODE ”が表示されます。

操作パネルによるカメラ選択手順

1. 1 画面
   ［1 画面表示パターン選択ボタン ］をクリックして画面表示を 1 画面表示にします。
   ［1 画面表示パターン選択ボタン ］を続けてクリックすることで登録されているカメラを
2. 順送りに選択することができます。
   また、1 画面表示時には[カメラ選択ボタン Cam Sel ］をクリックすることで登録されているカメラを順送りに選択することもできます。

3. 4 画面
   ［4 画面表示パターン選択ボタン ］をクリックして画面表示を 4 画面表示にします。
   ［4 画面表示パターン選択ボタン ］を続けてクリックすることで登録されている 4 画面パターンを順送りに選択することができます。
   4 画面表示時に［カメラ選択ボタン Cam Sel ］をクリックすることで映像操作、または、カメラ制御の対象になる画面を切り替えることができます。現在選択されている画面は周囲にオレンジ色の枠線が表示されます。

4. 9 画面
   ［9 画面表示パターン選択ボタン ］をクリックして画面表示を 9 画面表示にします。
   ［9 画面表示パターン選択ボタン ］を続けてクリックすることで登録されている 9 画面パターンを順送りに選択することができます。
   9 画面表示時に[カメラ選択ボタン Cam Sel ］をクリックすることで映像操作、または、カメラ制御の対象になる画面を切り替えることができます。現在選択されている画面は周囲にオレンジ色の枠線が表示されます。

操作パネルによる記録映像ダウンロード手順

0. 準備
   SR-N5010 本体の USB コネクタにドライブを接続してブランクメディアをセットしてください。（対応ドライブは DVRP-UN8PL2（株式会社 アイ・オー・データ機器）/ LF-P968C（松下電器産業株式会社）の 2 種類です。［アプリケーション］-［メディア］ページで設定します。）

1. DownLoad モード移行
   ［DownLoad ボタン Download ］をクリックして DownLoad モードに移行します。
   画面に DOWNLOAD MODE と表示されます。

2. 始点画像設定
   画面に［Please set the starting point：］と表示されていることを確認してください。
   ［映像操作ボタン］を使用してダウンロードを行う画像データの始点画像を表示した後に、［Enter ボタン Enter ］をクリックします。
   始点画像データの時刻が画面に表示されていることを確認してください。

3. 終点画像設定
   画面に［please set the terminal point：］と表示されていることを確認してください。
   ［映像操作ボタン］を使用してダウンロードを行う画像データの終点画像を表示した後に、［Enter ボタン Enter ］をクリックします。
   終点画像データの時刻が画面に表示されていることを確認してください。

4. ダウンロード実行
   始点および終点画像設定を行った後に、再度［DownLoad ボタン Download ］をクリックすることでダウンロードが実行されます。
   ダウンロード処理終了後に自動的に通常モードに復帰します。

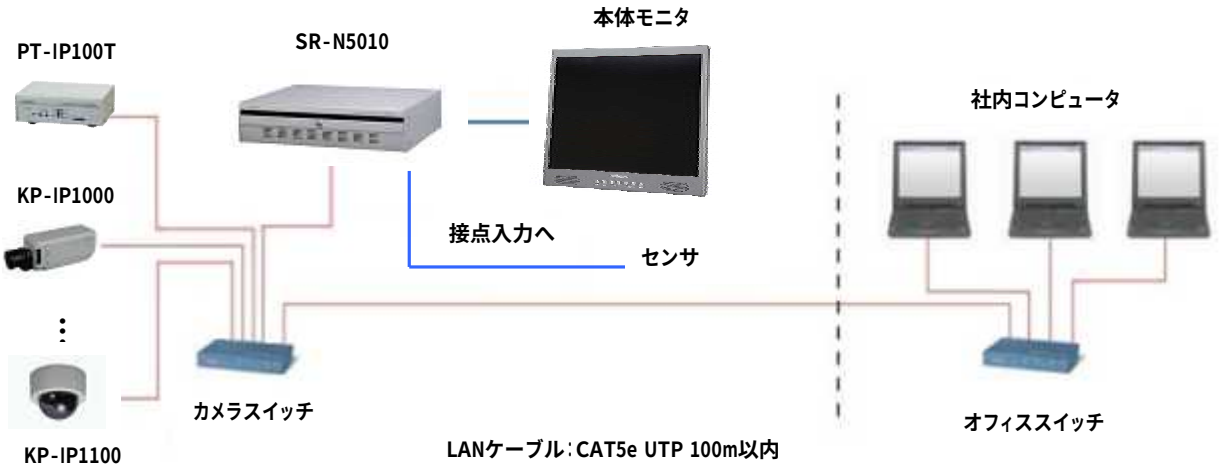
注意： **DownLoad モードに移行した後にダウンロード処理を中止したい場合には、[Cancel ボタン Cancel] をクリックすることにより、通常モードに移行します。ただし、「4．ダウンロード実行」でダウンロード実行操作を行って以降中止操作はできません。**

機器の接続

本章では、SR-N5010 の最も基本的な設置、接続、設定および操作に関して、手順を記述します。

各機器の設置・接続

SR-N5010 は据え置き設置型です。設置および接続の際は、以下に示す接続例および 2 頁の［安全にお使いいただくために］、6 頁の［本製品をご使用いただく前の注意］をよくお読みになり、正しく設置、接続してください。
接点入出力の仕様については、17 頁の［各部の名称］－［(18)接点端子］を参照してください。



ネットワーク接続

SR-N5010 にアクセスする前に、お使いのネットワークに接続する手順について説明します。以下の手順にしたがって、SR-N5010 をお使いのローカルエリアネットワーク（LAN）に接続してください。

1. SR-N5010 とお使いのコンピュータをクロスケーブルで接続します。お使いのローカルエリアネットワークに IP アドレス 192.168.1.120 の機器が存在しない場合は、お使いのローカルエリアネットワークに SR-N5010 とコンピュータを接続しても構いません。コネクタ類の位置については、14 頁の［各部の名称］を参照してください。
2. SR-N5010 にアクセスします。26 頁の［映像記録装置にアクセスする］を参照してください。
3. SR-N5010 の IP アドレスを設定します。39 頁の［基本設定］を参照してください。
4. パスワードを設定します。33 頁の［パスワードの変更］を参照してください。

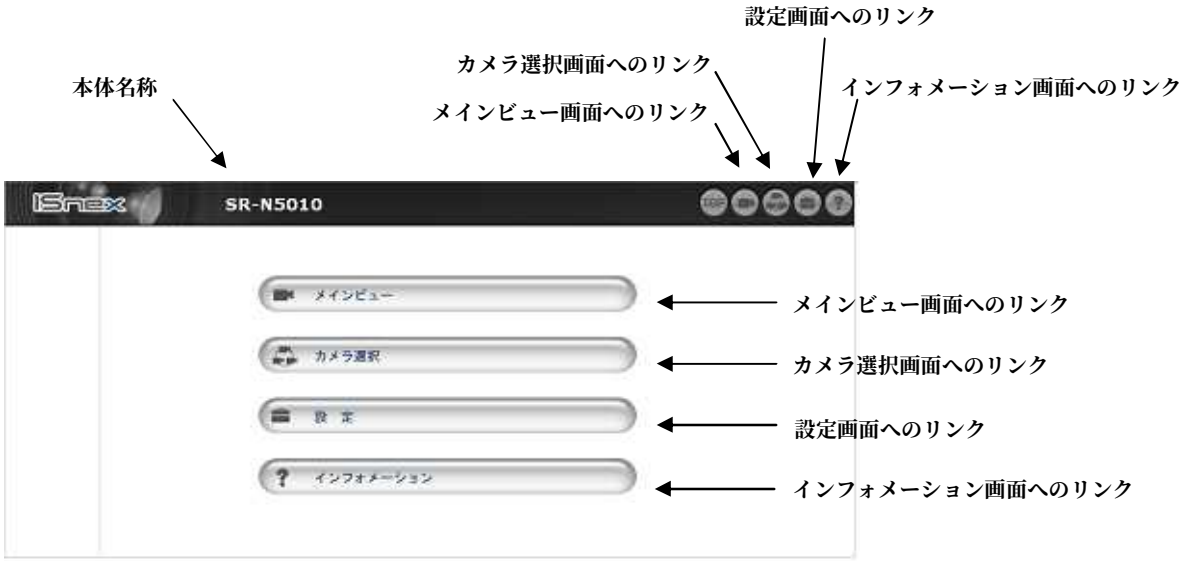
映像記録装置にアクセスする

Microsoft Internet Explorer を使用します。

1. Microsoft Internet Explorer （WEB ブラウザ）を起動します。
2. WEB ブラウザの［アドレス］フィールドに、SR-N5010 に設定した IP アドレスを入力して Enter キーを押します（製品出荷時のデフォルト IP アドレスは 192.168.1.120 です）。
3. ネットワーク管理者によって設定されたユーザ名とパスワードを入力します（デフォルトのユーザ名は root、パスワードは admin に設定されています）。
4. WEB ブラウザに SR-N5010 の TOP 画面が表示されます。

ユーザ名　　（半角英字）	root
パスワードの初期値（半角英字）	admin

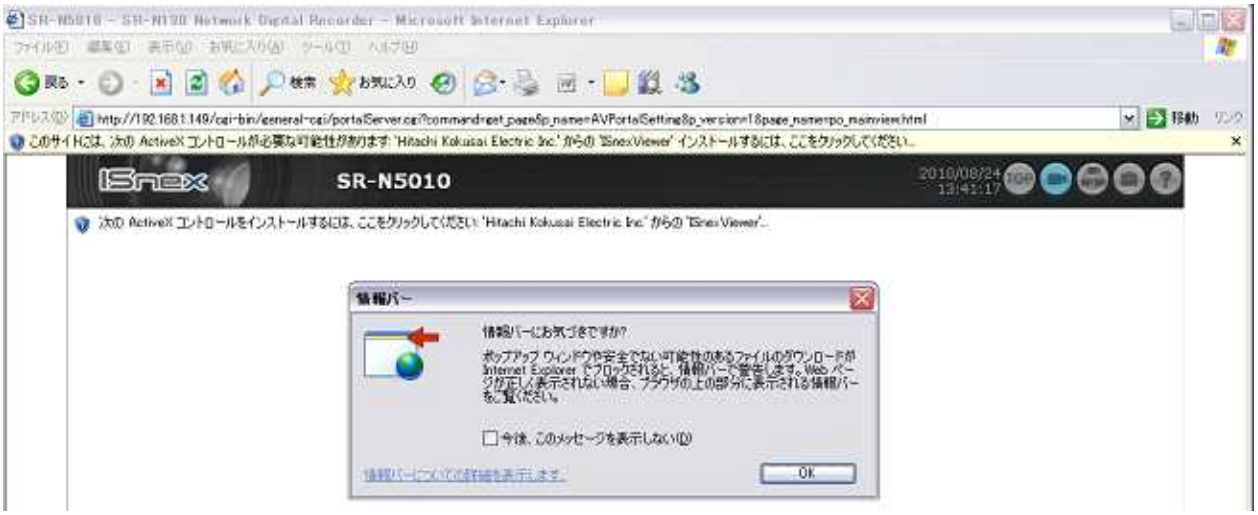
ＴＯＰ画面



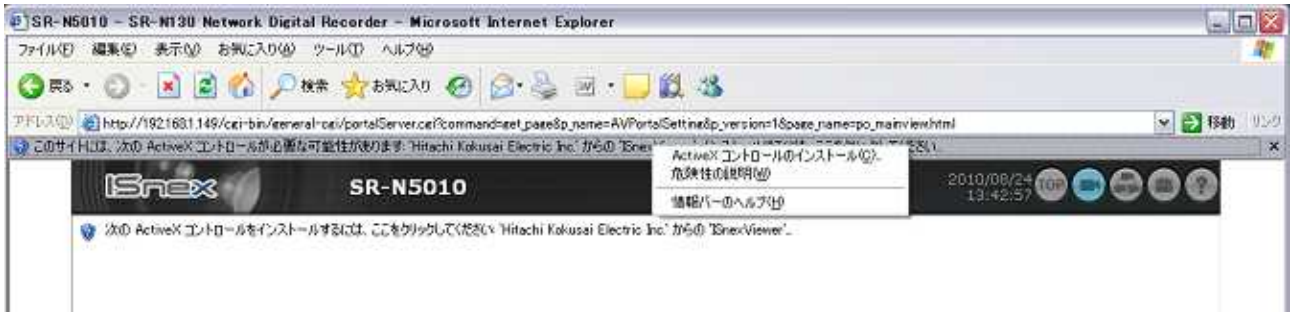
ユーザ認証 ON 設定時には認証ダイアログが表示されます。ユーザ名とパスワードを入力してください。

映像表示用ソフトのインストール

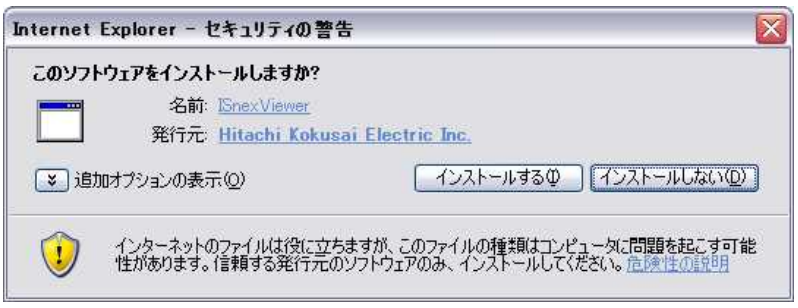
トップページの「メインビュー」をクリックすると、映像表示用ソフト ISnex Viewer をインストールするためのメッセージが表示されます。



画面上部の情報バーをクリックしてメニューを表示、「ActiveX コントロールのインストール（C)」を選択します。



セキュリティの警告ダイアログが表示されますので「インストールする（I)」を選択します。



Internet Explorer のセキュリティ設定、ウイルス対策プログラムに付属しているファイアウォール、Windows XP ServicePack2 のファイアウォールなどによるダウンロード制限が設定されているとインストールに失敗する可能性があります、設定を変更してください。

H.264/MPEG-4映像を表示する場合は、ISnex Viewerのインストール後、付属のCD-ROMを用いてH264Setupをインストールします。 CD-ROM 内の「H264Setup」フォルダ内の「Setup.exe」を実行して下さい。

注意： **H.264 セットアップのインストール手順は CD の中に同梱されているセットアップ手順書をご参照ください。**

メインビュー画面

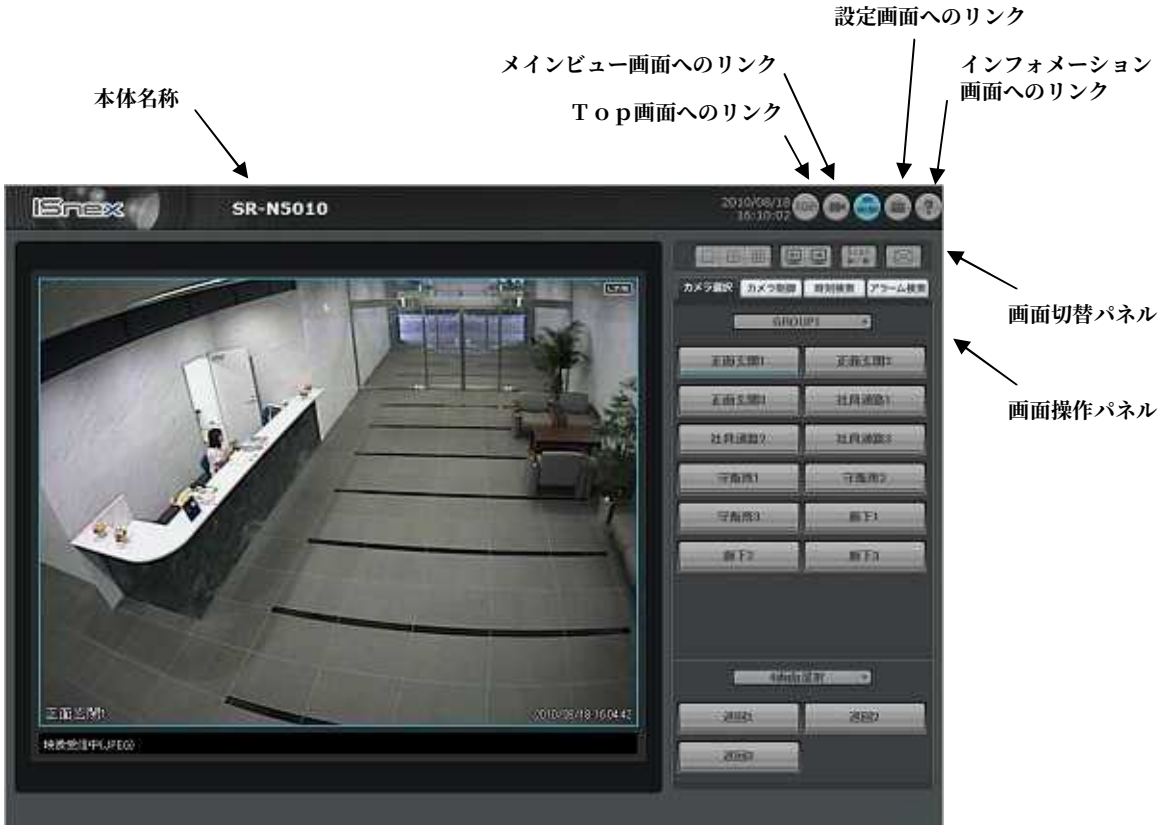
SR-N5010 の映像（ライブ映像、録画映像）を表示するためのページです。

ユーザ認証 ON 設定時には認証ダイアログが表示されます。ユーザ名とパスワードを入力してください。

注意：
- Internet Explorer で SR-N5010 の画像を閲覧するには、WEB ブラウザの設定で ActiveX コントロールを許可してお使いのコンピュータに SR-N5010 クライアントをインストールする必要があります。
- ActiveX コントロールをインストールするにはコンピュータに管理者権限でログインしている必要があります。

カメラ選択画面

監視システムとして登録されたカメラの映像（WEB エンコーダ、または、ネットワークカメラのライブ映像および SR-N5010 の録画映像）を表示するためのページです。



ユーザ認証 ON 設定時には認証ダイアログが表示されます。ユーザ名とパスワードを入力してください。

注意：
- Internet Explorer で SR-N5010 の画像を閲覧するには、WEB ブラウザの設定で ActiveX コントロールを許可してお使いのコンピュータに SR-N5010 クライアントをインストールする必要があります。
- ActiveX コントロールをインストールするにはコンピュータに管理者権限でログインしている必要があります。

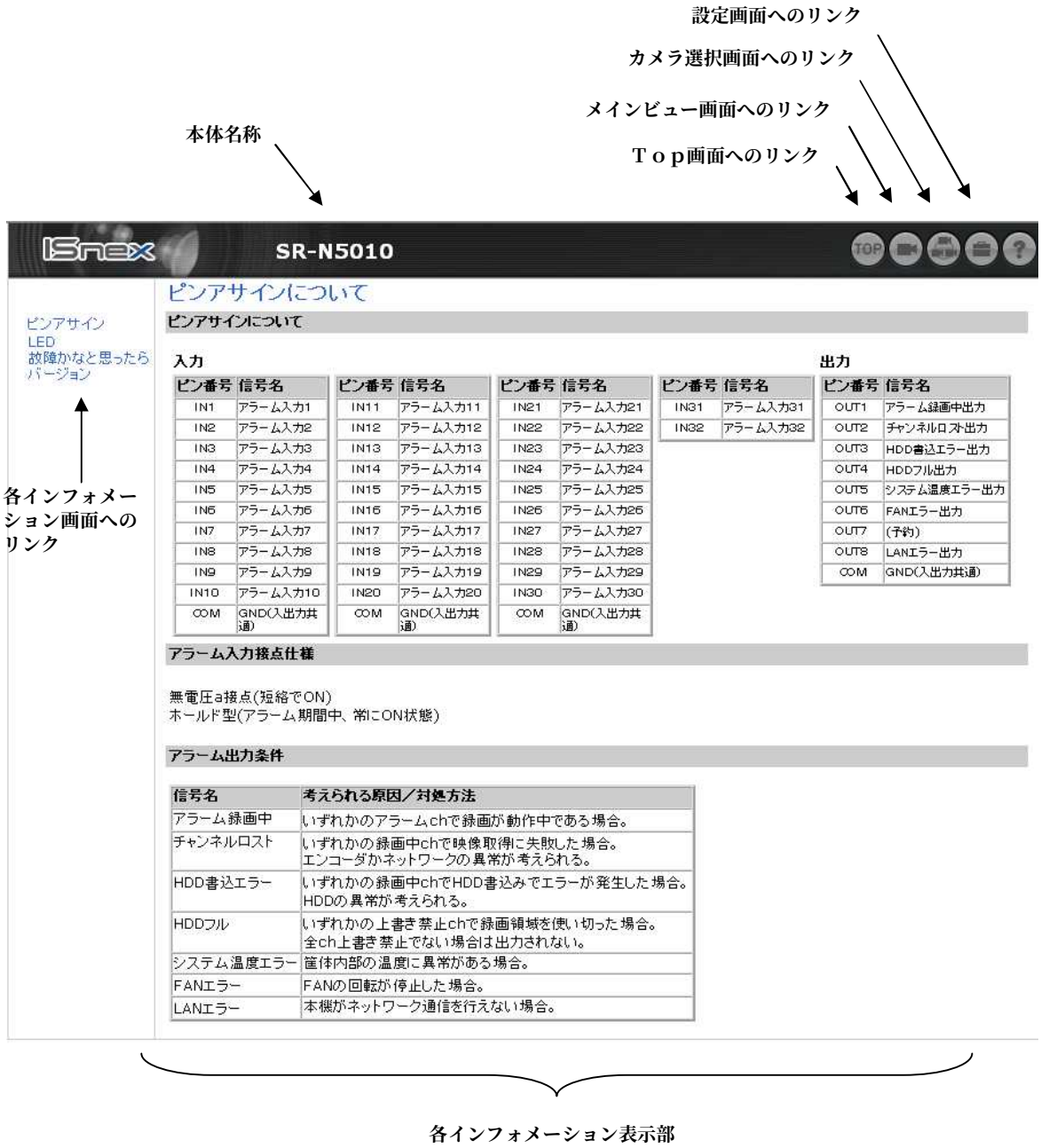
設定画面

本機器の各種設定を行うためのページです。設定を行うためには管理者権限でのログインが必要です。

認証ダイアログが表示されます。管理者のユーザ名とパスワードを入力してください。

インフォメーション画面

製品情報を表示します。



ピンアサインについて

入力 ピン番号	信号名	ピン番号	信号名	ピン番号	信号名	ピン番号	信号名	出力 ピン番号	信号名
IN1	アラーム入力1	IN11	アラーム入力11	IN21	アラーム入力21	IN31	アラーム入力31	OUT1	アラーム録画中出力
IN2	アラーム入力2	IN12	アラーム入力12	IN22	アラーム入力22	IN32	アラーム入力32	OUT2	チャンネルロスト出力
IN3	アラーム入力3	IN13	アラーム入力13	IN23	アラーム入力23			OUT3	HDD書込エラー出力
IN4	アラーム入力4	IN14	アラーム入力14	IN24	アラーム入力24			OUT4	HDDフル出力
IN5	アラーム入力5	IN15	アラーム入力15	IN25	アラーム入力25			OUT5	システム温度エラー出力
IN6	アラーム入力6	IN16	アラーム入力16	IN26	アラーム入力26			OUT6	FANエラー出力
IN7	アラーム入力7	IN17	アラーム入力17	IN27	アラーム入力27			OUT7	(予約)
IN8	アラーム入力8	IN18	アラーム入力18	IN28	アラーム入力28			OUT8	LANエラー出力
IN9	アラーム入力9	IN19	アラーム入力19	IN29	アラーム入力29			COM	GND(入出力共通)
IN10	アラーム入力10	IN20	アラーム入力20	IN30	アラーム入力30				
COM	GND(入出力共通)	COM	GND(入出力共通)	COM	GND(入出力共通)				

アラーム入力接点仕様

無電圧a接点(短絡でON)
ホールド型(アラーム期間中、常にON状態)

アラーム出力条件

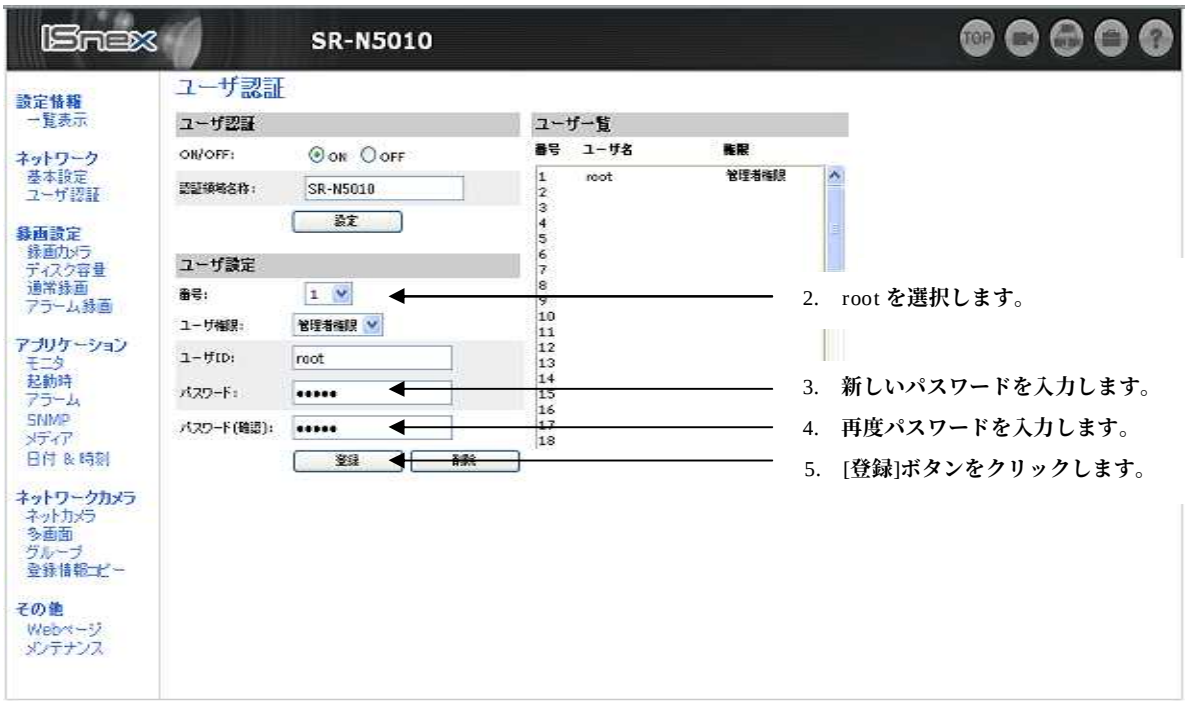
信号名	考えられる原因／対処方法
アラーム録画中	いずれかのアラームchで録画が動作中である場合。
チャンネルロスト	いずれかの録画中chで映像取得に失敗した場合。 エンコーダかネットワークの異常が考えられる。
HDD書込エラー	いずれかの録画中chでHDD書込みでエラーが発生した場合。 HDDの異常が考えられる。
HDDフル	いずれかの上書き禁止chで録画領域を使い切った場合。 全ch上書き禁止でない場合は出力されない。
システム温度エラー	筐体内部の温度に異常がある場合。
FANエラー	FANの回転が停止した場合。
LANエラー	本機がネットワーク通信を行えない場合。

パスワードの変更

不正な使用を防ぐためにも、SR-N5010 に最初にログオンしたとき、管理者用ユーザ（root）のデフォルトのパスワードを変更するようにしてください。

注意：　管理者用ユーザの名前は root に設定されており、変更したり削除したりすることはできません。

1. 画面上部の をクリックし、続いて左側のリンクから［ネットワーク］-［ユーザ認証］をクリックします。
2. ［番号］で「1」が選択されていること、［ユーザ ID］に「root」が表示されていることを確認します。
3. ［パスワード］に新しいパスワードを入力します。パスワードは、最大 8 文字までの半角英数字で設定してください。
4. ［パスワード（確認）］に同じパスワードを入力します。
5. ［登録］ボタンをクリックします。



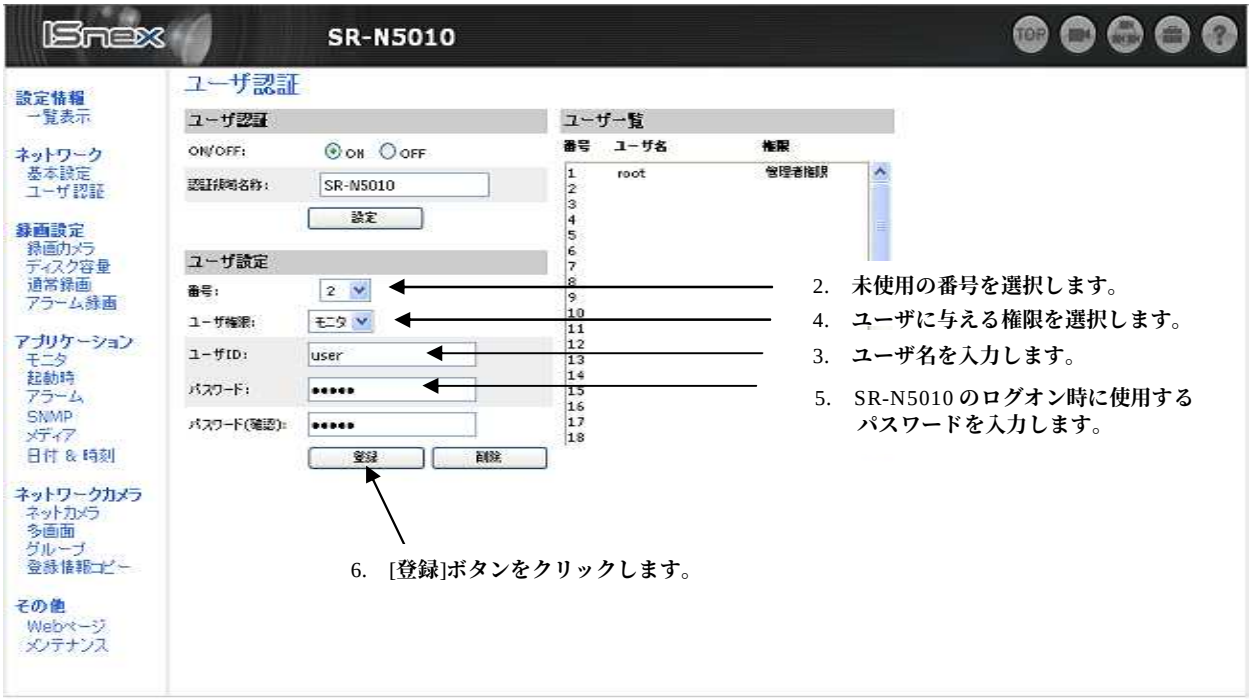
新しいユーザの作成

ユーザアクセスのコントロールはデフォルトで有効に設定されています。管理者（root）ユーザは、ユーザの名前とパスワードを設定することができます(最大 50 名、root ユーザを含む)。ユーザ権限には、以下の 2 種類があります。

モニタ	メインビュー、カメラ選択画面にアクセスすることができます。メインビュー、カメラ選択画面では、操作をすべて行うことができます。
管理者権限	設定ページのすべての設定項目に対してアクセスが可能で、ユーザの登録を行うことができます。

以下の手順にしたがって、新しいユーザ（モニタ）を作成してください。

1. 画面上部の をクリックし、続いて左側のリンクから［ネットワーク］-［ユーザ認証］をクリックします。
2. ［番号］ドロップダウンリストから未使用の番号を選択します。
3. ［ユーザ ID］にユーザ名を入力します。ユーザ名は、最大 8 文字までの半角英数字で設定してください。
4. ［ユーザ権限］からユーザに割り当てる権限（モニタ）を選択します。
5. ［パスワード］および［パスワード（確認)］にパスワードを入力します。パスワードは、最大 8 文字までの半角英数字で設定してください。
6. ［登録］ボタンをクリックします。



注意：

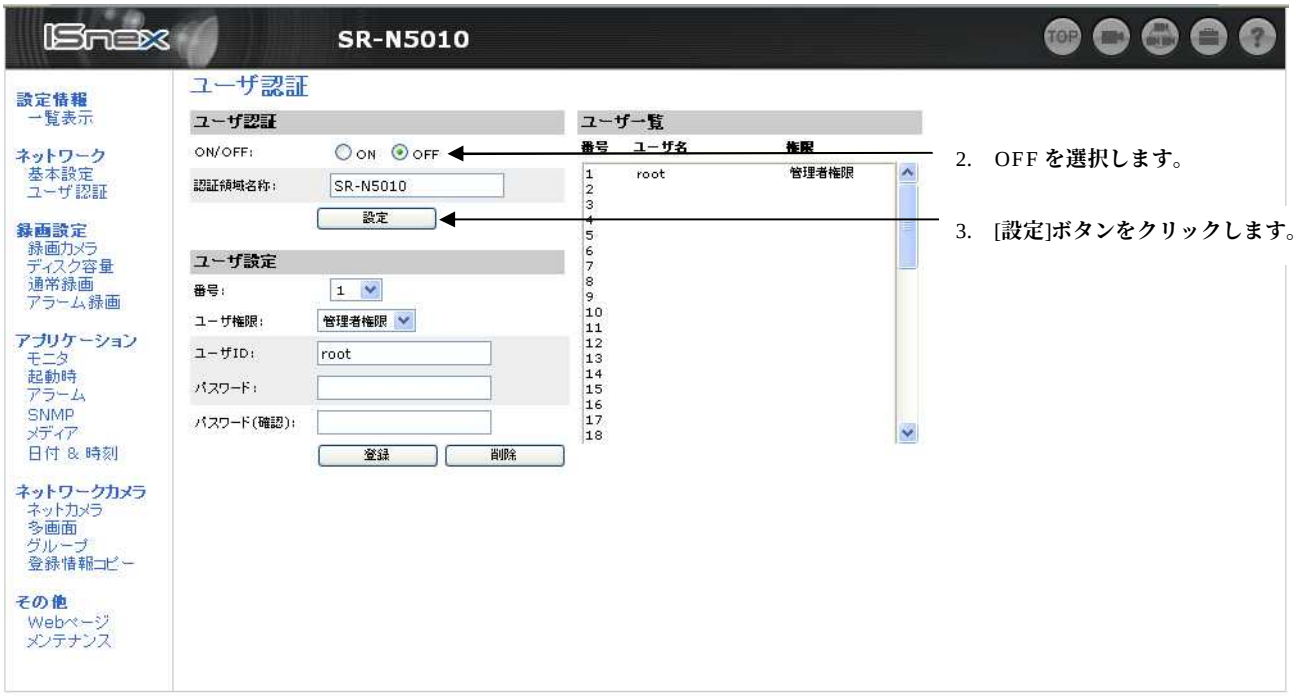
- **ユーザを削除する場合は、［番号］から削除するユーザの番号を選択して［削除］をクリックしてください。**
- **SR-N5010 では管理者権限を持つユーザは 1 つしか登録できません。root ユーザがあらかじめ定義されているため、管理者権限を持つ新しいユーザを作成することはできません。**
- **SR-N5010 では管理者権限のユーザ ID を変更することはできません。**

ユーザ認証設定

匿名ユーザアクセスの許可を行うことにより、パスワードの入力を行わずにメインビュー画面にアクセスして、映像の閲覧ができるようにすることもできます。ただし、管理者権限が必要な項目へはユーザ認証を無効にすることはできません。また、カメラ選択画面での他の機器へのアクセスの場合は各機器のユーザ認証設定により認証を求められる場合があります。

以下の手順にしたがって、ユーザ認証設定を行ってください。

1. 画面上部の をクリックし、続いて左側のリンクから［ネットワーク］-［ユーザ認証］をクリックします。
2. ［ON／OFF］OFF を選択します。
3. ［設定］ボタンをクリックします。



一覧表示

SR-N5010 の現在の設定情報一覧を確認することができます。

以下の手順にしたがって、SR-N5010 の現在の設定内容を確認してください。

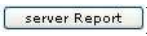
1. 画面上部の をクリックし、続いて左側のリンクから［設定情報］-［一覧表示］をクリックします。

設定情報一覧表示で確認できる内容は、［ネットワーク設定］［録画設定］［アプリケーション］［その他］の情報の一部を確認できます。

ログ&サーバレポート

SR-N5010 に何らかの問題が発生した場合、ログファイルを表示して製品のステータスを確認することができます。ログファイルはハードディスク上に保存されており、工場出荷設定を行う、または、工場出荷ボタンを押さない限り消去されません。また、現在のシステムの状態一覧をサーバレポートとして表示します。

以下の手順にしたがって、ログファイル、サーバレポートを表示してください。

1. 画面上部の をクリックし、続いて左側のリンクから［設定情報］-［一覧表示］をクリックします。
2. ［ログボタン ］をクリックし、ログ画面を表示します。
3. ［サーバレポートボタン  ］をクリックし、サーバレポート画面を表示します。

ログ

```
[2010-08-08 23:46:35] SR-N5010 started
[2010-08-08 23:46:46] Video file system check started.
[2010-08-08 23:46:49] Video file system check suceeded. No errors detected.
[2010-08-08 23:51:55] Added camera configuration 1.
[2010-08-08 23:58:40] Updated disk capacity configuration 1.
[2010-08-09 00:02:07] Updated scheduled recording configuration 1.
[2010-08-09 00:17:21] Updated MonitorActDisplayOutput Log settingServer.cgi ON.
[2010-08-09 00:20:56] Updated camera configuration 1.
[2010-08-09 02:02:51] Updated user root.
[2010-08-09 02:17:31] Updated camera configuration 1.
[2010-08-09 02:51:50] Added camera configuration 2.
[2010-08-09 02:54:09] Updated camera configuration 2.
[2010-08-09 02:56:30] Added camera configuration 3.
[2010-08-09 02:58:56] Added camera configuration 4.
[2010-08-09 03:01:00] Added camera configuration 5.
[2010-08-09 03:05:18] Updated NetworkCamera NPatternList.
[2010-08-09 03:11:13] Updated Init Mnitor network.
[2010-08-09 03:33:51] Updated NetworkCamera NCamList.
[2010-08-09 03:34:26] Updated NetworkCamera NCamList.
[2010-08-09 03:34:54] Updated NetworkCamera NCamList.
[2010-08-09 03:35:29] Updated NetworkCamera NCamList.
[2010-08-09 03:35:48] Updated NetworkCamera NPatternList.
[2010-08-09 03:51:01] Updated quad pattern configuration 1.
[2010-08-09 04:13:43] Removed camera configuration 5.
[2010-08-09 04:15:32] Removed camera configuration 4.
[2010-08-09 04:16:58] Removed camera configuration 3.
[2010-08-09 04:18:30] Removed camera configuration 2.
[2010-08-09 04:19:51] Updated camera configuration 1.
[2010-08-09 05:33:15] SR-N5010 stopped
[2010-08-09 17:55:43] SR-N5010 started
[2010-08-09 17:55:56] Video file system check started.
[2010-08-09 17:55:58] Video file system check suceeded. No errors detected.
[2010-08-09 22:33:58] Updated Dip IP OFF.
[2010-08-09 22:34:07] SR-N5010 stopped
[2010-08-09 22:35:44] SR-N5010 started
[2010-08-09 22:35:57] Video file system check started.
[2010-08-09 22:35:59] Video file system check suceeded. No errors detected.
[2010-08-09 22:38:47] Updated Dip IP OFF.
[2010-08-09 22:38:56] SR-N5010 stopped
[2010-08-09 22:42:00] SR-N5010 started
[2010-08-09 22:42:12] Video file system check started.
[2010-08-09 22:42:15] Video file system check suceeded. No errors detected.
```

サーバレポート

```
RELEASE="5.00"
BUILD="test3.0"
BUILDTIME="2010-07-27"

---- uptime ----

 21:06:35 up  3:11,  0 users,  load average: 2.73, 1.45, 1.08

---- /proc/meminfo ----

MemTotal:      1025752 kB
MemFree:        583744 kB
Buffers:          3308 kB
Cached:          65200 kB
SwapCached:          0 kB
Active:         354644 kB
Inactive:        45832 kB
HighTotal:      121536 kB
HighFree:         236 kB
LowTotal:       904216 kB
LowFree:        583508 kB
SwapTotal:           0 kB
SwapFree:            0 kB
Dirty:            1320 kB
Writeback:           0 kB
AnonPages:      331972 kB
Mapped:          23952 kB
Slab:             8272 kB
SReclaimable:     2652 kB
SUnreclaim:       5620 kB
PageTables:       2088 kB
NFS_Unstable:        0 kB
Bounce:              0 kB
CommitLimit:    512876 kB
Committed_AS:  1131296 kB
VmallocTotal:   114680 kB
VmallocUsed:      4504 kB
VmallocChunk:   108532 kB
HugePages_Total:     0
HugePages_Free:      0
HugePages_Rsvd:      0
Hugepagesize:     4096 kB

---- /proc/ide/hda/model ----


---- System information ----

Linux localhost.localdomain 2.6.21-1.3194.fc7 #1 SMP Sat Jul 10 14:57:45 UTC 2010 i686 i686 i386 GNU/Linux
```

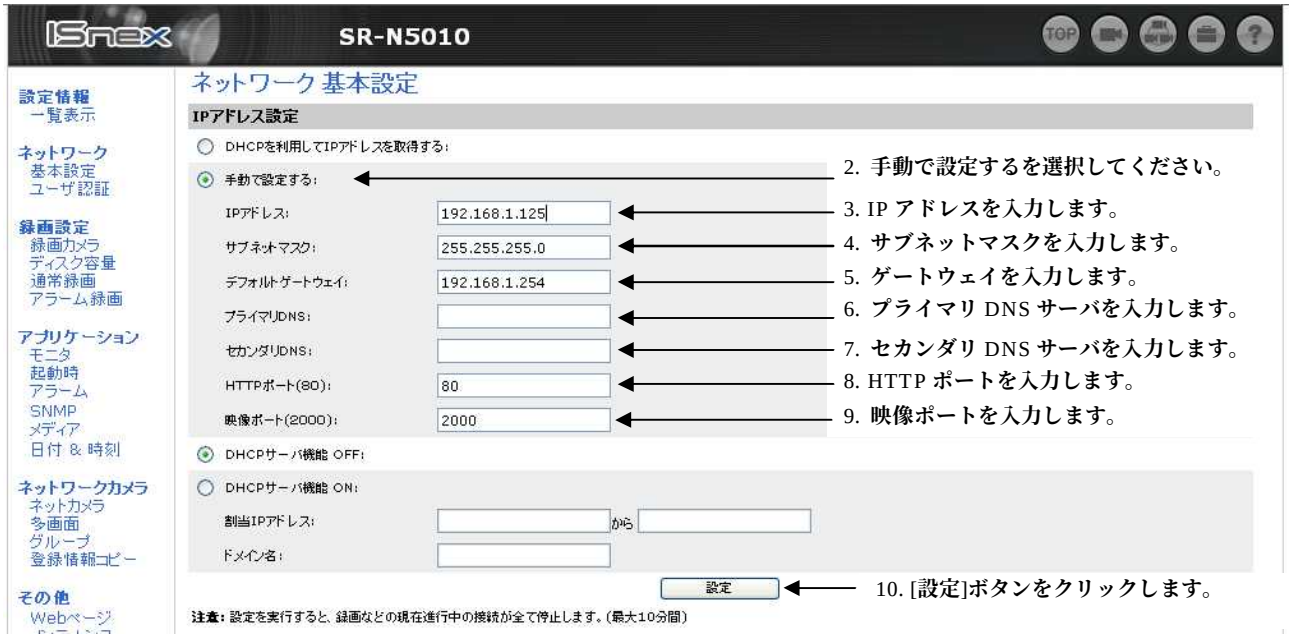
基本設定

SR-N5010 の IP アドレスおよび他のネットワークに関連する設定は、必要に応じて設定画面で設定を変更することができます。SR-N5010 は DHCP をサポートしています。固定の IP アドレスを設定することも可能です。
SR-N5010 でホスト名を利用する場合は、プライマリ DNS サーバを設定する必要があります。ホスト名を利用して NTP またはメールサーバにアクセスする場合は、お使いのネットワークの DNS サーバを設定してください。

以下の手順にしたがって、SR-N5010 のネットワーク設定を変更してください。
注意：　設定を実行すると、録画などの現在進行中の接続が全て停止します（最大 10 分間）。

・手動で設定する場合

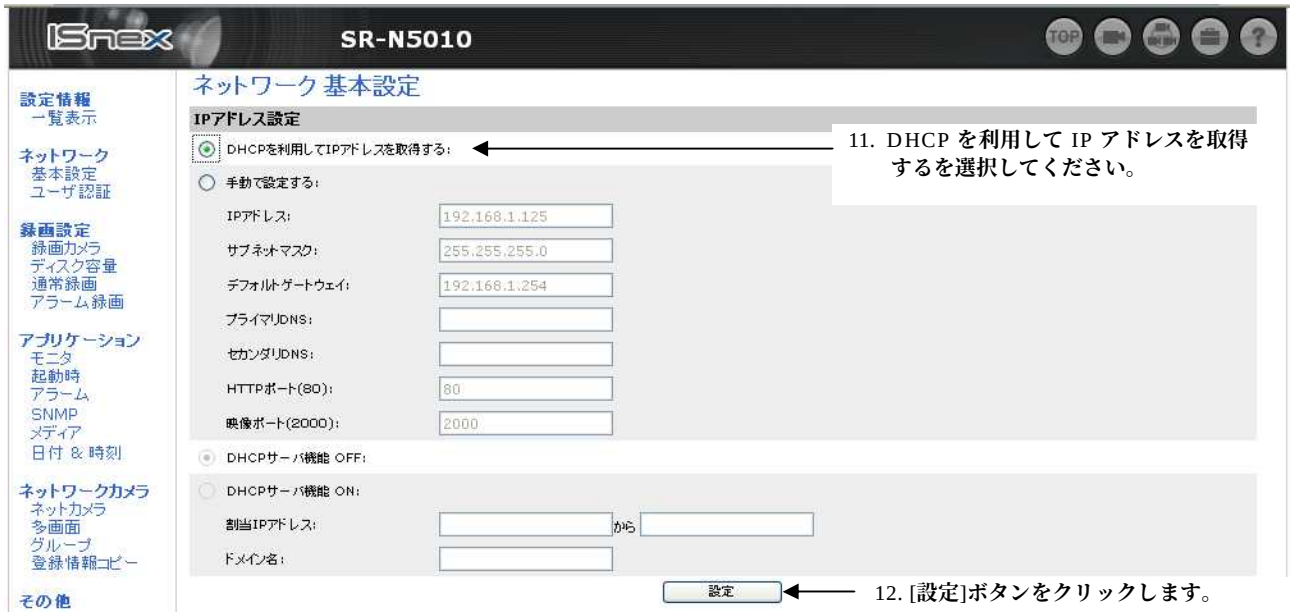
1. 画面上部の をクリックし、続いて左側のリンクから［ネットワーク］- [基本設定］をクリックします。
2. ［手動で設定する］オプションを選択してください。
3. ［IP アドレス］SR-N5010 の IP アドレスを入力します。
4. ［サブネットマスク］ SR-N5010 のサブネットマスクを入力します。
5. ［ゲートウェイ］ SR-N5010 のデフォルトゲートウェイを入力します。
6. ［プライマリ DNS］プライマリ DNS サーバの IP アドレスを入力します。
7. ［セカンダリ DNS］セカンダリ DNS サーバの IP アドレスを入力します。
8. ［HTTP ポート］ SR-N5010 から配信する HTTP ポート番号を入力します。
   入力範囲は、1～65535 です（デフォルトは、80 です）。
9. ［映像ポート］SR-N5010 から映像配信するポート番号を入力します。
   入力範囲は、1～65535 です（デフォルトは、2000 です）。
10. ［設定］ボタンをクリックします。



注意： **• HTTP ポートと映像配信ポートは、ネットワーク環境を確認の上、設定変更してください。**
ネットワーク環境によっては、通らないポートもあるので十分な確認が必要です。
• SR-N5010 はプロキシサーバの外側にあるカメラに接続することはできません。

・自動的に IP アドレスを取得する場合

11. ［DHCP を利用して IP アドレスを取得する］オプションを選択してください。
12. ［設定］ボタンをクリックします。



注意：　DHCP による IP アドレスの取得に失敗した場合は、最後に手動で設定した IP アドレスを使用します。

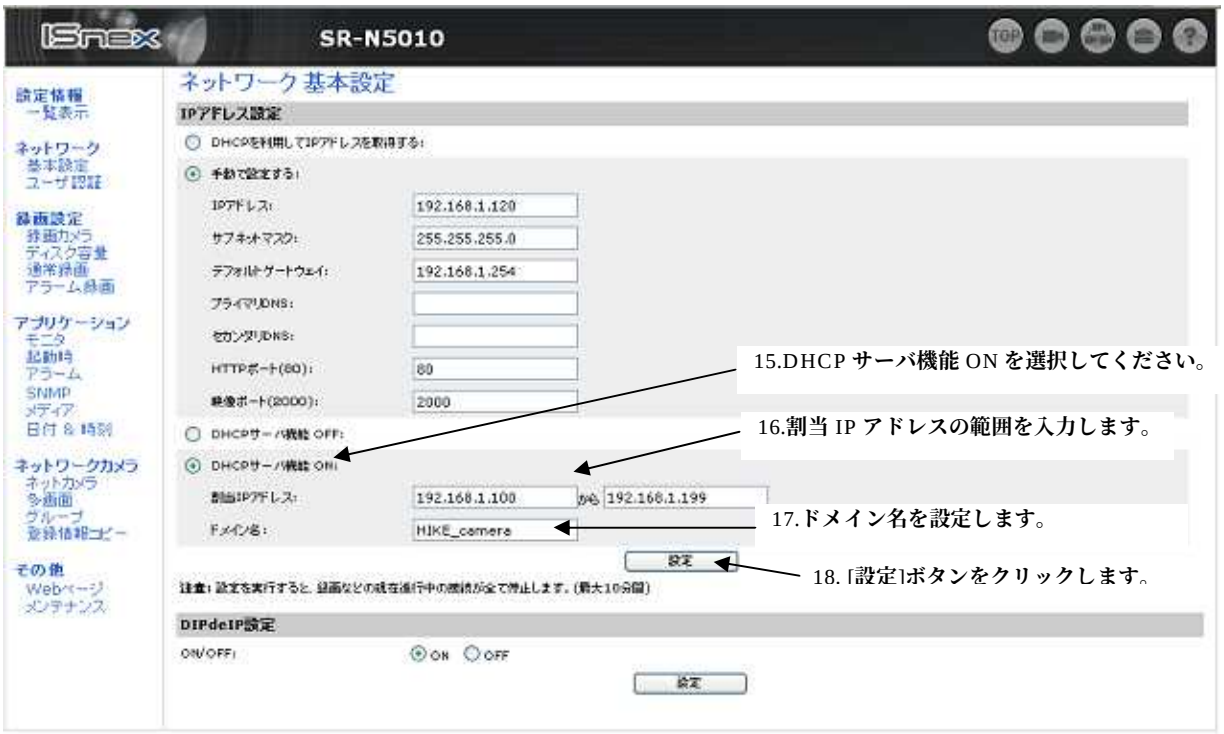
・AUTO IP（DIPdeIP）機能を使用する場合

13. ［ON／OFF］の ON を選択してください。
14. ［設定］ボタンをクリックします。

注意：　AUTO IP による IP アドレスの設定に失敗した場合は、最後に手動で設定した IP アドレスを使用します。

・DHCP サーバ機能を使用する場合

15. ［DHCP サーバ機能 ON：］を選択してください。
16. ［割当 IP アドレス］の範囲を入力します。
17. ［ドメイン名］を設定します。
18. ［設定］ボタンをクリックします。

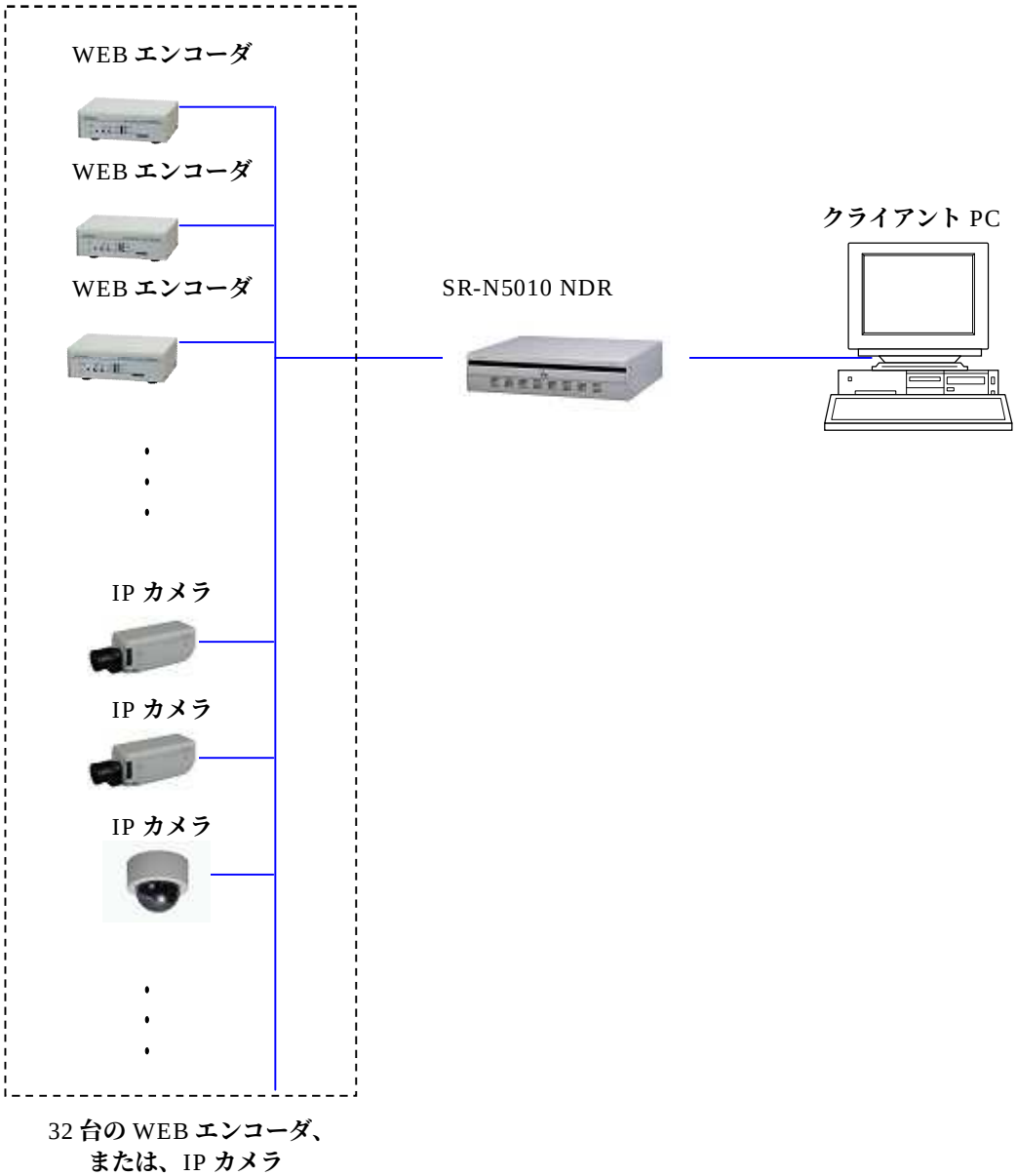


注意： **WEB エンコーダ／IP カメラのネットワーク設定が DHCP による取得になっている場合に、どこからどこまでの IP アドレスを割り当てるのか設定します。割当 IP アドレスの範囲と使用するドメイン名を正しく設定してください。**

メインビュー画面の設定

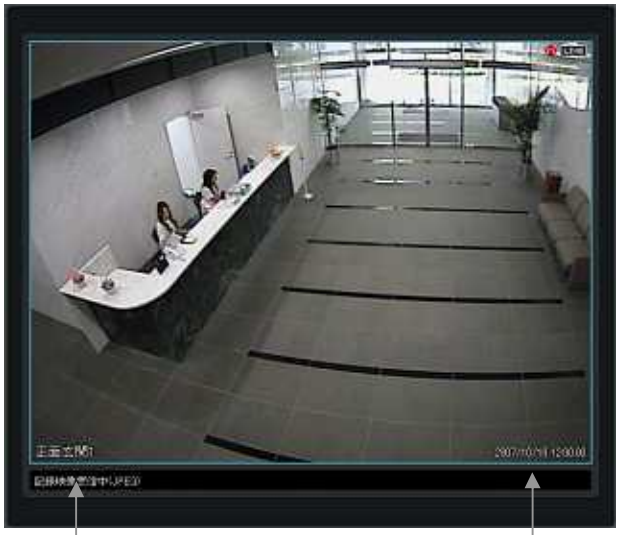
録画カメラ

SR-N5010 には、録画カメラとして最大 32 台までの日立国際電気製 WEB エンコーダ、または、IP カメラ、および日立製作所製 IP カメラ（XD シリーズ）を登録することができます。録画カメラで実際に録画を行うには録画設定を行う必要があります。［ビデオの録画］をご参照ください。



メインビュー画面では、録画カメラのライブ画像または録画された画像を 1 画面で表示したり、4 つのカメラの画像を 4 画面で表示したり、9 つのカメラの画像を 9 画面で表示したりすることができます。

1 画面表示



4 画面表示

9 画面表示

録画状態表示

S	スケジュール録画中
M	手動録画中
A	アラーム録画中

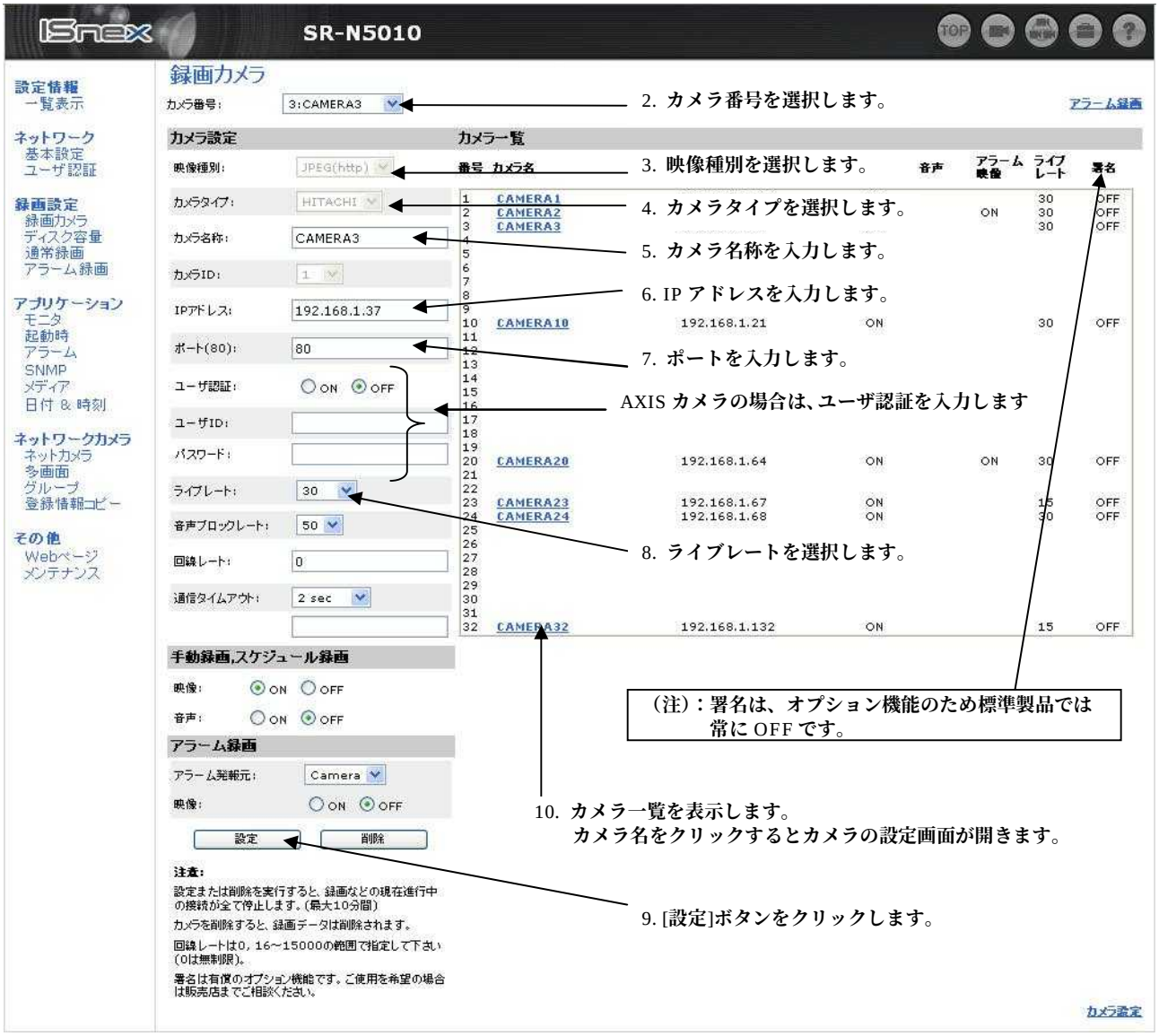
再生状態表示

LIVE	ライブ再生中
◀ ▶	順、逆方向等速再生中
◀◀ ▶▶	順、逆方向高速再生中
⏮ ⏭	先頭、末尾映像表示中
⏸	停止中

多画面表示している際には操作対象画面を選択する必要があります。画面選択は多画面表示中に、選択したい画面の映像表示領域内をマウス左クリックすることで行います。現在選択されているカメラ画像は水色の枠が表示されます。

以下の手順にしたがって、SR-N5010 に録画カメラを登録してください。

1. 画面上部の をクリックし、続いて左側のリンクから［録画設定］-［録画カメラ］をクリックします。
2. ［カメラ番号］ドロップダウンリストから未使用の番号を選択します。
3. ［映像種別］ドロップダウンリストから H.264(tcp)、 H.264(http)、H.264(MultiCast)、MPEG-4(tcp)、MPEG-4(http)、MPEG-4(MultiCast)、JPEG(http)、JPEG(MultiCast)を選択します。
4. ［カメラタイプ］ドロップダウンリストから WEB エンコーダ、または、IP カメラの型式を選択します。
   カメラタイプに無い WEB エンコーダ、または、IP カメラを使用する場合は、同じ機能を持つ機器の型式を選択してください。
5. ［カメラ名称］カメラ名を入力します。カメラ名は、最大 32 文字までの半角英数または全角で設定してください。ただし、以下の記号以外の半角記号は使用できません。
   _ - ( ) スペース
6. ［IP アドレス］WEB エンコーダ、または、IP カメラの IP アドレスを入力します。
7. ［ポート］に WEB エンコーダ、または、IP カメラの映像配信ポート番号を入力します。
   * ポート入力は、映像種別が MPEG-4、H.264 時は入力不可となります。
8. ［ライブレート］ドロップダウンリストから使用するフレームレートを選択します。
   * 機器をトリガとするアラームおよび MPEG のフレームレートは、WEB エンコーダ、または、IP カメラ側で設定を行ってください。
9. ［設定］ボタンをクリックします。
10. カメラ一覧に設定した情報が表示されます。カメラ名をクリックすると、登録したカメラの設定画面を開くことができます。
    * 設定画面ページへの移行は、登録カメラが日立国際電気製の場合のみとなります。


SR-N5010
録画カメラ
設定情報
一覧表示
ネットワーク
基本設定
ユーザ認証
録画設定
録画カメラ
ディスク容量
通常録画
アラーム録画
アプリケーション
モニタ
起動時
アラーム
SNMP
メディア
日付 & 時刻
ネットワークカメラ
ネットカメラ
多画面
グループ
登録情報コピー
その他
Webページ
メンテナンス
カメラ番号: 3:CAMERA3
アラーム録画
カメラ設定
映像種別: JPEG(http)
カメラタイプ: HITACHI
カメラ名称: CAMERA3
カメラID: 1
IPアドレス: 192.168.1.37
ポート(80): 80
ユーザ認証: ON OFF
ユーザID:
パスワード:
ライブレート: 30
音声ブロックレート: 50
回線レート: 0
通信タイムアウト: 2 sec
手動録画,スケジュール録画
映像: ON OFF
音声: ON OFF
アラーム録画
アラーム発報元: Camera
映像: ON OFF
設定
削除
注意:
設定または削除を実行すると、録画などの現在進行中の接続が全て停止します。(最大10分間)
カメラを削除すると、録画データは削除されます。
回線レートは0, 16~15000の範囲で指定して下さい(0は無制限)。
署名は有償のオプション機能です。ご使用を希望の場合は販売店までご相談ください。
カメラ一覧
番号 カメラ名 音声 アラーム映像 ライブレート 署名
1 CAMERA1 30 OFF
2 CAMERA2 ON 30 OFF
3 CAMERA3 30 OFF
10 CAMERA10 192.168.1.21 ON 30 OFF
20 CAMERA20 192.168.1.64 ON ON 30 OFF
23 CAMERA23 192.168.1.67 ON 15 OFF
24 CAMERA24 192.168.1.68 ON 30 OFF
32 CAMERA32 192.168.1.132 ON 15 OFF
2. カメラ番号を選択します。
3. 映像種別を選択します。
4. カメラタイプを選択します。
5. カメラ名称を入力します。
6. IP アドレスを入力します。
7. ポートを入力します。
AXIS カメラの場合は、ユーザ認証を入力します
8. ライブレートを選択します。
(注):署名は、オプション機能のため標準製品では常に OFF です。
10. カメラ一覧を表示します。
カメラ名をクリックするとカメラの設定画面が開きます。
9. [設定]ボタンをクリックします。

注意：
- 録画カメラの登録または削除を行った場合、SR-N5010 に登録されている全録画カメラの映像記録が最大で約 10 分間停止します。
- さらに、録画カメラの登録を行った場合には、登録した録画カメラの画像がメインビュー画面で表示されるまでに 1 分程かかることがあります。
- 登録済みの録画カメラを削除する場合は、［カメラ番号］から削除する録画カメラの番号を選択して［削除］をクリックしてください。録画カメラを削除する前に、必要なデータをコンピュータにダウンロードするようにしてください。詳細は、［録画データをコンピュータにダウンロードする］を参照してください。
- SR-N5010 はプロキシサーバの外側にある WEB エンコーダ、または、IP カメラに接続することはできません。
- WEB エンコーダ、または、IP カメラの画質設定で H.264 の I フレーム間隔、MPEG-4 の I-VOP 間隔を 1 秒よりも大きく設定したり、符号化ビットレートや画質 Q 値を極端に大きく設定すると正常に録画ができない場合があります。
- WEB エンコーダ、または、IP カメラの IP アドレスフィルタ機能をご使用の際には正しく設定されていないと正常に録画ができない場合があります。
- WEB エンコーダ、または、IP カメラのユーザ認証機能をご使用の際には正常に録画ができない場合があります。販売店までご相談ください。

重要！
- 録画カメラを削除すると、その録画カメラで録画したデータ（アラーム、音声も含む）も削除されます。

1 画面表示

カメラの選択

SR-N5010 に録画カメラを登録すると、メインビュー画面で登録した録画カメラの画像を閲覧できるようになります。［ボタン］をクリックし、表示される録画カメラの名称をクリックしてください。

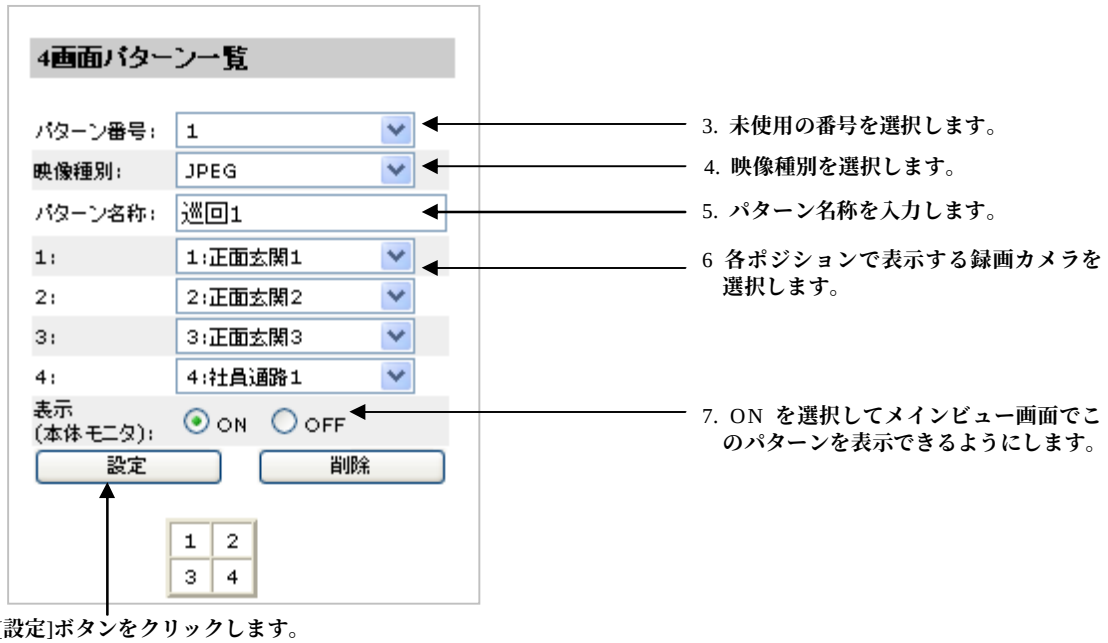
1. 画面上部の をクリックし、続いて画面下の［ボタン］をクリックします。
2. ［カメラ選択］タブを選択し、表示される録画カメラの名称をクリックします。

4 画面表示

4 画面表示のパターンを利用して 4 つの録画カメラのライブ画像、または録画された画像を表示します。

4 画面パターンの作成

1. 画面上部の をクリックし、続いて左側のリンクから［アプリケーション］-［モニタ］をクリックします。
2. ［4 画面パターン一覧］に対して設定をします。
3. ［パターン番号］ドロップダウンリストから未使用の番号を選択します。
4. ［映像種別］ドロップダウンリストから表示映像の種別を選択します。
5. ［パターン名称］パターン名を入力します。パターン名は、最大 32 文字までの半角英数または全角で設定してください。
   ただし、以下の記号以外の半角記号は使用できません。_ - ( ) スペース
6. 各ポジションに表示する録画カメラを選択します。何も表示しない場合は、OFF を選択してください。
7. ［表示］オプションで ON を選択してください。このオプションを ON にすると、メインビュー画面で 4 画面パターンを使用できるようになります。
8. ［設定］ボタンをクリックします。



注意： **パターンを削除する場合は、［パターン番号］から削除するパターンの番号を選択して［削除］をクリックしてください。**

4 画面パターンの表示

4 画面パターンを作成すると、そのパターンを使用してメインビュー画面で画像を表示できるようになります。また、使用する 4 画面パターンをメインビュー画面で選択することも可能です。
メインビュー画面の［4 画面パターン］タブをクリックし、表示するパターンを選択してください。

1. 画面上部の をクリックし、続いて画面下の［ボタン］をクリックします。
2. ［4 画面選択］コンボボックスを選択して登録した 4 画面パターンを一覧表示させます。
3. 表示するパターンを選択して画面に映像を表示させます。

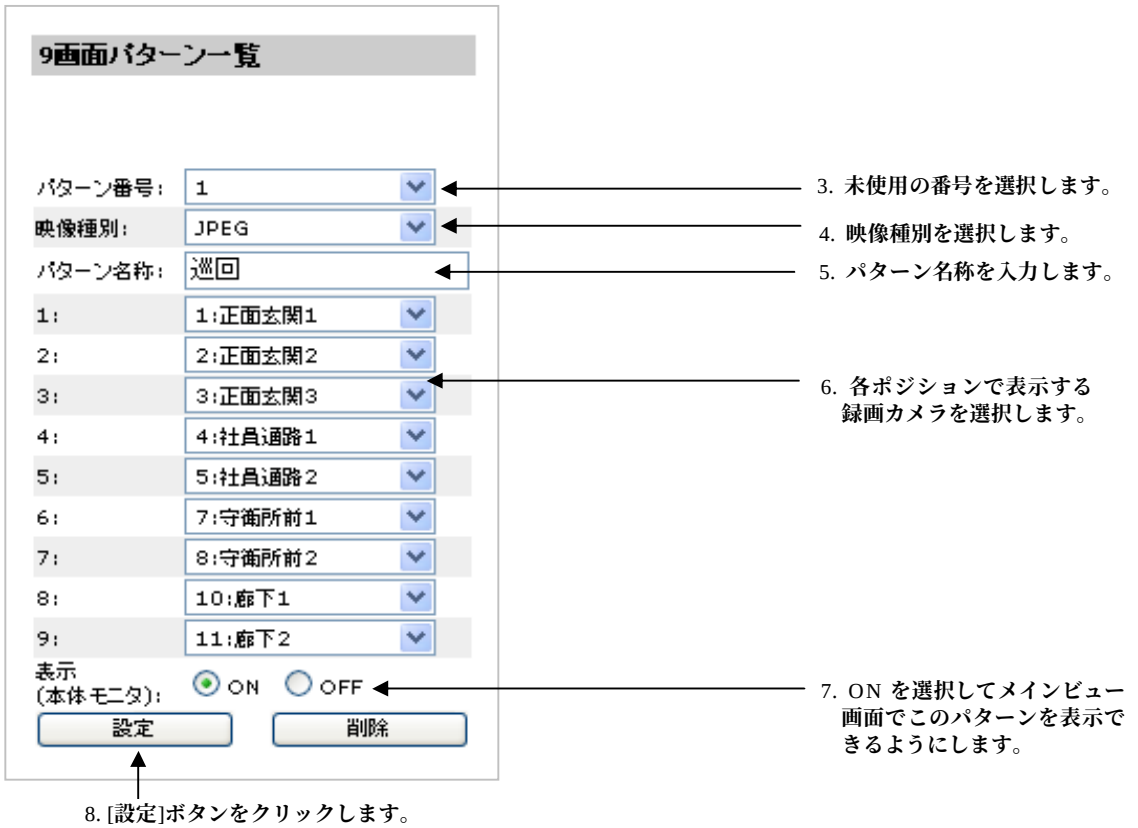
注意： **［同期］ボタンを利用すると、4 つのカメラが撮影した同時刻のビデオを閲覧することができます。**

9 画面表示

9 画面表示のパターンを利用して 9 つの録画カメラのライブ画像、または録画画像を表示します。

9 画面パターンの作成

1. 画面上部の をクリックし、続いて左側のリンクから［アプリケーション］-［モニタ］をクリックします。
2. ［9 画面パターン一覧］に対して設定をします。
3. ［パターン番号］ドロップダウンリストから未使用の番号を選択します。
4. ［映像種別］ドロップダウンリストから表示映像の種別を選択します。
5. ［パターン名称］パターン名称を入力します。パターン名は、最大 32 文字までの半角英数または全角で設定してください。
   ただし、以下の記号以外の半角記号は使用できません。_ - ( ) スペース
6. 各ポジションに表示する録画カメラを選択します。何も表示しない場合は、OFF を選択してください。
7. ［表示］オプションで ON を選択してください。このオプションを有効にすると、メインビュー画面で 9 画面パターンを使用できるようになります。
8. ［設定］ボタンをクリックします。



注意： **パターンを削除する場合は、［パターン番号］から削除するパターンの番号を選択して［削除］をクリックしてください。**

9 画面パターンの表示

9 画面パターンを作成すると、そのパターンを使用してメインビュー画面で画像を表示できるようになります。また、使用する 9 画面パターンをメインビュー画面で選択することも可能です。
メインビュー画面の［9 画面選択］コンボボックスをクリックし、表示するパターンを選択してください。

1. 画面上部の をクリックし、続いて画面下の［ボタン］をクリックします。
2. ［9画面選択］コンボボックスを選択して登録した9画面パターンを一覧表示させます。
3. 表示するパターンを選択して画面に映像を表示させます。

注意： **［同期］ボタンを利用すると、9 つのカメラが撮影した同時刻のビデオを閲覧することができます。**

シーケンス（自動スキャン）

表示時に自動切換表示する時間間隔を設定します。
1／4／9 画面とも共通の設定となります。

シーケンスの設定

1. 画面上部の をクリックし、続いて左側のリンクから［アプリケーション］-［モニタ］をクリックします。
2. ［シーケンス］に対して設定をします。
3. ［切替時間］ドロップダウンリストから映像切替時間を選択します。
4. ［設定］ボタンをクリックします。

シーケンスの表示

以下の手順にしたがって、メインビュー画面に表示するカメラまたは 4 画面パターン、9 画面パターンを自動的に切り換えてください。

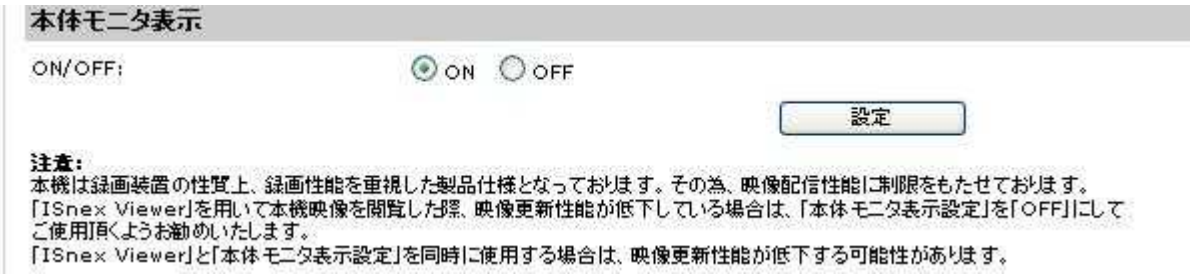
1. 画面上部の をクリックし、続いて画面下の［Scanボタン］をクリックします。
2. 自動切換を停止する場合は、再度［Scanボタン］をクリックします。

本体モニタ表示

本体モニタ表示の ON／OFF を設定します。

本体モニタ表示の設定

1. 画面上部の をクリックし、続いて左側のリンクから［アプリケーション］-［モニタ］をクリックします。
2. ［本体モニタ表示］に対して設定をします。
3. ［ON／OFF］オプションを選択します。
4. ［設定］ボタンをクリックします。

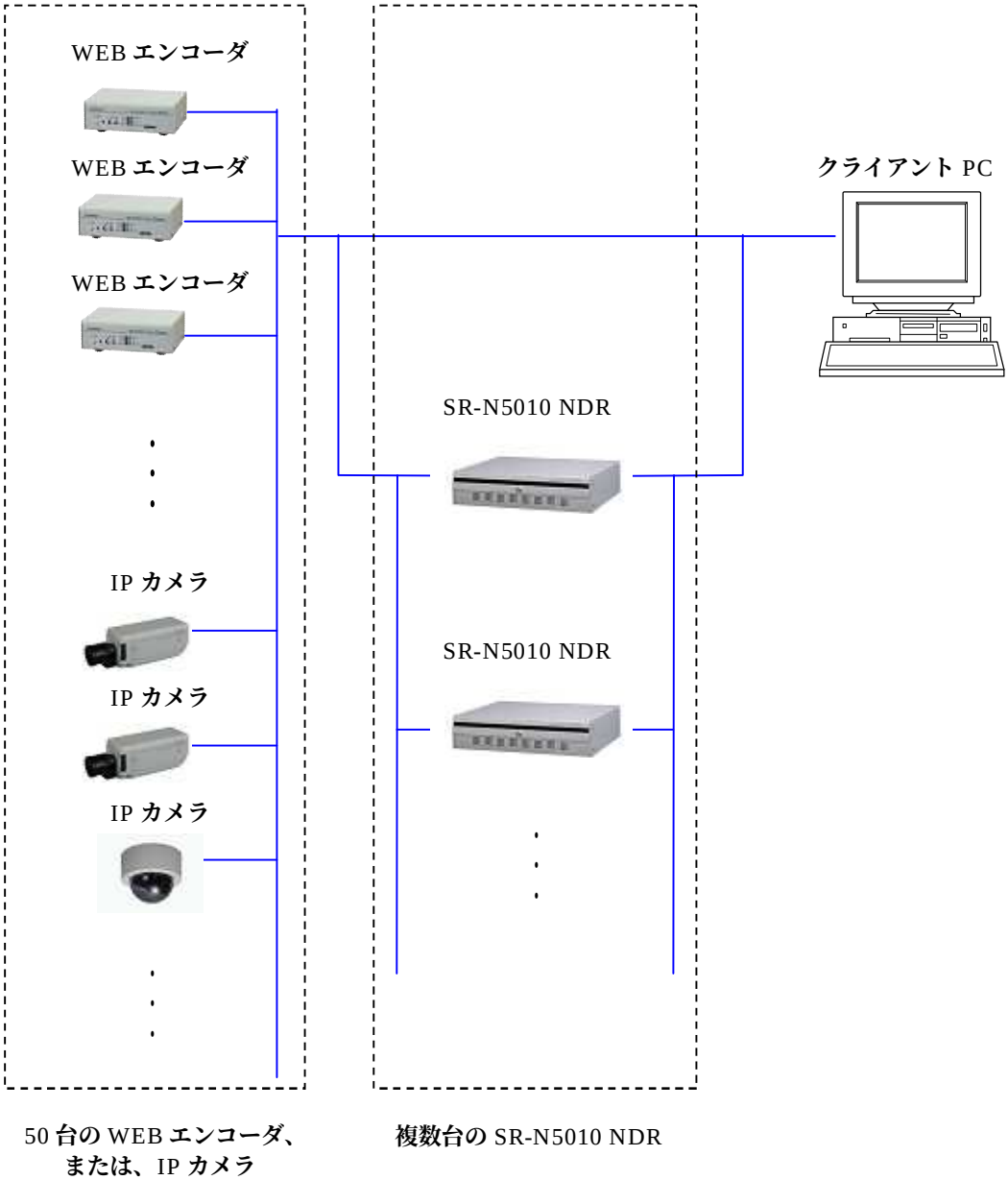


注意：
- 本機は録画装置の性質上、録画性能を重視した製品仕様となっております。その為、映像配信性能に制限をもたせております。また、本体モニタの映像は補助的なものとして表示フレームレートを低く（１～数フレーム/秒）制限しております。映像表示に関しては「ISnex Viewer」を御使用ください。
- 「ISnex Viewer」を用いて本機の映像を閲覧した際、映像更新性能が低下している場合は、［本体モニタ表示設定］を［OFF］にして御使用頂くようお勧めいたします。
- 「ISnex Viewer」と［本体モニタ表示設定］を同時に使用する場合は、映像更新性能が低下する可能性があります。

カメラ選択画面の設定

ネットワークカメラ

SR-N5010 には、ネットワークカメラとして最大 50 台までの日立国際電気製 WEB エンコーダ、または、IP カメラを登録することができます。



カメラ選択画面では、ネットワークカメラのライブ画像または録画された画像を 1 画面で表示、または複数のネットワークカメラの画像を 4 画面、9 画面の多画面で表示することができます。
多画面表示している際には操作対象画面を選択する必要があります。画面選択は多画面表示中に、選択したい画面の映像表示領域内をマウス左クリックすることで行います。現在選択されているカメラ画像は水色の枠が表示されます。

以下の手順にしたがって、ネットワークカメラリストにネットワークカメラを登録してください。

1. 画面上部の をクリックし、続いて左側のリンクから［ネットワークカメラ］-［ネットカメラ］をクリックします。
2. ［番号］ドロップダウンリストから未使用の番号を選択します。
3. ［グループ］ドロップダウンリストから登録先グループを選択します。
4. ［カメラ名称］カメラ名を入力します。カメラ名は、最大 21 文字までの半角英数字または全角で設定してください。ただし、以下の記号以外の半角記号は使用できません。
_ - ( ) スペース
5. ［カメラ URL］カメラの IP アドレス、または URL（http://は不要）を入力します。
6. ［ポート］カメラの映像配信ポートを入力します。
7. ［映像種別］ドロップダウンリストから JPEG（http）、JPEG（multi）、MPEG-4（udp）、MPEG-4（tcp）、MPEG-4（http）、MPEG-4（multi）、H.264（udp）、H.264（tcp）、H.264（http）、H.264（multi）を選択します。
8. ［カメラ ID］カメラのローカルカメラ番号を入力します。
9. ［回線レート］カメラのビットレート制限値を入力します。0 設定時は制限なしになります。
10. ［シーケンス］ドロップダウンリストから未使用の番号を選択、または、OFF を選択します。[切替時間] ドロップダウンリストから希望する表示時間を選択、または、skip を選択します。
11. ［ライブ種類］カメラ直接、または、録画装置経由を選択します。
12. ［録画装置 URL］録画装置の IP アドレス、または URL（http://は不要）を入力します。録画装置 URL はネットワークカメラリストへ登録するカメラが録画装置に録画カメラ登録されていない場合や、録画装置を使用しない場合には入力する必要はありません。
13. ［録画装置 HTTP ポート］録画装置の HTTP ポート番号を入力します。デフォルト設定は 80 番です。
14. ［録画装置映像ポート］録画装置の映像ポート番号を入力します。デフォルト設定は 2000 番です。
15. ［録画カメラ ID］対象カメラが録画装置に録画カメラ登録された際の録画カメラ ID を選択します。
16. ［設定］ボタンをクリックします。

注意：
- **登録済みのネットワークカメラを削除する場合は、［カメラ番号］から削除するカメラの番号を選択して［削除］をクリックしてください。**
- **ネットワークカメラリストへのネットワークカメラの登録または削除を行った場合に、SR-N5010の録画カメラ登録には影響しません。**

2. カメラ番号を選択します。
3. 登録先グループを選択します。
4. カメラ名称を入力します。
5. IP アドレスを入力します。
6. ポート番号を入力します。
7. 映像種別を選択します。
8. カメラ ID を選択します。
9. カメラビットレート制限値を入力します。
10. シーケンス設定を選択します。
11. ライブ種類を選択します。
12. 録画装置の URL を入力します。
13. 録画装置の HTTP ポート番号を入力します。
14. 録画装置の映像ポート番号を入力します。
15. 録画カメラ ID を選択します。
16. [設定]ボタンをクリックします。

1 画面表示

ネットワークカメラの選択

ネットワークカメラリストにネットワークカメラを追加すると、カメラ選択画面で追加したネットワークカメラの画像を閲覧できるようになります。［ボタン］をクリックし、表示するネットワークカメラの名称をクリックしてください。

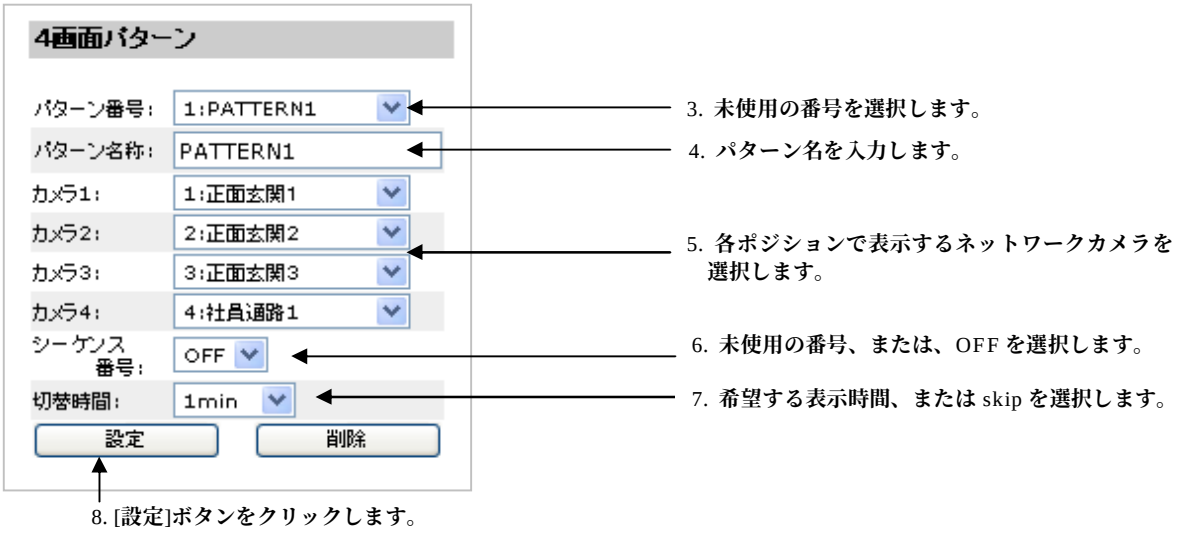
1. 画面上部の をクリックし、続いて画面下の［ボタン］をクリックします。
2. 表示するネットワークカメラの属するグループを選択します。
   全カメラを選択することでグループに関係なく全ネットワークカメラを選択可能にすることも可能です。
3. 表示するネットワークカメラの名称をクリックします。

4 画面表示

4 画面表示のパターンを利用して 4 つのネットワークカメラのライブ画像、または録画された画像を表示します。

4 画面パターンの作成

1. 画面上部の をクリックし、続いて左側のリンクから［ネットワークカメラ］-［多画面］をクリックします。
2. ［4 画面パターン設定］に対して設定をします。
3. ［パターン番号］ドロップダウンリストから未使用の番号を選択します。
4. ［パターン名称］パターン名を入力します。パターン名は、最大 21 文字までの半角英数字または全角で設定してください。
   ただし、以下の記号以外の半角記号は使用できません。_ - ( ) スペース
5. 各ポジションに表示するネットワークカメラを選択します。何も表示しない場合は、OFF を選択してください。
6. ［シーケンス番号］ドロップダウンリストから未使用の番号、または、OFF を選択します。
7. ［切替時間］ドロップダウンリストから希望する表示時間、または、skip を選択します。
8. ［設定］ボタンをクリックします。



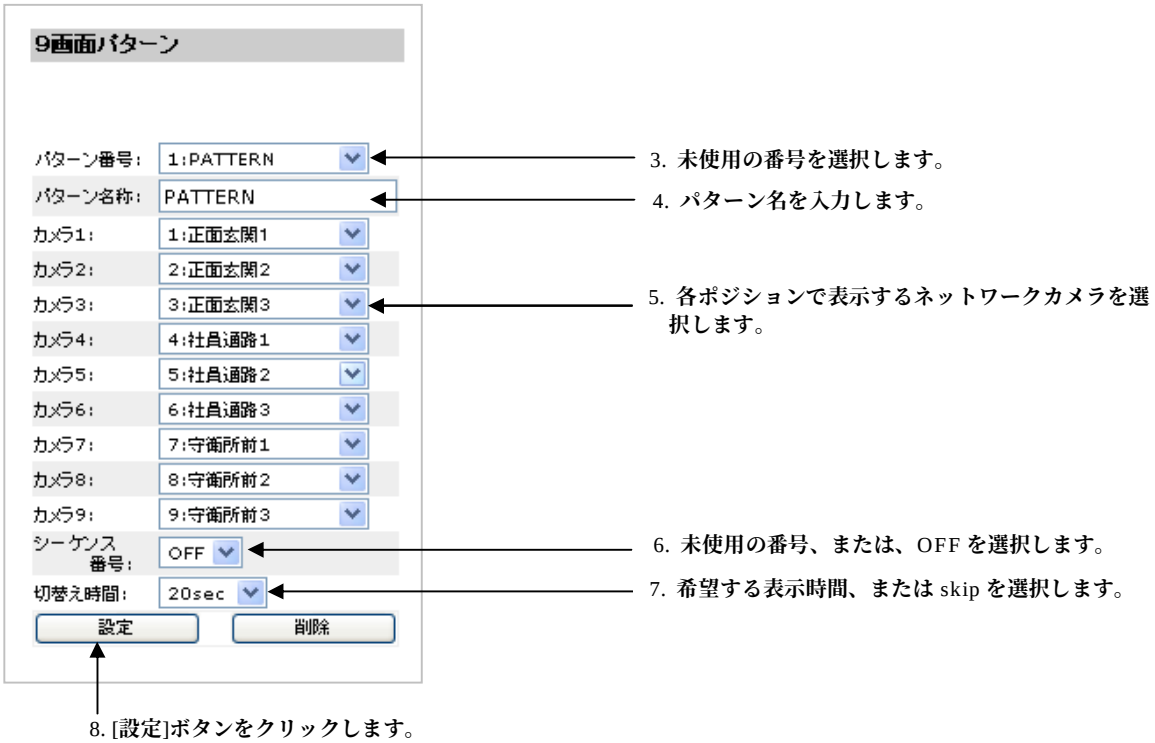
注意： **パターンを削除する場合は、［パターン番号］から削除するパターンの番号を選択して［削除］をクリックしてください。**

9 画面表示

9 画面表示のパターンを利用して 9 つのネットワークカメラのライブ画像、または録画された画像を表示します。

9 画面パターンの作成

1. 画面上部の をクリックし、続いて左側のリンクから［ネットワークカメラ］-［多画面］をクリックします。
2. ［9 画面パターン設定］に対して設定をします。
3. ［パターン番号］ドロップダウンリストから未使用の番号を選択します。
4. ［パターン名称］パターン名を入力します。パターン名は、最大 21 文字までの半角英数字または全角で設定してください。
   ただし、以下の記号以外の半角記号は使用できません。_ - ( ) スペース
5. 各ポジションに表示するネットワークカメラを選択します。何も表示しない場合は、OFF を選択してください。
6. ［シーケンス番号］ドロップダウンリストから未使用の番号、または OFF を選択します。
7. ［切替時間］ドロップダウンリストから希望する表示時間、または、skip を選択します。
8. ［設定］ボタンをクリックします。



注意：　パターンを削除する場合は、［パターン番号］から削除するパターンの番号を選択して［削除］をクリックしてください。

全画面表示

表示映像エリアをダブルクリックすることで全画面にカメラのライブ画像、または録画された画像を表示することが可能です。ダブルクリック以外にも右クリックメニュー、または、画面切替パネルの最大化ボタン／標準画面ボタンでの切替も可能です。
全画面表示は 1 画面表示でも多画面表示でも可能です。1 画面表示の場合には全画面表示後に再度映像表示エリアをダブルクリックすることで元の標準画面表示に戻ります。多画面表示時には、映像表示エリアをダブルクリックすることで多画面の全画面表示になります。多画面の全画面表示時に映像表示エリアをダブルクリックするとダブルクリックしたカメラ映像の 1 画面の全画面表示に切り替わります。再度ダブルクリックを行なうと多画面の全画面表示に戻ります。標準画面表示に戻るには右クリックメニューを使用するか、または、画面切替パネルの標準画面ボタンをクリックしてください。

1 画面、標準画面表示

画面ダブルクリック

1 画面、全画面表示

画面ダブルクリック

1 画面、標準画面表示

4 画面、標準画面表示

画面ダブルクリック

4 画面、全画面表示

画面ダブルクリック

1 画面、全画面表示

画面ダブルクリック

4 画面、全画面表示

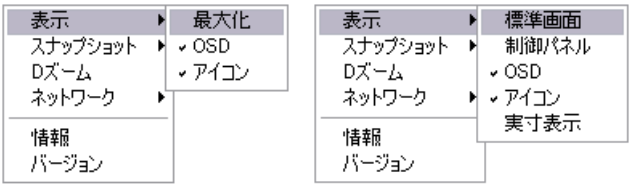
映像表示エリアのダブルクリック、右クリックメニュー、画面切替パネルの標準画面ボタン で標準画面表示に戻ります。

画面切替パネルは全画面表示時に画面下部にマウスを移動すると表示されます。表示後一定時間操作を行わない、かつマウスカーソルを画面切替パネルからはずしておくと自動で非表示になります。または、右クリックメニュー／画面切替パネル上の閉じるボタン☒からも非表示にできます。

画面制御パネルは全画面表示時に画面右部にマウスを移動すると表示されます。表示後一定時間操作を行わない、かつマウスカーソルを画面制御パネルからはずしておくと自動で非表示になります。または、右クリックメニュー／画面制御パネル上の閉じるボタン☒からも非表示にできます。

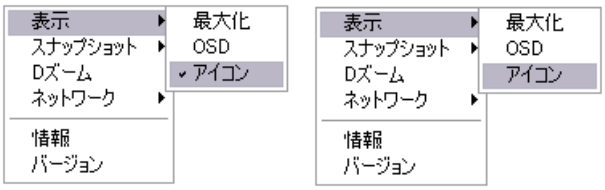
メニュー

映像表示エリアをマウスで右クリックするとメニューが表示されます。メニューから可能な操作を以下で説明します。

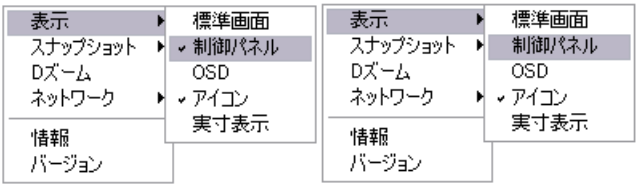


・［表示］-［最大化］／［表示］-［標準画面］
映像表示の標準画面表示／全画面表示時を切り替えます。

・［表示］-［OSD］
OSD（映像表示画面へのカメラ名称、映像時刻を表示）の表示／非表示を切り替えます。

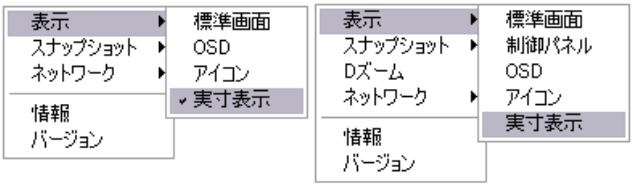


・［表示］-［アイコン］
アイコンの表示／非表示を切り替えます。

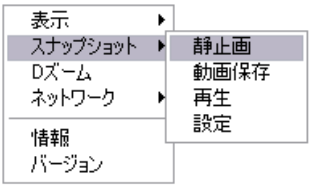


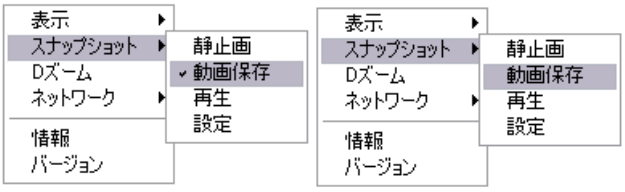
・［表示］-［制御パネル］（全画面表示時）
制御パネルの表示／非表示を切り替えます。

・［表示］-［実寸表示］（全画面表示時）
映像表示の実寸表示／全画面表示を切り替えます。

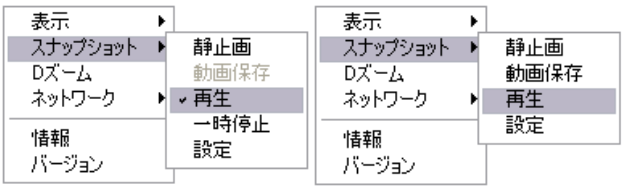


・［スナップショット］ -［静止画］
静止画の保存を行います。



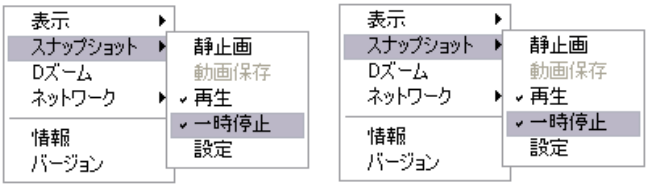


・［スナップショット］-［動画保存］
動画保存の開始／停止を行います。

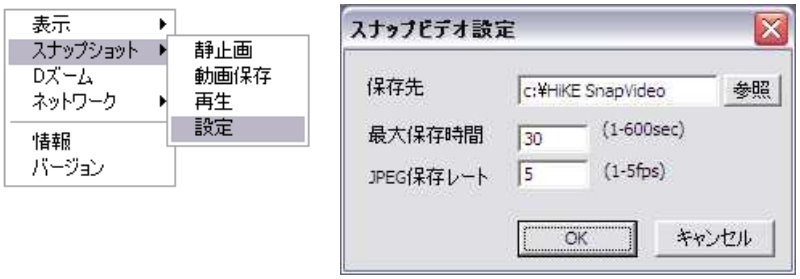


・［スナップショット］-［再生］
保存した動画の再生開始／再生停止を行います。再生を選択するとファイル選択ダイアログが表示されるので再生対象のファイルを選択してください。

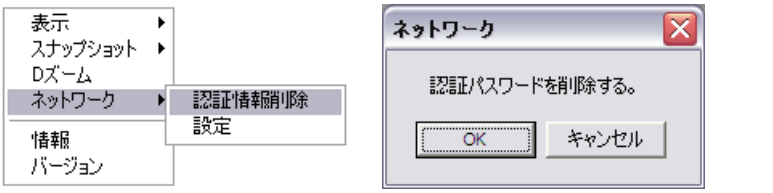
・［スナップショット］-［一時停止］
保存した動画の再生中に再生の一時停止／解除を行ないます。



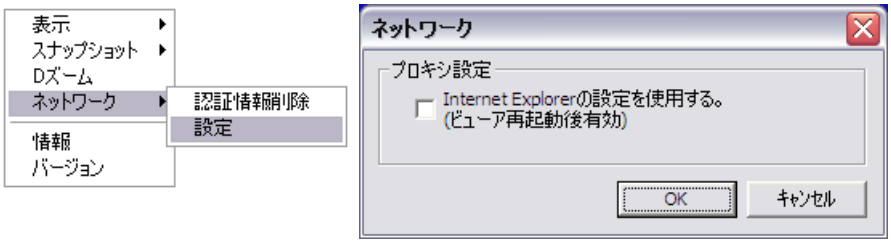
・［スナップショット］-［設定］
動画保存の設定を行います。



・［ネットワーク］-［認証情報削除］
ユーザ認証のキャッシュされているパスワード情報の削除を行います。
［OK］を選択すると全てのパスワード情報が削除されます。



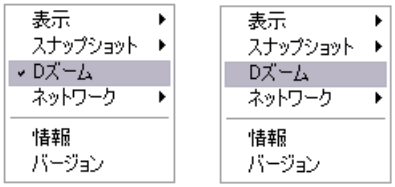
・［ネットワーク］-［設定］
ネットワーク設定を行います。
再起動後に有効になります。



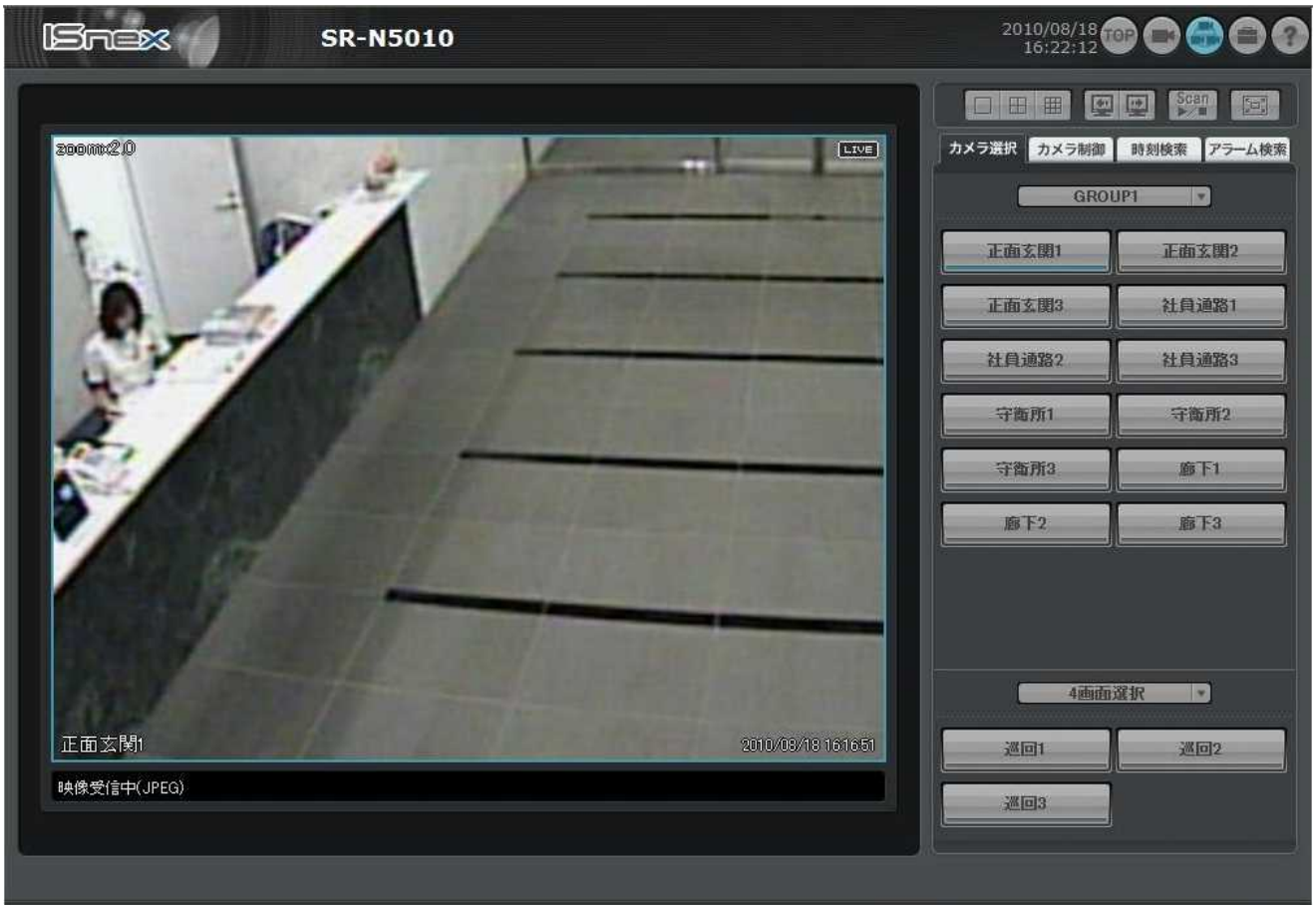
・［情報］
表示映像の情報を表示します。

・［バージョン］
ISnex Viewer のバージョン情報を表示します。

・［D ズーム］



デジタルズーム表示の開始／終了を行います。
デジタルズームの倍率は映像表示部をマウスクリック
するごとに、
1.0 倍／1.5 倍／2.0 倍／2.5 倍／3.0 倍／1.0 倍／・・・
と変化します。
ズームの中心は 1.0 倍の時に最初にクリックした場所になります。
デジタルズーム中は映像表示部左上にデジタルズーム倍率が表示されます。

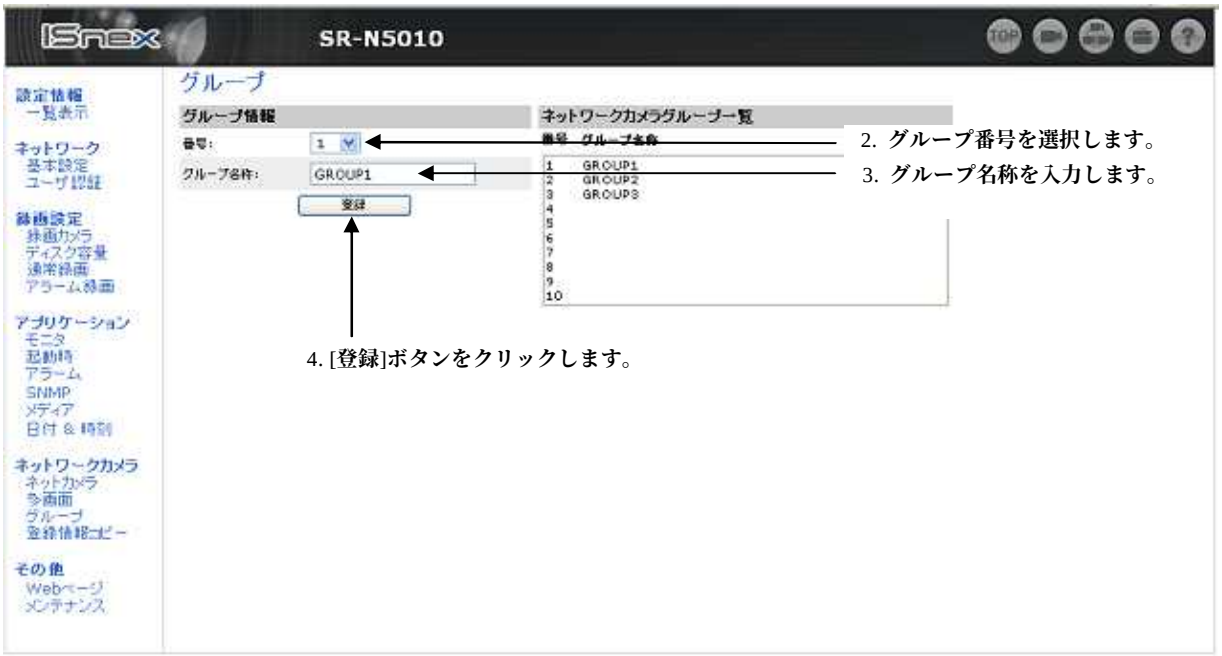


ネットワークグループ

ネットワークグループを登録することにより、ネットワークカメラリストへ登録するカメラをグルーピングしてカメラ選択ボタンの表示をグループごとに行うことができます。ネットワークカメラのグループ設定方法は［ネットワークカメラの登録方法］をご参照ください。

グループの名称の登録

1. 画面上部の をクリックし、続いて左側のリンクから［ネットワークカメラ］-［グループ］をクリックします。
2. ［番号］ドロップダウンリストからグループ番号を選択します。
3. ［グループ名称］グループ名を入力します。グループ名は、最大 21 文字までの半角英数字または全角で設定してください。
   ただし、以下の記号以外の半角記号は使用できません。_ - ( ) スペース
4. ［登録］ボタンをクリックします。

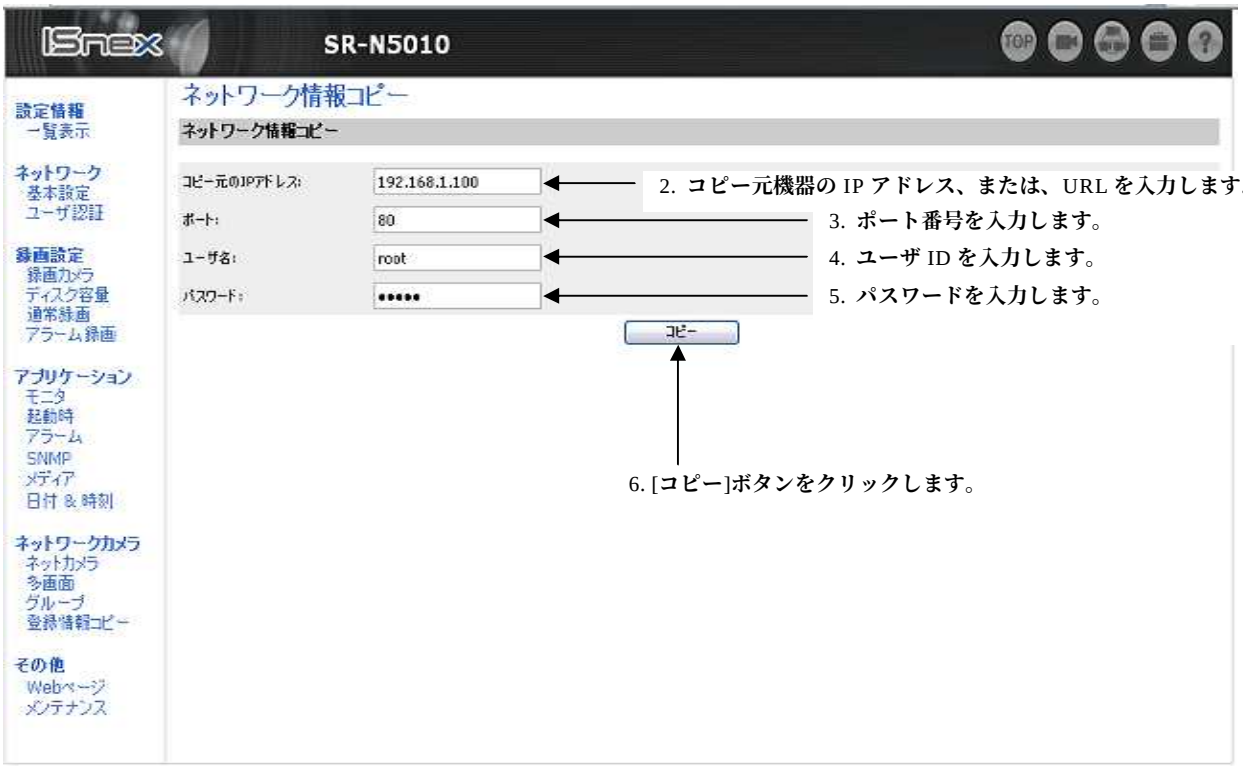


登録情報コピー

ネットワークカメラ情報、ネットワークグループ情報、ネットワークパターン情報を機器間でネットワークを使用してコピーすることで情報の共有を行うことができます。

登録情報のコピー

1. 画面上部の をクリックし、続いて左側のリンクから［ネットワークカメラ］-［登録情報コピー］をクリックします。
2. ［コピー元の IP アドレス］コピー元機器の IP アドレスを入力します。
3. ［ポート］コピー元機器の HTTP ポート番号を入力します。
4. ［ユーザ名］コピー元機器が認証設定されている場合は有効なユーザ名を入力します。
5. ［パスワード］ユーザ名に入力したユーザ名に対応するパスワードを入力します。
6. ［コピー］ボタンをクリックします。



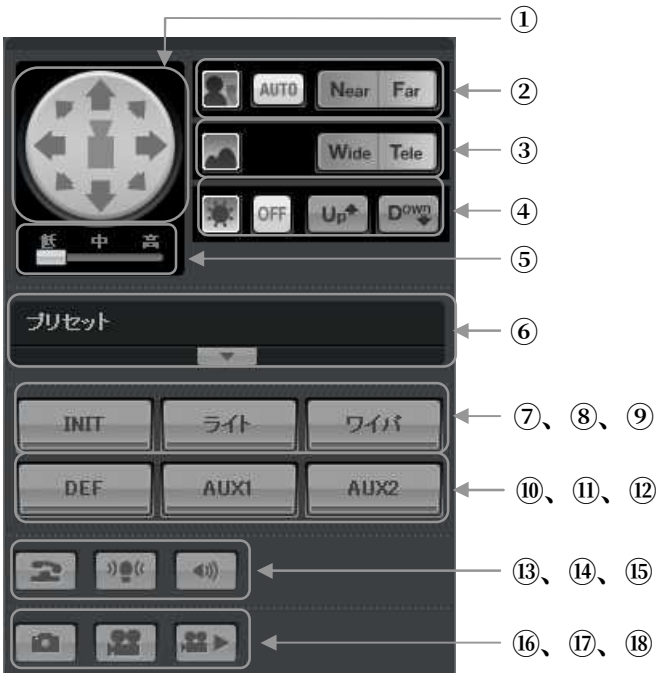
カメラ制御

カメラ制御機能付きアナログカメラを接続した WEB エンコーダ、または、カメラ制御機能付きの IP カメラの場合にはメインビュー画面、または、カメラ選択画面から WEB エンコーダ、または、IP カメラのカメラ制御機能を使用することができます。
WEB エンコーダ、または、IP カメラのカメラ制御機能を使用するためには WEB エンコーダ、または、IP カメラのカメラ制御機能が有効になるように設定しておく必要があります。
WEB エンコーダ、または、IP カメラの設定方法は、各機器の取扱説明書を参照してください。

カメラ制御

カメラ制御

1. 画面上部の をクリックします。
2. カメラ制御を行うカメラの映像を表示します。多画面表示時にはカメラ制御を行うカメラの映像を選択します。
3. ［カメラ制御タブ］を選択します。
4. 各コントロールを使用してカメラ制御を行います。



①パンチルトボタン　：カメラを上下、左右、斜めに移動させます。
②フォーカスボタン　：フォーカスの操作を行います。AUTO でオートフォーカス可能です。
③ズームボタン　：ズームの操作を行います。
④カメラ感度ボタン　：カメラの感度を設定します。M／A モードのときに設定可能です。
⑤スピード設定スライダ　：カメラの操作速度を設定します。
⑥プリセットボタン　：プリセット移動／登録を行なうプリセット画面を表示します。
⑦イニシャルボタン　：カメラのイニシャル動作を行います。
⑧ライトボタン　：照明の ON／OFF を切り替えます。
⑨ワイパボタン　：押している間ワイパが動作します。
⑩DEF ボタン　：DEF（霜取り）の ON／OFF を切り替えます。
⑪⑫AUX ボタン　：AUX1、AUX2 に設定した動作を実行します。
⑬通話ボタン　：通話を開始します。再度押下すると通話が終了します（ライブ再生時）。
⑭集音ボタン　：集音を開始します。再度押下すると集音が終了します。
⑮拡声ボタン　：拡声を開始します。再度押下すると拡声が終了します（ライブ再生時）。
⑯スナップショットボタン：表示映像の静止画の取り込みを行います。
⑰スナップビデオボタン　：表示映像の簡易保存を行います。
⑱スナップ再生ボタン　：簡易保存した映像の再生を行います。

注意：　**通話、集音、拡声機能を使用するにはビューア起動前に音声アプリを起動しておく必要があります。詳細は同梱されている CD-ROM 内の音声アプリの解説をご参照ください。**

ビデオの録画

SR-N5010 のハードディスクへの録画には、以下の種類があります。

・スケジュール録画　：あらかじめ指定した時間の録画。たとえば、オフィス内のモニタリングなどの場合、月曜から金曜までの就業時間中に録画を実行することができます。

・手動録画　：手動で任意に録画を開始／停止する録画。たとえば、メインビュー画面の操作画面を使用して録画を開始／停止することができます。

・アラーム録画　：アラームによるトリガ録画。たとえば、ドアが空いたときやモーション検知が行われたときの入力をトリガとして録画を開始します。

メインビュー画面の各カメラ映像表示画面内に録画状況が表示されます。

手動録画

スケジュール録画 + アラーム録画

スケジュール録画

注意：・MPEG-4／H.264 のフレームレートは、WEB エンコーダ、または、IP カメラ側で設定を行ってください。

・手動録画とスケジュール録画が同時に実行された時は、手動録画の設定ページで指定されたフレームレートを利用して録画を行います。

・アラーム録画の場合は、アラームの設定ページで指定したフレームレートを常に使用します。

・SR-N5010 は WEB エンコーダ、または、IP カメラが配信可能なフレームレートで画像の録画を行いますが、実際のフレームレートが設定した値よりも低くなることがあります。これは、利用可能な帯域幅が限られている場合や、WEB エンコーダ、または、IP カメラの設定でフレームレートの制限を行っている場合などに発生します。

・スケジュール録画設定を行った場合に設定が有効になるまでに 1 分ほど時間がかかります。そのためにスケジュール録画マークの表示にも 1 分ほど時間がかかります。

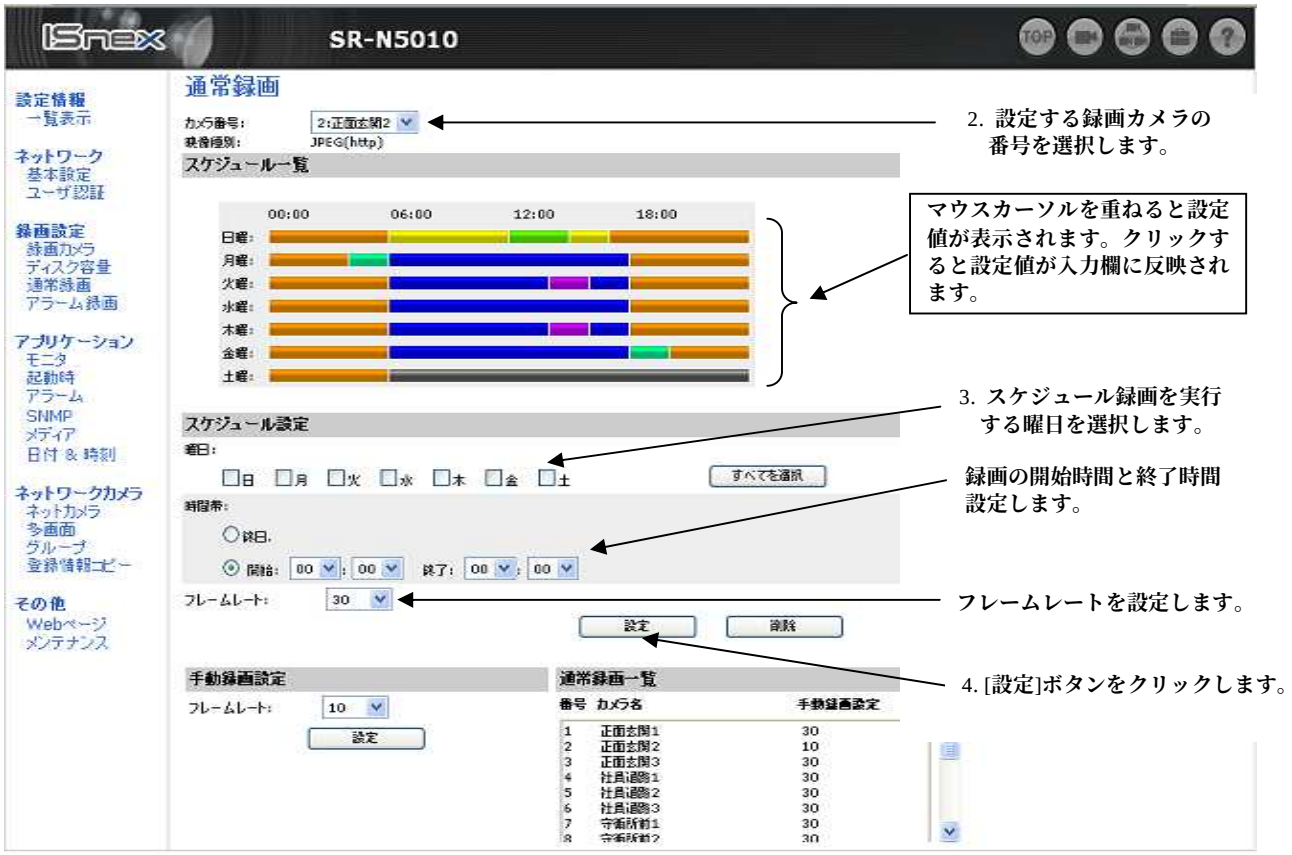
・映像種類で MPEG-4、H.264 を選択した録画カメラはアラーム録画設定ができません。

スケジュール録画

定期的に録画を行う曜日、時間を各録画カメラに対して設定することができます。また、1 日の中で複数の録画を実行することもできます（例：毎週火曜日、10:00-12:45、14:00-16:15、20:30-23:00 に録画を実行）。曜日によって異なるスケジュールを設定する、また複数の曜日に対して同時に設定を行うことも可能です。

スケジュール録画を設定する

1. 画面上部の をクリックし、続いて左側のリンクから［録画設定］-［通常録画］をクリックします。
2. ［カメラ番号］ドロップダウンリストからスケジュールを設定する録画カメラの番号を選択します。
3. ［スケジュール設定］の欄で録画を行う曜日、開始時間、終了時間、フレームレートを設定します。
4. ［設定］ボタンをクリックします。



スケジュール録画を削除する

1. ［カメラ番号］ドロップダウンリストからスケジュールを削除する録画カメラの番号を選択します。
2. スケジュール一覧から削除するスケジュール（バー）をクリックして選択し、［削除］をクリックします。
3. ある曜日に設定されている複数のスケジュールをすべて削除する場合は、まず［曜日］を選択します。続いて、時間帯から［終日］を選択して［削除］をクリックしてください。

手動録画

手動録画のフレームレートを設定する

以下の手順にしたがって、手動録画時のフレームレートを設定してください。

1. 画面上部の をクリックし、続いて左側のリンクから［録画設定］-［通常録画］をクリックします。
2. ［カメラ番号］ドロップダウンリストからフレームレートを設定する録画カメラの番号を選択します。
3. 手動録画設定欄の［フレームレート］ドロップダウンリストから使用するフレームレートを選択します。
4. ［設定］ボタンをクリックします。

手動録画を実行する

メインビュー画面を利用して手動で録画を実行することができます。手動録画は、1 画面表示では現在表示している録画カメラで、多画面表示では現在画面選択している録画カメラで録画を開始することができます。

1. 手動録画開始ボタン●をクリックすると、現在表示されている録画カメラの手動録画が開始します。
2. 手動録画停止ボタン■をクリックすると、現在表示されている録画カメラの手動録画が停止します。

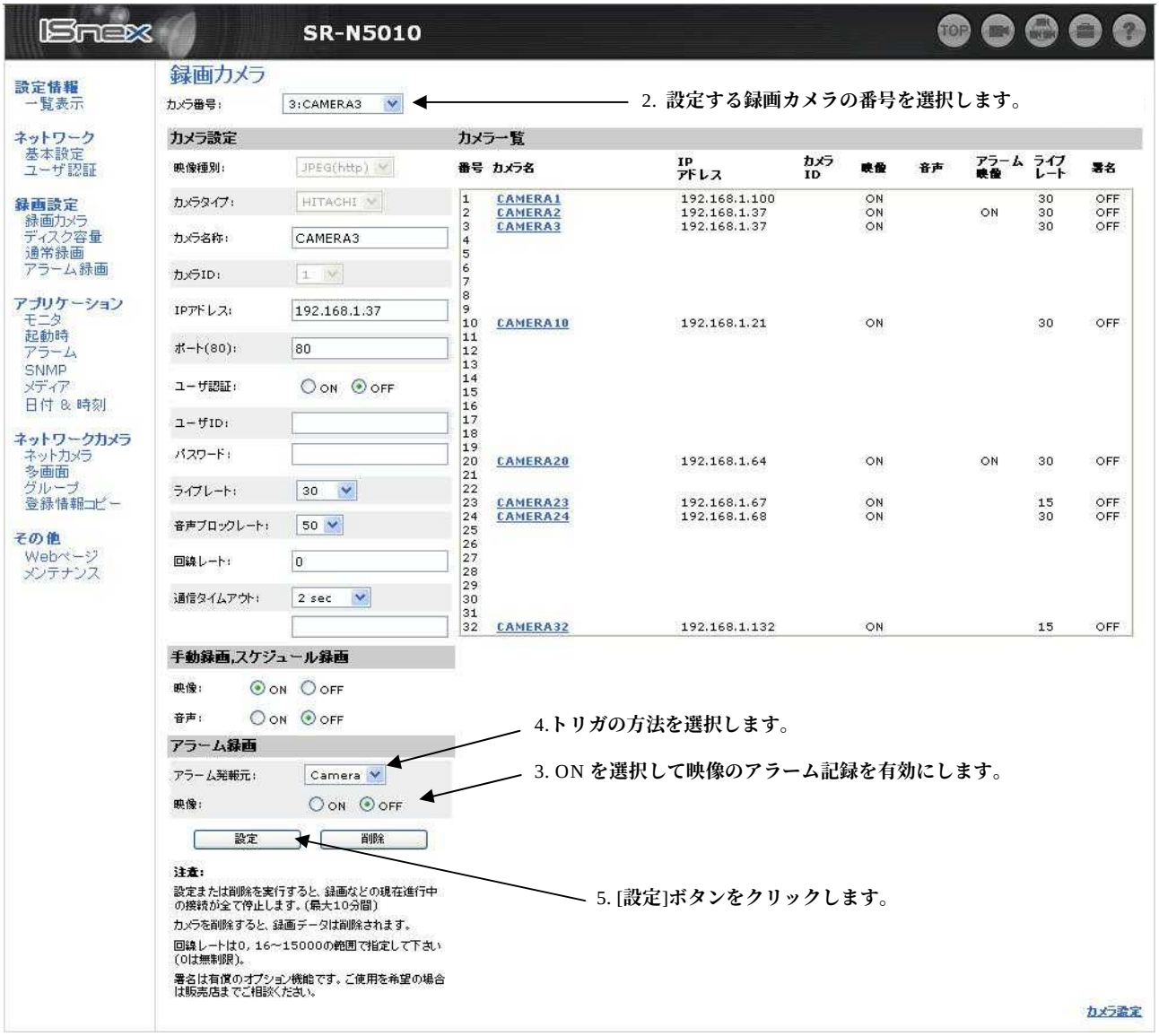
アラーム録画

アラーム録画は、SR-N5010 の入力ポートからの信号や、日立国際電気製 WEB エンコーダ、または、IP カメラおよび日立製作所製の IP カメラからのアラーム通知をトリガとして録画を実行します。

注意： **・映像種類で MPEG-4、H.264 を選択した録画カメラはアラーム録画設定ができません。**
・音声記録を設定した録画カメラはアラーム録画設定ができません。

以下の手順にしたがって、アラーム録画の設定を行ってください。

1. メインビュー画面上部の をクリックし、続いて左側のリンクから［録画設定］-［録画カメラ］をクリックします。
2. ［カメラ番号］ドロップダウンリストからアラーム録画を行う録画カメラ番号を選択します。
3. ［映像］オプションから ON を選択します。
4. ［アラーム発報元］オプションからアラームをトリガする方法を選択します。SR-N5010 本体の接点入力ポートを利用する場合は Local、WEB エンコーダ、または、IP カメラのアラーム通知を利用する場合は Camera を選択してください。
5. ［設定］ボタンをクリックします。


SR-N5010
設定情報
一覧表示
ネットワーク
基本設定
ユーザ認証
録画設定
録画カメラ
ディスク容量
通常録画
アラーム録画
アプリケーション
モニタ
起動時
アラーム
SNMP
メディア
日付 & 時刻
ネットワークカメラ
ネットカメラ
多画面
グループ
登録情報コピー
その他
Webページ
メンテナンス
録画カメラ
カメラ番号: 3:CAMERA3
2. 設定する録画カメラの番号を選択します。
カメラ設定
映像種別: JPEG(http)
カメラタイプ: HITACHI
カメラ名称: CAMERA3
カメラID: 1
IPアドレス: 192.168.1.37
ポート(80): 80
ユーザ認証: ON OFF
ユーザID:
パスワード:
ライブレート: 30
音声ブロックレート: 50
回線レート: 0
通信タイムアウト: 2 sec
カメラ一覧
番号 カメラ名 IP アドレス カメラ ID 映像 音声 アラーム 映像 ライブ レート 署名
1 CAMERA1 192.168.1.100 ON 30 OFF
2 CAMERA2 192.168.1.37 ON ON 30 OFF
3 CAMERA3 192.168.1.37 ON 30 OFF
10 CAMERA10 192.168.1.21 ON 30 OFF
20 CAMERA20 192.168.1.64 ON ON 30 OFF
23 CAMERA23 192.168.1.67 ON 15 OFF
24 CAMERA24 192.168.1.68 ON 30 OFF
32 CAMERA32 192.168.1.132 ON 15 OFF
手動録画,スケジュール録画
映像: ON OFF
音声: ON OFF
アラーム録画
アラーム発報元: Camera
映像: ON OFF
4.トリガの方法を選択します。
3. ON を選択して映像のアラーム記録を有効にします。
設定
削除
5. [設定]ボタンをクリックします。
注意:
設定または削除を実行すると、録画などの現在進行中の接続が全て停止します。(最大10分間)
カメラを削除すると、録画データは削除されます。
回線レートは0, 16~15000の範囲で指定して下さい(0は無制限)。
署名は有償のオプション機能です。ご使用を希望の場合は販売店までご相談ください。
カメラ設定

6. 続いて、左側のリンクから［録画設定］-［アラーム録画］をクリックします。
7. ［カメラ番号］ドロップダウンリストからアラーム録画を設定する録画カメラの番号を選択します。

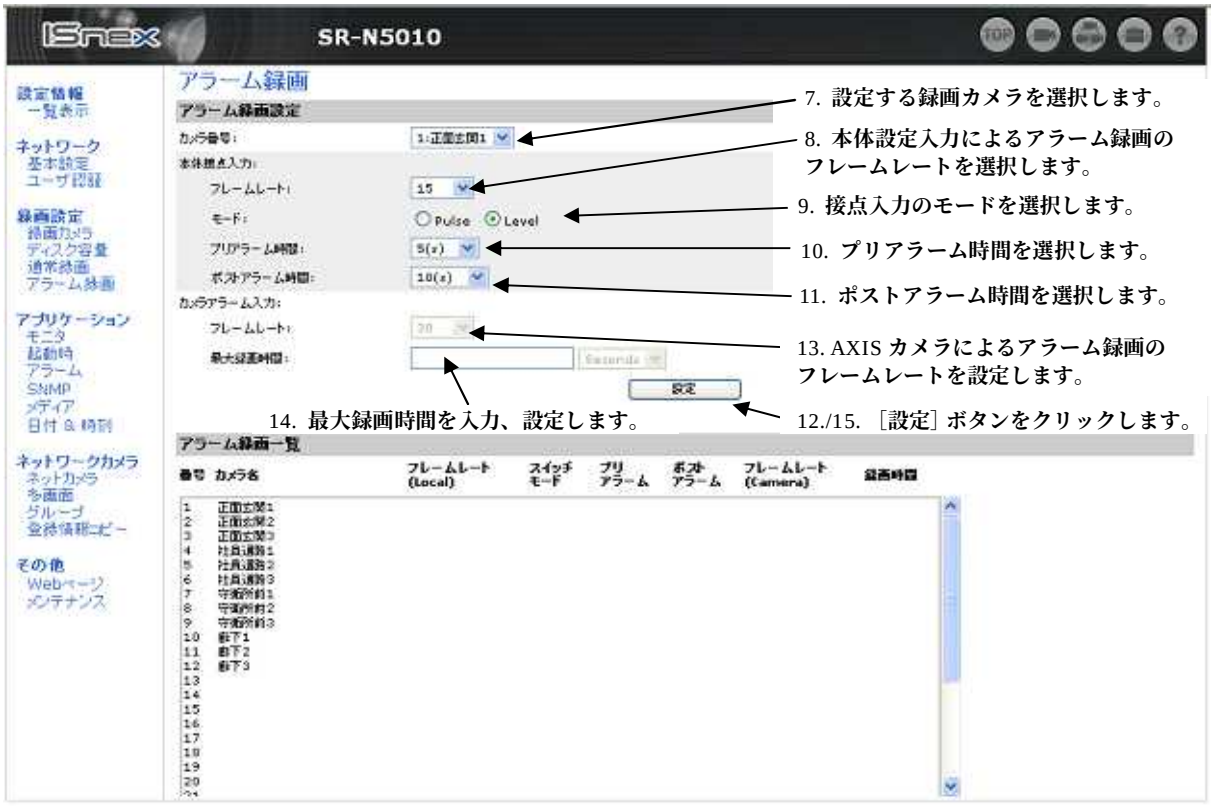
本体接点入力によるアラーム録画（発報元：Local）を行う場合、次の設定を行ってください。

8. ［フレームレート］を選択します。
9. 本体接点入力の［モード］を設定します。［Pulse］は接点入力が OFF から ON になった瞬間をアラームとします。アラーム検出から前がプリアラーム時間、後がポストアラーム時間になります。［Level］は接点入力が ON 状態の期間がアラーム期間となり、その期間のみ録画されます。よってプリアラーム時間、ポストアラーム時間の設定は無効となります。
10. ［プリアラーム時間］ドロップダウンリストからアラーム前の記録時間を設定します。Pulse モード時のみ有効な項目です。
11. ［ポストアラーム時間］ドロップダウンリストからアラーム後の記録時間を設定します。Pulse モード時のみ有効な項目です。
12. ［設定］ボタンをクリックします。

登録されている録画カメラのカメラタイプが［AXIS］である場合に、カメラによるアラーム録画（発報元：Camera）を行う場合、次の設定を行ってください。

13. ［フレームレート］を選択します。
14. ［最大録画時間］を入力、設定します。
15. ［設定］ボタンをクリックします。

登録されている録画カメラのカメラタイプが［HITACHI］である場合に、カメラによるアラーム録画（発報元：Camera）を行う場合、SR-N5010 での設定は行いません。
録画カメラで登録している WEB エンコーダ、または、IP カメラで設定を行います。



WEB エンコーダ、または、IP カメラを利用してアラームをトリガする

WEB エンコーダ、または、IP カメラを利用してアラームをトリガする場合は、SR-N5010 にアラーム通知を送信するよう WEB エンコーダ、または、IP カメラを設定しておく必要があります。
WEB エンコーダ、または、IP カメラの設定方法は、各機器の取扱説明書を参照してください。

音声記録

音声記録は、日立国際電気製 WEB エンコーダ、または、IP カメラ、および日立製作所製 IP カメラからの音声データの録音を実行します。

注意： **アラーム録画設定をした録画カメラは音声記録設定ができません。**
音声記録のみの記録は設定できません（映像の記録が必要）。
映像との同期は最大数秒ずれる可能性があります。
音声記録を実施している WEB エンコーダや IP カメラは、音声双方向通信ができません（録音が優先）。
音声記録データは通常操作ではコンピュータにダウンロードできません。販売店までご相談ください。

以下の手順にしたがって、音声記録の設定を行ってください。

1. 画面上部の をクリックし、続いて左側のリンクから［録画設定］-［録画カメラ］をクリックします。
2. ［カメラ番号］ドロップダウンリストから音声記録を行う録画カメラ番号を選択します。
3. 手動録画、スケジュール録画の［音声］オプションから ON を選択します。
4. ［設定］ボタンをクリックします。

SR-N5010
設定情報
一覧表示
ネットワーク
基本設定
ユーザ認証
録画設定
録画カメラ
ディスク容量
通常録画
アラーム録画
アプリケーション
モニタ
起動時
アラーム
SNMP
メディア
日付 & 時刻
ネットワークカメラ
ネットカメラ
多画面
グループ
登録情報コピー
その他
Webページ
メンテナンス
録画カメラ
カメラ番号: 1:camera1
2. 設定する録画カメラの番号を選択します。
カメラ設定
映像種別: JPEG(http)
カメラタイプ: HITACHI
カメラ名称: camera1
カメラID: 1
IPアドレス: 192.168.1.100
ポート(80): 80
ユーザ認証: ON OFF
ユーザID:
パスワード:
ライブレート: 30
音声ブロックレート: 50
回線レート: 0
通信タイムアウト: 2 sec
カメラ一覧
番号 カメラ名 IP アドレス カメラ ID 映像 音声 アラーム 映像 ライブ レート 署名
1 camera1 192.168.1.100 ON ON 30 OFF
2 camera2 192.168.1.101 ON ON 30 OFF
3 camera3 192.168.1.102 ON ON 30 OFF
4 camera4 192.168.1.103 ON ON 30 OFF
5 camera5 192.168.1.104 ON ON 30 OFF
6 camera6 192.168.1.105 ON ON 30 OFF
7 camera7 192.168.1.106 ON ON 30 OFF
8 camera8 192.168.1.107 ON ON 30 OFF
9 camera9 192.168.1.108 ON ON 30 OFF
10 camera10 192.168.1.109 ON ON 30 OFF
11 camera11 192.168.1.100 ON ON 30 OFF
12 camera12 192.168.1.101 ON ON 30 OFF
13 camera13 192.168.1.102 ON ON 30 OFF
14 camera14 192.168.1.103 ON ON 30 OFF
15 camera15 192.168.1.104 ON ON 30 OFF
16 camera16 192.168.1.105 ON ON 30 OFF
17 camera17 192.168.1.106 ON ON 30 OFF
18 camera18 192.168.1.107 ON ON 30 OFF
19 camera19 192.168.1.108 ON ON 30 OFF
20 camera20 192.168.1.109 ON ON 30 OFF
21 camera21 192.168.1.100 ON ON 30 OFF
22 camera22 192.168.1.101 ON ON 30 OFF
23 camera23 192.168.1.102 ON ON 30 OFF
24 camera24 192.168.1.103 ON ON 30 OFF
25 camera25 192.168.1.104 ON ON 30 OFF
26 camera26 192.168.1.105 ON ON 30 OFF
27 camera27 192.168.1.106 ON ON 30 OFF
28 camera28 192.168.1.107 ON ON 30 OFF
29 camera29 192.168.1.108 ON ON 30 OFF
30 camera30 192.168.1.109 ON ON 30 OFF
31 camera31 192.168.1.100 ON ON 30 OFF
32 camera32 192.168.1.101 ON ON 30 OFF
手動録画,スケジュール録画
音声: ON OFF
3. ON を選択して音声記録を有効にします。
アラーム録画
アラーム発報元: Local
映像: ON OFF
設定
削除
4. [設定]ボタンをクリックします。
注意:
設定または削除を実行すると、録画などの現在進行中の接続が全て停止します。(最大10分間)
カメラを削除すると、録画データは削除されます。
回線レートは0, 16～15000の範囲で指定して下さい(0は無制限)。
署名は有償のオプション機能です。ご使用を希望の場合は販売店までご相談ください。
カメラ設定

ビデオの再生

手動録画、スケジュール録画、およびアラーム録画機能を利用して録画されたビデオは、メインビュー画面で再生することができます。また、録画の実行中でも既に録画されたデータの再生を行うことが可能です。特定の日付と時間を指定して該当するビデオを再生したり、アラームリストから選択したアラーム録画を再生することもできます。
SR-N5010 にスケジュール録画、手動録画、およびアラーム録画された映像データは、ダウンロード機能を使用してお使いのコンピュータに保存することができます。

メイン画面の下に表示されているツールを利用して、以下のような再生操作を行うことができます。

- 様々な速度で再生、逆再生が可能
- 録画データの最初と最後にジャンプ可能
- 同期再生によって、4 つのカメラで同じ時刻に録画されたデータを表示
- 再生の一時停止、フレーム前後のコマ送り
- 日付と時刻を利用した再生
- アラーム一覧を利用した再生

注意： **SR-N5010 に録画された映像データの時間は WEB エンコーダ、または、IP カメラの時計に基づく時間になります。SR-N5010 に複数台の WEB エンコーダ、または、IP カメラを録画カメラとして登録する際には手動で各機器間の時間設定を合わせるか、SR-N5010 を NTP サーバとして使用し、時刻の同期を取るようにしてください。詳細は［日付＆時刻］の設定を参照してください。WEB エンコーダ、または、IP カメラの設定方法は、各機器の取扱説明書を参照してください。**

日付と時刻を利用した再生

日付と時刻を指定して、1 つのカメラまたは 4／9 つのカメラの録画を同時に再生することができます。

以下の手順にしたがって、日付と時刻を指定して再生を行ってください。

1. 録画を再生するカメラ（または 4／9 画面パターン）を選択します。
2. 日付、時刻を選択します。
3. 日付、時刻が選択されると日付と時間に該当する録画を開きます。
   該当する録画が無い場合は、指定した日付と時刻に最も近い録画を表示します。
4. コントロールを使用して、録画の再生または高速再生を行ってください。

注意：　日付と時刻を利用した再生ではアラーム録画した映像は表示されません。

カレンダーコントロール：
時刻検索を行うときに検索対象になる日付を指定する場合に使用します。カレンダーコントロール上で 6 のように表示される日付は録画記録が SR-N5010 内に記録されていることを表します。（映像が保存されている保証はありません。）
◀ボタンクリックで前月を表示します。
▶ボタンクリックで次月を表示します。
（マウス右クリックで表示されるメニューで前後 5 年間の各月にダイレクトに移動することができます。）

時選択バーコントロール：
時刻検索を行うときに検索対象になる時刻を指定する場合に使用します。（マウス右クリックで表示されるメニューでも指定可能です。）

ダウンロードコントロール：
ダウンロードを行う場合に使用します。
詳細は［録画データをコンピュータにダウンロードする］を参照してください。

	先頭／末尾移動ボタン	記録映像の先頭、末尾に移動します。
	高速逆再生／再生ボタン	記録映像を逆方向／順方向に高速再生します。押下するごとに再生速度が　…　→×2→×5→×10→×30→×120→×600→×1200→×2→　…　と変化します。
	逆再生／再生ボタン	記録映像を逆方向／順方向に等速再生します。
	停止ボタン	記録映像の再生を一時停止します。
	コマ戻し／送りボタン	現在表示している記録映像の 1 つ前／後の映像を表示します。
	同期ボタン	同期 ON／OFF を切り替えます。
LIVE	ライブボタン	ライブ映像を表示します。
NDR NDR	NDR 戻り／送りボタン	1 つ前／後の録画装置登録カメラ映像を表示します。
	手動録画開始／停止ボタン	手動録画の開始／停止を行います。

注意： **・高速再生時の再生速度はあくまで目安になります。記録フォーマットや通信環境、PC スペックにより再生速度は左右されます。**

・同期再生は時刻検索や再生操作による映像表示のための操作を 4／9 画面表示時に全画面同時に行うものです。記録映像の再生動作中の完全な表示時刻の一致を保証するものではありませんので御了承ください。

アラーム一覧を利用した再生

アラーム一覧には各カメラのアラーム録画が表示されます。一覧から再生するアラーム録画を選択して再生することができます。各アラーム録画には録画の開始時間と終了時間が表示されます。

以下の手順にしたがって、アラーム録画を再生してください。

1. ［アラーム検索］タブを選択します。
2. カレンダー、時選択バーを使用して絞り込みを行います。
3. 一覧から、再生するアラーム録画をひとつクリックします。
4. 選択したアラーム録画の画像が表示されます。
5. コントロールを使用して、録画の再生または高速再生を行ってください。

注意：　・アラーム保存件数は、アラーム録画ディスク容量割当により変わります。
・アラームの有効件数は、10,000 件となっています。ただし、上記の条件により変わります。

月単位表示　　週単位表示

① カレンダーコントロール

アラーム一覧の表示を絞り込む対象の日付を指定する場合に使用します。

SR-N5010 内にアラーム録画映像が記録されている日にちは 7 のように表示されます。クリックして選択することでアラーム一覧表示が選択した日にちのアラームリストのみに絞り込まれます。Month ボタンをクリックするとカレンダーコントロールが月単位表示になります。Week ボタンをクリックするとカレンダーコントロールが週単位表示になります。

② 時選択バーコントロール

アラーム一覧の表示を絞り込む対象の時刻を指定する場合に使用します。SR-N5010 内にアラーム録画記録が記録されている時刻は のように表示されます。クリックして選択することでアラーム一覧表示が選択した時刻のアラームリストのみに絞り込まれます。

③ アラームリスト

アラームリストが表示されます。リストをクリックして選択することで映像表示領域に選択したアラームリストの先頭映像が表示されます。アラームリストの表示件数は 1 ページ当たり 100 件になります。100 件以上のアラームリストを表示する際には◀ボタンをクリックすると 1 つ前のリスト表示、▶ボタ

ンをクリックすると 1 つ後のリスト表示になります。

ボタンをクリックすると現在選択されているリストの録画データがコンピュータにダウンロードされます。

④ 映像操作コントロール
映像操作を行なうためのコントロールです。詳細は［日付と時刻を利用した再生］のコントロールの説明を参照してください。

注意： **・アラーム録画中のリストは終了時間表示欄に“ 録画中 ”と表示されます。**
・PC のスペックにより 4／9 画面表示時にアラーム検索画面表示に時間がかかることがあります。1 画面表示でのご使用を推奨します。
・通信環境によりアラーム検索画面表示に時間がかかることがあります。ローカル・エリア・ネットワーク（LAN）内でのご使用を推奨します。

録画データをコンピュータにダウンロードする

アラーム録画、手動録画、およびスケジュール録画した映像データをお使いのコンピュータのハードディスクに保存（ダウンロード）することができます。ダウンロードする録画の開始時間、終了時間、およびダウンロード先を指定してください。

以下の手順にしたがって、録画データをダウンロードしてください。

1. 1 画面表示で録画データをダウンロードしたいカメラを表示します。または、多画面表示で録画データをダウンロードしたいカメラ映像表示画面を選択します。
2. 通常録画をダウンロードしたい場合は時刻検索タブを選択します。アラーム録画をダウンロードしたい場合はアラーム検索タブを選択します。
3. 通常録画の場合は時刻検索機能を使用して、または、コントロールを利用してダウンロードを開始するフレームまで移動します。アラーム録画の場合はカレンダーと時選択バーを使用してアラームを絞り込みます。
4. 通常録画の場合はダウンロードを開始するフレームが表示されたら、［始点］欄の［Set］ボタンをクリックします。ダウンロードを終了するフレームまで移動し、［終点］欄の［Set］ボタンをクリックします。アラーム録画の場合はアラームリストからダウンロードするアラームを選択します。Shift ボタン押下状態で選択すると複数選択可能です。
5. ［DownLoad］ボタンをクリックすると、フォルダ指定ダイアログが表示されます。希望するダウンロード先を選択して［OK］ボタンをクリックします。
   録画データのダウンロードが開始されます。

注意： **1 回にダウンロードできるデータ量は初期状態で、JPEG の場合は 1024×512 枚、MPEG-4/H.264 の場合は 32×512 フレーム（VOP）に制限されています。制限値を変更したい場合は販売店までご相談ください。**

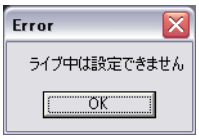
通常録画の場合

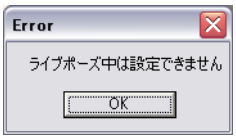
アラーム録画の場合

フォルダを指定する

ダウンロードが実行されます

注意 1： **・ダウンロード始点、終点の指定はライブ映像表示中／ライブポーズ中は実行できません。**





注意 2：**1．ダウンロードスピードは、30fps（30 枚／秒）となります。**

例 1）JPEG の場合

①30fps（30 枚／秒）で 1 時間記録した映像は、ダウンロードに 60 分必要となります。

② 1fps（ 1 枚／秒）で 1 時間記録した映像は、ダウンロードに 2 分必要となります。

ダウンロード時間計算式

1 秒間記録枚数×ダウンロード時間÷1 分間にダウンロード可能枚数 = ダウンロード時間（分）

① の場合計算式 （30×3600）÷1800=60 分

② の場合計算式 （ 1×3600）÷1800= 2 分

例 2）MPEG-4／H.264 の場合

MPEG-4 記録で 1 時間のダウンロード時間：約 35 分

2．ダウンロード時間は、あくまで推測値で実際には環境や PC のスペック等により変わります。

3．ダウンロードする場合は PC 側に、ダウンロード元の記録容量と同程度以上のディスク容量が必要となります。

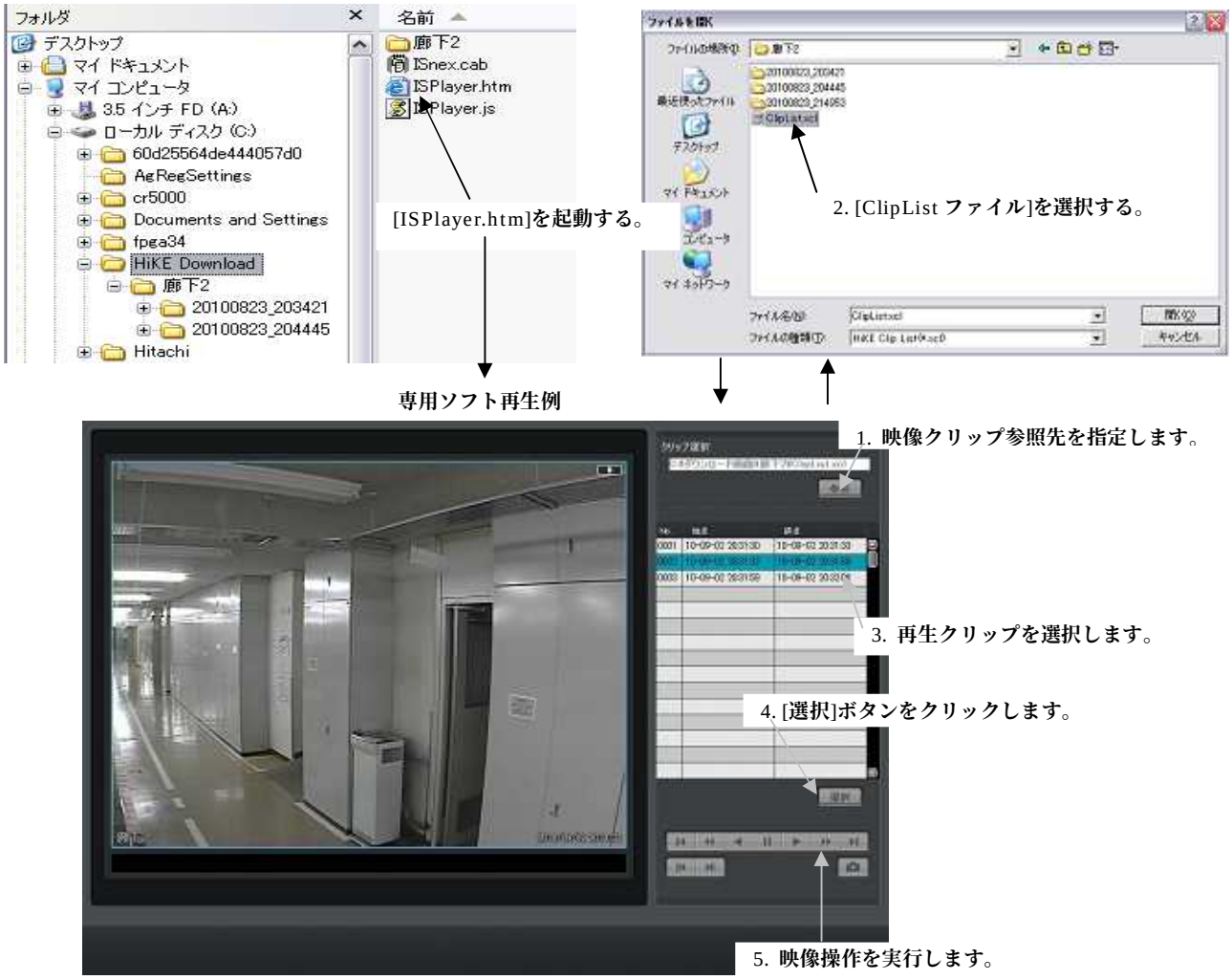
4．ダウンロード中は、ライブ表示および映像操作等は実行できません。

5．多画面表示時にはダウンロード処理にリソースが割り当てられずに録画時間よりも長くダウンロード処理に時間がかかる場合があります。単画面表示でのダウンロードの実行をお勧めします。

ダウンロードデータを再生する

ダウンロードを行った時に、専用再生ソフトも同時にダウンロードされます。ダウンロードを行ったフォルダ内に［ISPlayer.htm］という HTML ファイルがあります。これが映像再生用のソフトになります。

1. ダウンロード保存先フォルダにある［ISPlayer.htm］を起動します。
2. 起動した再生ソフトの［参照ボタン 参照 ］をクリックします。
3. ［ファイルを開くダイアログ］で再生するカメラ名称フォルダ内にある［ClipList ファイル]を選択します。
4. 一覧表示されたクリップリストから再生対象のクリップを選択し、［選択ボタン 選択 ］をクリックします。
5. 再生コントロールを使用して映像を表示します。



注意： **H.264 セットアップのインストール手順は CD の中に同梱されているセットアップ手順書をご参照ください。**

ハードディスク

ディスク容量

各カメラの手動／スケジュール録画、およびアラーム録画のディスク容量の割り当て状況の確認や、変更をすることができます。新しく追加されたカメラは、デフォルトで手動＆スケジュール録画用に 7GB、アラーム録画用に 7GB が割り当てられます。

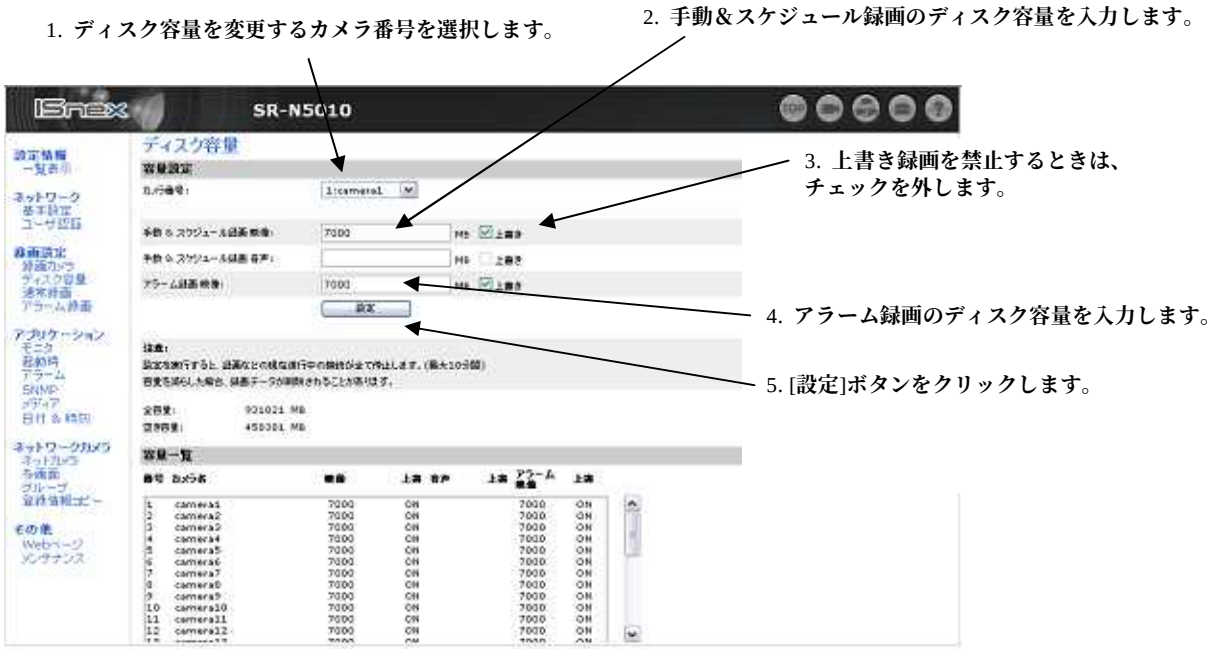
画面上部の をクリックし、続いて左側のリンクから［録画設定］-［ディスク容量］をクリックします。各カメラのディスクの使用状況を確認し、必要に応じて容量の割り当てを変更してください。

重要！ **カメラに割り当てられているディスク容量を減らすと、録画データが削除されます。**

データの上書き

録画データが使用領域の限界に達した場合に、古いデータを上書きするかどうか設定することができます。画面上部の をクリックし、続いて左側のリンクから［録画設定］-［ディスク容量］をクリックします。［カメラ番号］から上書きの設定を行うカメラを選択し、手動＆スケジュール録画、またはアラーム録画のそれぞれに対して上書きを行うかどうか設定してください。

注意： **上書き設定が無効（OFF）になっている場合、ハードディスクが一杯になるとそのカメラの録画ができなくなります。**



注意１：映像、アラーム映像、音声記録ディスク容量は、11MB 以上の値を設定してください。

注意２：映像記録ディスク容量は、下記の方法で算出できます。ただし、おおよその時間となります。

1 枚の画像サイズ(KB)×記録時間（秒）÷1024＝必要なディスク容量(MB)

単位換算係数
KB→MB

例

1．1 枚の画像サイズ：23KB、記録時間：1 時間のディスク容量

23×3600÷1024　約 81MB

単位換算係数
KB→MB

2．1 枚の画像サイズ：23KB、記録時間：24 時間のディスク容量

23×86400÷1024　1941ＭＢ÷1024　約１．９ＧＢ

単位換算係数　単位換算係数
KB→MB　MB→GB

画像サイズに関しては、カメラ又はエンコーダの画像サイズを参照してください。

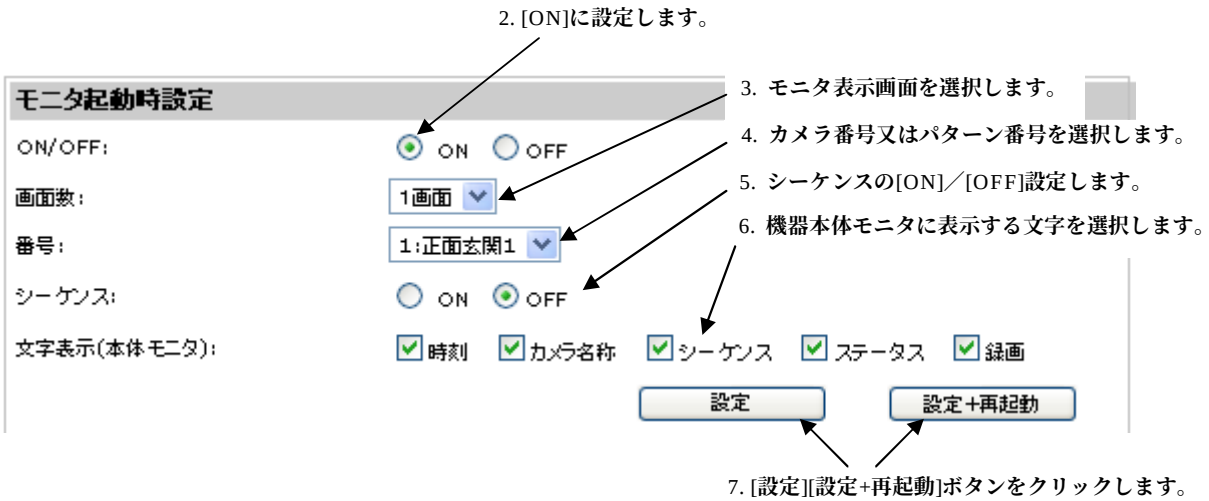
アプリケーション

アプリケーションでは、モニタ、起動時、アラーム、日付 & 時刻など、システムに関する設定を行うことができます。この章では、他の章で説明されていない項目について説明します。

起動時

起動時は、SR-N5010 を起動した時の外部出力モニタの映像表示設定と ISnexViewer のカメラ選択画面を表示した時の映像表示設定を実行します。
以下の手順にしたがって、モニタ起動時の設定を行ってください。

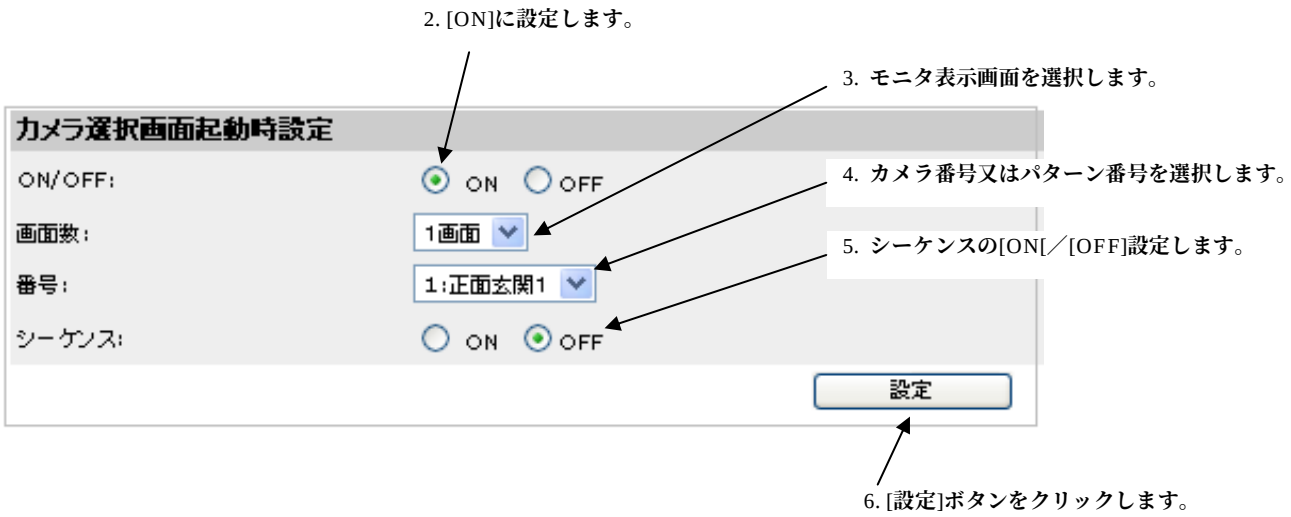
1. 画面上部の をクリックし、続いて左側のリンクから［アプリケーション］-［起動時］をクリックします。
2. ［ON／OFF］オプションから ON を選択します。
3. ［画面数］ドロップダウンリストから 1 画面／4 画面／9 画面よりモニタ表示する画面パターンを選択します。
4. ［番号］ドロップダウンリストから、表示する画面番号（パターン番号）を選択します。
5. ［シーケンス］起動時にシーケンス（自動スキャン）を実行する場合は［ON］を選択します。起動時にシーケンス（自動スキャン）を実行しない場合は［OFF］を選択します。
6. ［文字表示］オプションからモニタに表示する文字を選択します。表示可能文字は、［時刻］［カメラ名称］［シーケンス］［ステータス］［録画］から選択してください。
7. ［設定］または［設定＋再起動］ボタンをクリックします。



注意： **起動時設定のモニタ表示を有効にするには、NDR の再起動が必要となります（文字表示（本体モニタ）設定を除く）。**

以下の手順にしたがって、カメラ選択画面起動時の設定を行ってください。

1. 画面上部の をクリックし、続いて左側のリンクから［アプリケーション］-［起動時］をクリックします。
2. ［ON／OFF］オプションから ON を選択します。
3. ［画面数］ドロップダウンリストから 1 画面／4 画面／9 画面よりモニタ表示する画面パターンを選択します。
4. ［番号］ドロップダウンリストから、表示する画面番号（パターン番号）を選択します。
5. ［シーケンス］起動時にシーケンス（自動スキャン）を実行する場合は［ON］を選択します。起動時にシーケンス（自動スキャン）を実行しない場合は［OFF］を選択します。
6. ［設定］ボタンをクリックします。



アラーム（電子メール）

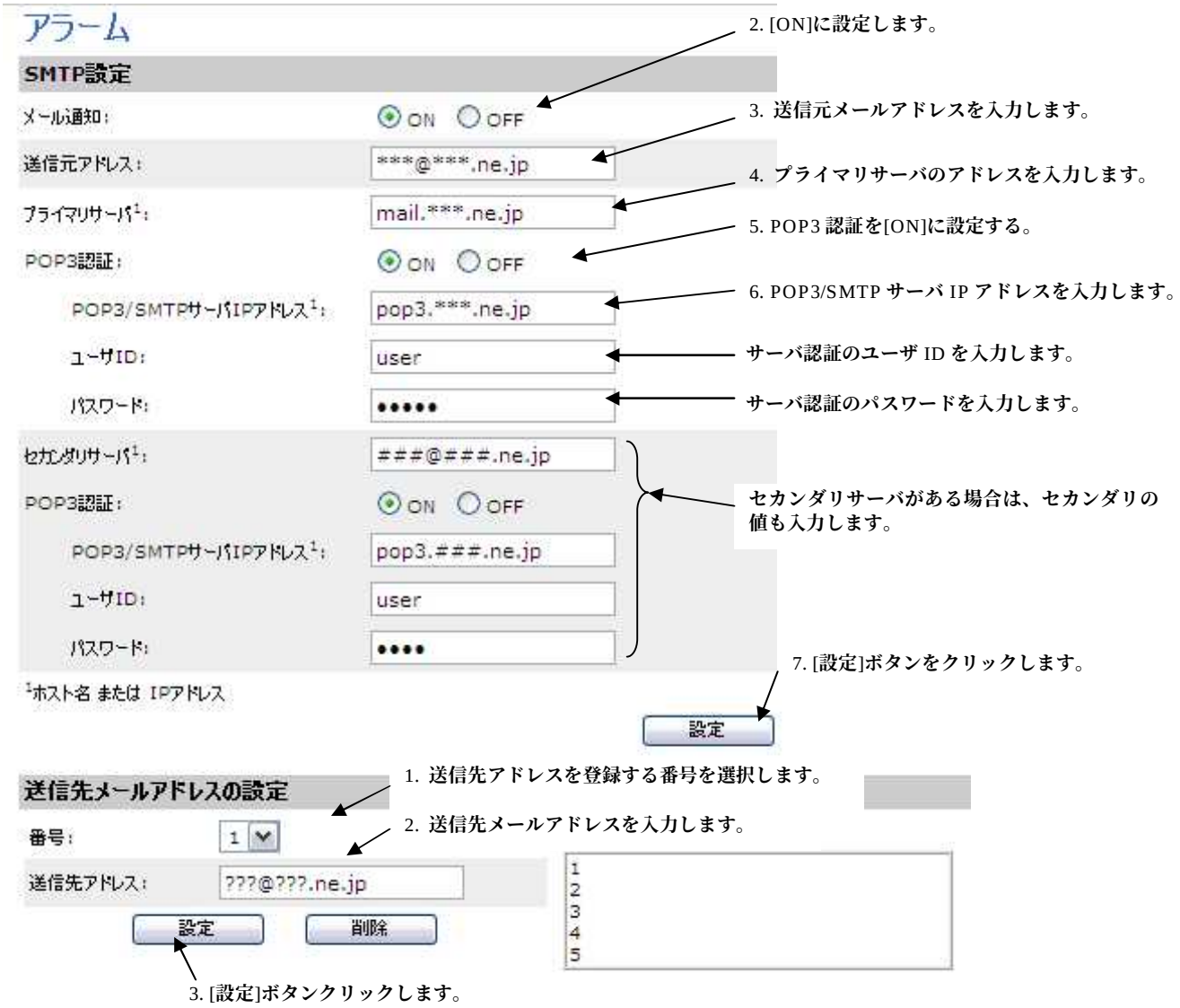
SR-N5010 は、ハードディスクエラーやシステムエラーが発生したときに、あらかじめ設定した 5 つまでの宛先に電子メールを送信することができます。

まず、以下の手順にしたがって、SMTP の設定を行ってください。

1. 画面上部の をクリックし、続いて左側のリンクから［アプリケーション］-［アラーム］をクリックします。
2. ［メール通知］オプションから ON を選択します。
3. ［送信元アドレス］メールの送信元として表示されるメールアドレスを入力します。
4. メールの送信に使用する SMTP サーバの IP アドレス（またはホスト名）を、［プライマリサーバ］フィールドに入力します。必要に応じて、［セカンダリサーバ］フィールドにセカンダリ SMTP サーバを設定することもできます。
5. SR-N5010 がメールを送信する前に SMTP サーバの POP3 認証が必要な場合は、［POP3 認証］オプションから ON を選択してください。デフォルトでは、このオプションは OFF に設定されています。
6. 必要に応じて、POP3 サーバの IP アドレス、ユーザ ID、パスワードを入力してください。
7. ［設定］ボタンをクリックします。

続いて以下の手順にしたがって、メールアドレスをリストに追加してください。

1. ［送信先メールアドレスの設定］にある［番号］ドロップダウンリストから未使用の番号を選択します。
2. ［送信先アドレス］フィールドに、メールアドレスを入力します。
3. ［設定］ボタンをクリックします。



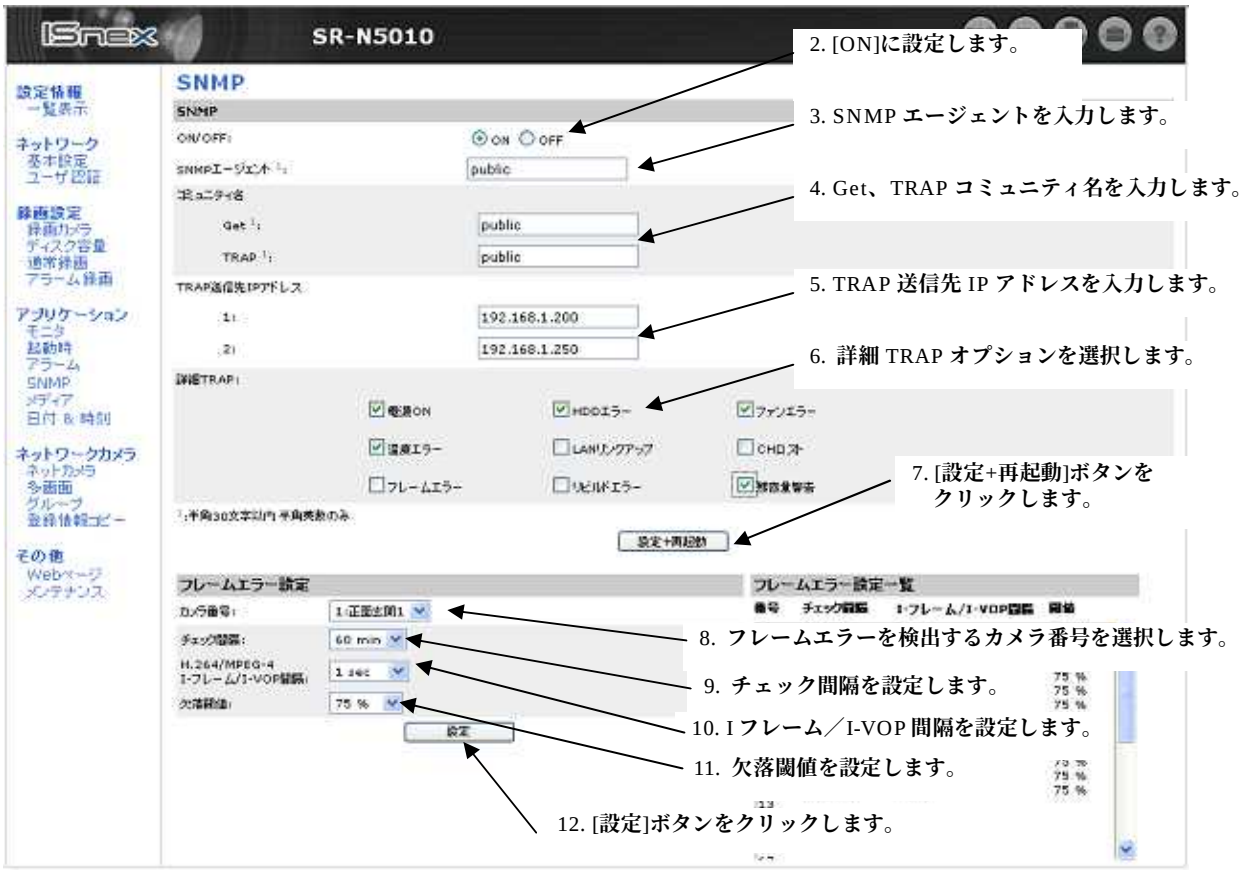
注意： SMTP サーバ、POP サーバがホスト名の場合は、［ネットワーク］-［基本設定］ページで DNS サーバを設定してください。

SNMP

SR-N5010 は、ハードディスクエラーやファンエラーが発生したときに、SNMP の TRAP を送信することができます。また、SNMP の Get による NDR の状態取得が可能です。

以下の手順にしたがって、SNMP の設定を行ってください。

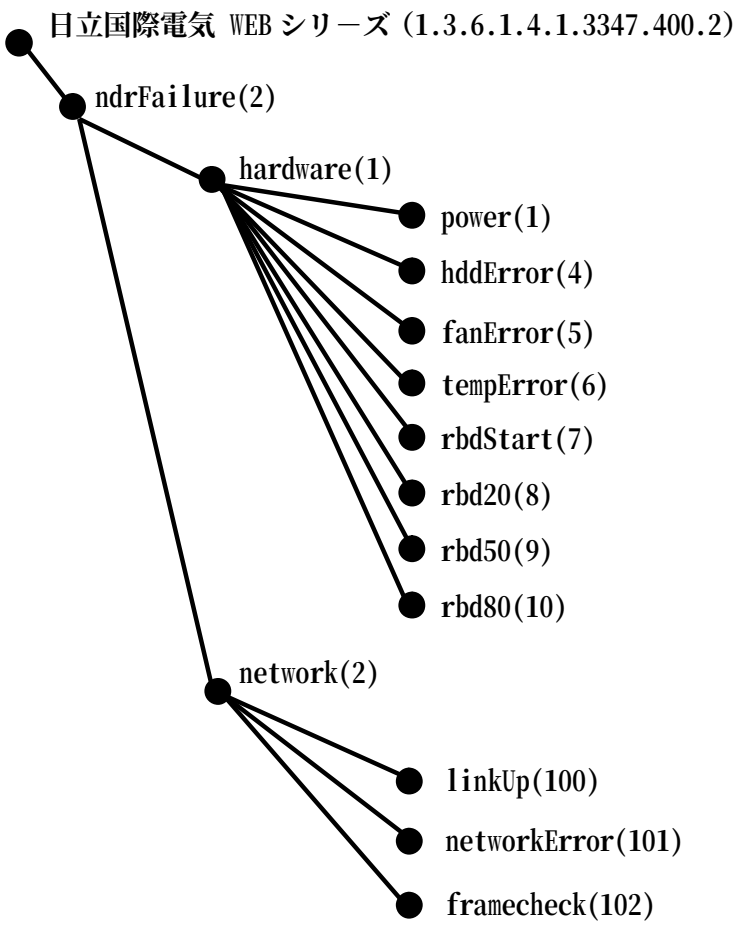
1. 画面上部の をクリックし、続いて左側のリンクから［アプリケーション］-［SNMP］をクリックします。
2. ［ON／OFF］オプションから ON を選択します。
3. ［SNMP エージェント］使用する SNMP エージェント名を入力します。
4. ［コミュニティ名］TRAP コマンドに使用するコミュニティ名と Get コマンドで使用するコミュニティ名を入力します。
5. ［TRAP 送信先 IP アドレス］TRAP 送信先 IP アドレスを入力します。
6. ［詳細 TRAP］オプションから使用する詳細 TRAP オプションを選択します。
7. ［設定＋再起動］ボタンをクリックします。



以下　新機能のフレームエラー設定関連です。
録画設定に対して実際の録画が不足なく実行されているかを確認する機能です。
H.264／MPEG-4 **の場合は** WEB **エンコーダ、**IP **カメラ側での** I **フレーム／**I-VOP **間隔を正しく設定して下さい。**

8. **フレームエラーを設定するカメラ番号を選択します。**
9. **チェック間隔を設定します。**
10. I **フレーム／**I-VOP **間隔を設定します。**
11. **欠落閾値を設定します。**
12. **設定ボタンをクリックします。**

1．SR-N5010 でサポートしている拡張 MIB は、以下の通りです。



①日立国際電気 WEB シリーズ - MIB 一覧(1.3.6.1.4.1.3347.400.2)

(1) ndrFailure　機器の故障、異常の状態を格納します。

②ndrFailure グループ(1.3.6.1.4.1.3347.400.2.2)

(1) hardware　ハードウェア故障、異常の状態を格納します。

(2) network　ネットワーク故障、異常の状態を格納します。

③hardware(1.3.6.1.4.1.3347.400.2.2.1)

(1) power　電源の状態を格納します。

(2) hddError　HDD の状態を格納します。

(3) fanError　ファンの状態を格納します。

(4) tempError　温度の状態を格納します。

(5) rbdStart　リビルド開始状態を格納します。

(6) rbd20　リビルド 20%経過状態を格納します。

(7) rbd50　リビルド 50%経過状態を格納します。

(8) rbd80　リビルド 80%経過状態を格納します。

④network (1.3.6.1.4.1.3347.400.2.2.2)

(1) linkUp　　リンクの状態を格納します。

(2) networkError　カメラからのデータ取得状態を格納します。

(3) framecheck　　フレーム欠落状態を格納します。

2. SR-N5010 での TRAP は以下の場合に発行されます。ENTERPRISE-ID は「1.3.6.1.4.1.3347.400.2.3」です。

GENERIC - ID	SPECIFIC - ID	名称	状態
6	4020	EVT_HDDERR_START	HDD エラー発生
6	4060	EVT_HDDERR_STOP	HDD エラー復旧
6	4044	EVT_TEMP1_ERR_START	温度エラー発生
6	4045	EVT_TEMP1_ERR_STOP	温度エラー復旧
6	4048	EVT_FAN1_ERR_START	FAN エラー発生
6	4049	EVT_FAN1_ERR_STOP	FAN エラー復旧
6	4065	EVT_LINK1000BASE	1000BASE リンク
6	4055	EVT_LINK100BASE	100BASE リンク
6	4056	EVT_LINK10BASE	10BASE リンク
6	4066	EVT_POWER_ON	電源 ON
6	4078	EVT_CHANNELLOST	録画カメラとの通信エラー発生
6	4079	EVT_CHANNELLOST_CHALL_STOP	録画カメラとの通信エラー復旧
6	4082	EVT_FRAME_NO_INCREASE	フレーム欠落エラー発生
6	4083	EVT_FRAME_NO_INCREASE_CHALL_STOP	フレーム欠落エラー復旧
6	4068	EVT_RAID_RBD_START	リビルド開始
6	4069	EVT_RAID_RBD_20	リビルド 20%経過
6	4070	EVT_RAID_RBD_50	リビルド 50%経過
6	4071	EVT_RAID_RBD_80	リビルド 80%経過

メディア

SR-N5010 は、本体 USB 端子に接続した外部ドライブに本体内記録映像を保存することが可能です。本体 USB 端子に接続するドライブタイプを対応ドライブ（DVRP-UN8PL2（株式会社 アイ・オー・データ機器）／LF-P968C（松下電器産業株式会社）の 2 種類）から選択してください。

以下の手順にしたがって、SR-N5010 のメディアを設定してください。

1. 画面上部の をクリックし、続いて左側のリンクから［アプリケーション］-［メディア］をクリックします。
2. ［USB 接続ドライブタイプ］接続するドライブタイプを選択します。
3. ［設定］ボタンをクリックします。

日付 & 時刻

日付と時刻は、録画データおよびライブビデオを閲覧するときに表示されます。日付と時刻は画像と一緒に保存され、録画データの検索条件などに使用されますので、正確な日付と時刻を使用するようにしてください。

SR-N5010 の日付と時刻は、手動または NTP サーバを利用して自動的に設定することができます。また、SR-N5010 を使用している地域のタイムゾーンを設定することもできます。

注意：　タイムゾーンを変更すると SR-N5010 が再起動し、録画が最大 10 分間停止します。

以下の手順にしたがって、SR-N5010 の日付と時刻を設定してください。

・手動で設定する場合

1. 画面上部の をクリックし、続いて左側のリンクから［アプリケーション］-［日付 & 時刻］をクリックします。
2. ［手動で設定する］オプションを選択して日付と時刻を指定してください。
3. ［設定］ボタンをクリックします。

・自動的に日付と時刻を更新する場合（NTP クライアント機能）

4. ［NTP サーバと同期する］オプションを選択し、NTP サーバの IP アドレス（またはホスト名）を入力してください。
5. ［設定］ボタンをクリックします。

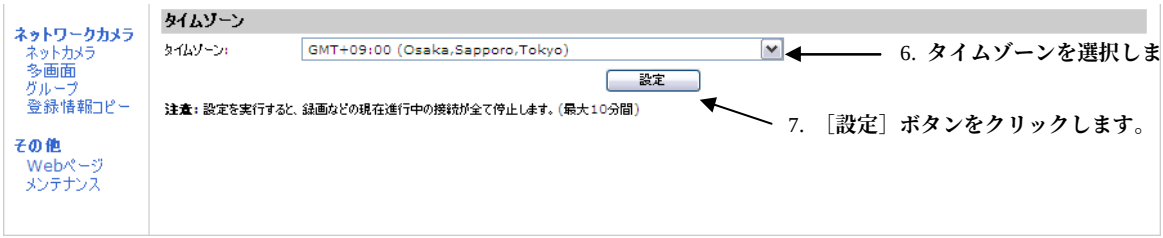
・タイムゾーンを設定する場合

6. SR-N5010 を使用している地域をタイムゾーンから選択します。
7. ［設定］ボタンをクリックします。

・手動で設定する場合

・自動的に日付と時刻を更新する場合

・タイムゾーンを設定する場合



NTP サーバ機能

SR-N5010 本体を NTP サーバとして利用できる機能があります。

NTP クライアント機器（IP カメラ等）の NTP サーバ設定に SR-N5010 を設定することで、日付と時刻を SR-N5010 と同期させることができます。

本 NTP サーバ機能は、あくまで SR-N5010 本体の時刻に同期させるものであり、電波時計等の基準時刻と同期するものではありません。基準時刻との同期が必要な場合は、SR-N5010 を NTP クライアント機器として、上位 NTP サーバ（基準時刻と同期されている）と同期を取る必要があります。

その他

その他では、WEB ページ、メンテナンスの設定を行うことができます。

WEB ページ

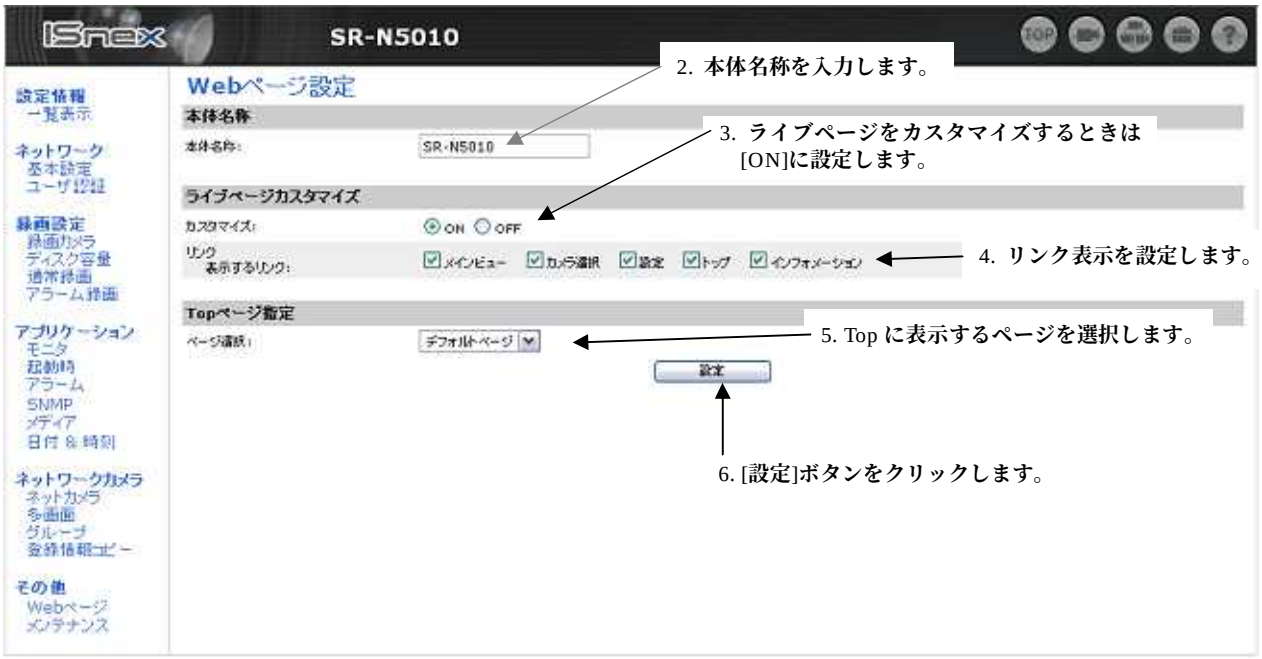
WEB ページ設定は、SR-N5010 に接続した時に表示する操作画面内容を設定することができます。

設定可能内容は、

1. ページ上部に表示する名称を設定します。
2. ライブページで表示するヘッダ名称を設定します。
3. Ｔｏｐページで表示する内容を設定します。

以下の手順にしたがって、WEB ページの設定を行ってください。

1. 画面上部の をクリックし、続いて左側のリンクから［その他］-［WEB ページ］をクリックします。
2. ［本体名称］を入力します。
3. ［ライブページカスタマイズ］の［ON／OFF］オプションから［ON］を選択します。
4. ［表示するリンク］オプションからライブページからリンクするアイコン表示を設定します。リンク設定できるのは、［メインビュー］［カメラ選択］［設定］［トップ］［インフォメーション］のリンクボタンを表示することができます。
5. ［Top ページ設定］の［ページ選択］オプションから本機器の IP アドレスを指定して WEB アクセスしたときに最初に表示されるページを設定することができます。［デフォルトページ］、［メインビュー］の中から設定可能となります。
6. ［設定］ボタンをクリックします。



注意：　設定ページへのリンクを非表示に設定した場合に、設定ページに移動するためには WEB ブラウザのアドレス入力欄へ「http://(本機の IP アドレス)/se_home.html」と入力して移動してください。

メンテナンス

［メンテナンス］ページには、SR-N5010 の管理機能があります。

画面上部の をクリックし、続いて左側のリンクから［その他］-［メンテナンス］をクリックしてください。

- 再起動：何らかの問題が発生したときに、SR-N5010 を再起動することができます。
- 工場出荷：IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、プライマリ DNS サーバ、セカンダリ DNS サーバ以外のすべてのパラメータを工場出荷時の状態にリセットします。
- 工場出荷（全設定）：すべての設定を工場出荷時の状態にリセットします。
- バックアップ：すべてのパラメータ設定をバックアップファイルに保存します。
- 復元：バックアップファイルを使用して、SR-N5010 の設定をバックアップ時の状態に戻します。

トラブルシューティング

SR-N5010 に関する問題を解決するには、まず［症状、考えられる原因、および対処方法］を参照してください。また、ファームウェアのアップグレードを行うことによって問題が解決できる場合があります。

SR-N5010 をリセットする

SR-N5010 の動作が不安定になったりした場合は、まず SR-N5010 の再起動を試してみてください。再起動しても問題が解決しないときは、SR-N5010 を工場出荷時のデフォルト設定にリセットしてください。再起動、工場出荷、工場出荷(全設定)は、設定ページの［メンテナンス］から行うことができます。画面の をクリックし、左側のリンクから［その他］-［メンテナンス］をクリックしてください。また、SR-N5010 本体の FACTORY SETUP ボタンを使用して工場出荷時の状態にリセットすることもできます。

再起動

［メンテナンス］ページの［再起動］ボタンをクリックすると、SR-N5010 が再起動します。設定は一切変更されません。

工場出荷

［メンテナンス］ページの［工場出荷］ボタンをクリックすると、IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、プライマリ DNS サーバ、セカンダリ DNS サーバ以外のすべてのパラメータを工場出荷時の状態にリセットします。

工場出荷（全設定）

［メンテナンス］ページの［工場出荷(全設定)］ボタンをクリックすると、すべてのパラメータが工場出荷時の状態にリセットされます。IP アドレスもデフォルト値にリセットされます。

注意： **［工場出荷］および［工場出荷(全設定)］を実行すると、ハードディスク上の録画データが消去されます。**

工場出荷スイッチ

初期設定化を行います（工場出荷時に戻します）。

注意： **初期設定化を行うと、設定は全て工場出荷時に戻り、録画した映像は全て消去されます。**

初期設定化は電源投入状態で、前面の FACTORY SETUP ボタンを約 5 秒間押し続けます。
その後、本製品は自動的に再起動され、工場出荷時の設定で起動されます。

<< 保守作業担当者様へのご注意 >>
ファームウェアのバージョンアップを行った場合は、必ず初期設定化を行ってください。

SR-N5010 にアクセスできない場合には、FACTORY SETUP ボタンを使用して工場出荷時の状態にリセットしてください。

注意： SR-N5010 を工場出荷時の状態にリセットすると、ハードディスク上の録画データが消去されます。

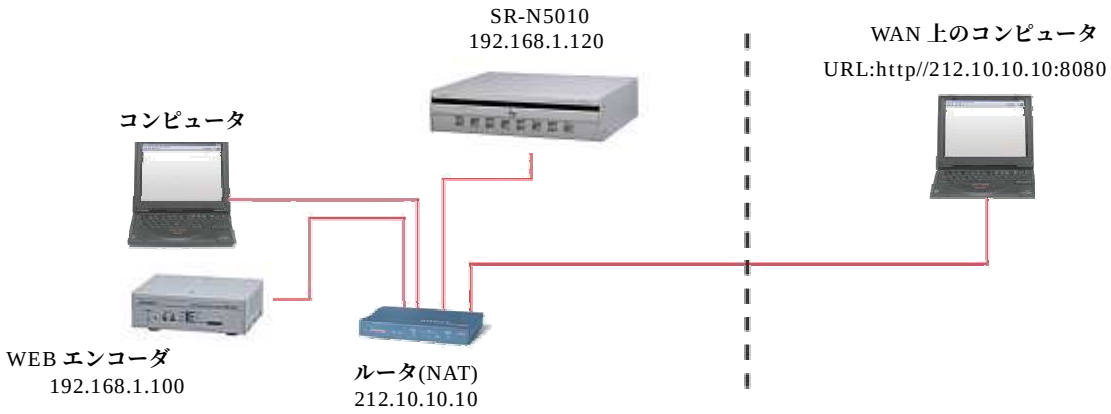
SR-N5010 での HDD 交換作業を行う場合は、ホットスワップ機能による交換が可能です。

注意： ホットスワップ機能による HDD 交換作業の詳細はサービスマニュアルを参照ください。

インターネット経由で SR-N5010 にアクセスする場合

SR-N5010 で使うネットワークポート番号は、80 番と 2000 番です。インターネット経由で SR-N5010 にアクセスしたい場合は、ルータの NAT アドレス・ポート変換の設定を以下のように設定してください。

SR-N5010 の LAN 側ポート		WAN 側ポート
ポート 80	→	80 または 80 以外に設定
ポート 2000	→	2000 または 2000 以外に設定



ポート 2000 は 2000 にマッピング
ポート 80 は他のポート（例：8080）にマッピング可

サポート

日立国際電気の技術サポートにお問い合わせをいただく前に、ログファイルとバージョン情報をご用意ください。ログファイルには、問題の解決に役立つ情報が含まれています。

・ログファイル： 画面右上の をクリックし、画面左側のリンクから［設定情報］-［一覧表示］-［ログ］ボタンをクリックしてください。ログファイルには、SR-N5010 内で発生したイベントが記録されています。

・バージョン情報： 画面右上の をクリックし、画面左側のリンクから［バージョン］をクリックしてください。バージョン情報には、SR-N5010 およびそのファームウェアについての重要な情報が含まれています。

症状、考えられる原因、および対処方法

WEB ブラウザから SR-N5010 にアクセスできない	
・プロキシサーバの問題	WEB ブラウザでプロキシサーバを使用しないよう設定してみてください。
・他のネットワークに関する問題	ネットワークケーブルに問題がないか確認してください。
内部 WEB ページが正しく表示されない	
・ネットワークの負荷が高い	十分な帯域幅を確保するようにしてください。
録画データが検索できない	
・時刻が編集されている	［日付 & 時刻］ページで手動で日付と時刻を変更した場合（時刻を戻す方向へ修正した場合）、同日、同時刻の録画データが 2 つ保存されることになり特定の日付と時刻を利用した録画データを検索できなくなることがあります。 ただし、録画データはハードディスク上に保存されていますので、前の録画データから順次再生することによって閲覧することができます。
ビデオ画像が表示されない	
・ActiveX コンポーネントがインストールされていない	ActiveX コンポーネントは、Windows 上でライブビデオを閲覧するためのソフトウェアです。ActiveX コンポーネントが正しくインストールされていない場合、ビデオは表示されません。 ActiveX コンポーネントをインストールするには、Internet Explorer の［インターネットオプション］-［セキュリティ］タブを開き、現在のゾーンのセキュリティレベルを ActiveX がインストール可能なレベルに一時的に下げてください。 SR-N5010 のメインビュー画面、または、カメラ選択画面にアクセスすると、ActiveX コンポーネントのインストールが行われます。 ActiveX のインストールが完了したらブラウザのセキュリティレベルを元のレベルに戻してください。 ActiveX コンポーネントのインストールを行うには、インストールするコンピュータに Administrator の権限でログオンしている必要があります。
・ユーザ数が多すぎる	ビデオを同時に閲覧できる最大ユーザ数は、4（9 画面表示使用時）です。 単画面のみ使用の場合には 20 ユーザの同時接続が可能です。

・ネットワークの問題	SR-N5010 はビデオの閲覧にポート 80 および 2000 を使用します。WEB ページは表示されるが、ビデオが表示されない場合は、ポート 2000 がブロックされていないかどうか確認してください。 SR-N5010 で録画を行うネットワークカメラ/ビデオサーバは、ポート 80 にアクセスできる必要があります。詳しくは、ネットワーク管理者に相談してください。
SR-N5010 はローカルに動作するが、ルータを越えて動作しない	
・ファイアウォールの問題	ファイアウォールの設定について、ネットワーク管理者と相談してください。
・設定の問題	［ネットワーク］-［基本設定］ページで、サブネットマスクとゲートウェイに正しい値が設定されているか確認してください。
SR-N5010 にホスト名でアクセスできない	
・設定の問題	［ネットワーク］-［基本設定］ページで、プライマリ DNS サーバに正しい値が設定されているか確認してください。
画像の問題	
・画像が更新されない	撮影している被写体が複雑な場合は、SR-N5010 にアクセスしているユーザ数を減らしてください。 十分な帯域幅が得られているか確認してください。（100Base-TX、または、1000Base-T のローカルエリアネットワーク内での使用を推奨します。WAN、インターネット、無線 LAN などを跨ぐ環境での全性能は保証しかねます。） また、お使いのコンピュータがシステム要件を満たしているか確認してください。
・画像がぼやける	接続しているネットワークカメラのトラブルシューティングを参照してください。
・画質が悪い	接続しているネットワークカメラのトラブルシューティングを参照してください。
・画像がちらつく	接続しているネットワークカメラのトラブルシューティングを参照してください。
・制御パネルがちらつく	SetDrawMode2.exe を使用して画面描画モードを GDI 設定にしてください。 詳細は SetDrawMode2.exe のヘルプを参照してください。
・思うようなフレームレートが出ない	システム要件を満たしたコンピュータを使用してください。 適切な帯域幅を確保するようにしてください。 SR-N5010、および接続しているカメラ/ビデオサーバの設定を確認してください。

交換部品

SR-N5010 には、以下の交換部品が用意されています。( )内は推奨交換期間です。

・ハードディスク(2 年)：SR-N5010 HARDDISK
・リチウム電池(3 年)：SR-N5010 BATTERY
・ファン(10 年)：SR-N5010 FAN

交換部品については、日立国際電気製品の販売店までご連絡ください。また、日立国際電気のホームページをご参照ください。

＜補修用性能部品の保有期間＞

補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後７年間です。
ただし、修理が困難となった場合には、別途ご相談させていただきます。

付 録

主な仕様

●映像入力

解像度	1280×960、640×480、640×240、320×240 他
圧縮方式	JPEG 方式、MPEG-4 方式、H.264 方式

●映像出力

表示方式	単画面、4 画面分割、9 画面分割
モニタ出力	RGB （映像表示の動画性は下表に示す制限があります）

圧縮方式	1 画面表示	4 画面表示	9 画面表示
JPEG (VGA 29kB)	3～5fps	3fps	2～3fps
H.264 (VGA 2000kbps)	1～2fps	1fps 以下	1fps 以下

※画像により変化しますのであくまでも目安です。

映像検索機能	時刻検索機能、 アラーム検索機能

●録画性能

記録媒体	ハードディスク 1000GB（実効容量 930GB）
録画カメラ登録数	最大 32 台
同時録画再生	可能
録画機能	通常録画（手動録画、または、スケジュール録画） アラーム録画（プリポスト録画、ポスト録画）
音声記録機能	最大 32 台（手動録画、または、スケジュール録画が必要）
対応カメラ	日立国際電気製 WEB エンコーダ、IP カメラ および、日立製作所製 IP カメラ（XD シリーズ）
カメラ制御	日立国際電気製 WEB エンコーダ、または、カメラ制御機能付き IP カメラ

●LAN

インターフェース	10 Base-T／100 Base-TX／1000 Base-T （1000Base-T 時は Pause 制御要） RJ-45 コネクタ
プロコトル	TCP／IP、HTTP、SNMP、POP3、ICMP、NTP 等

●ソフトウェア

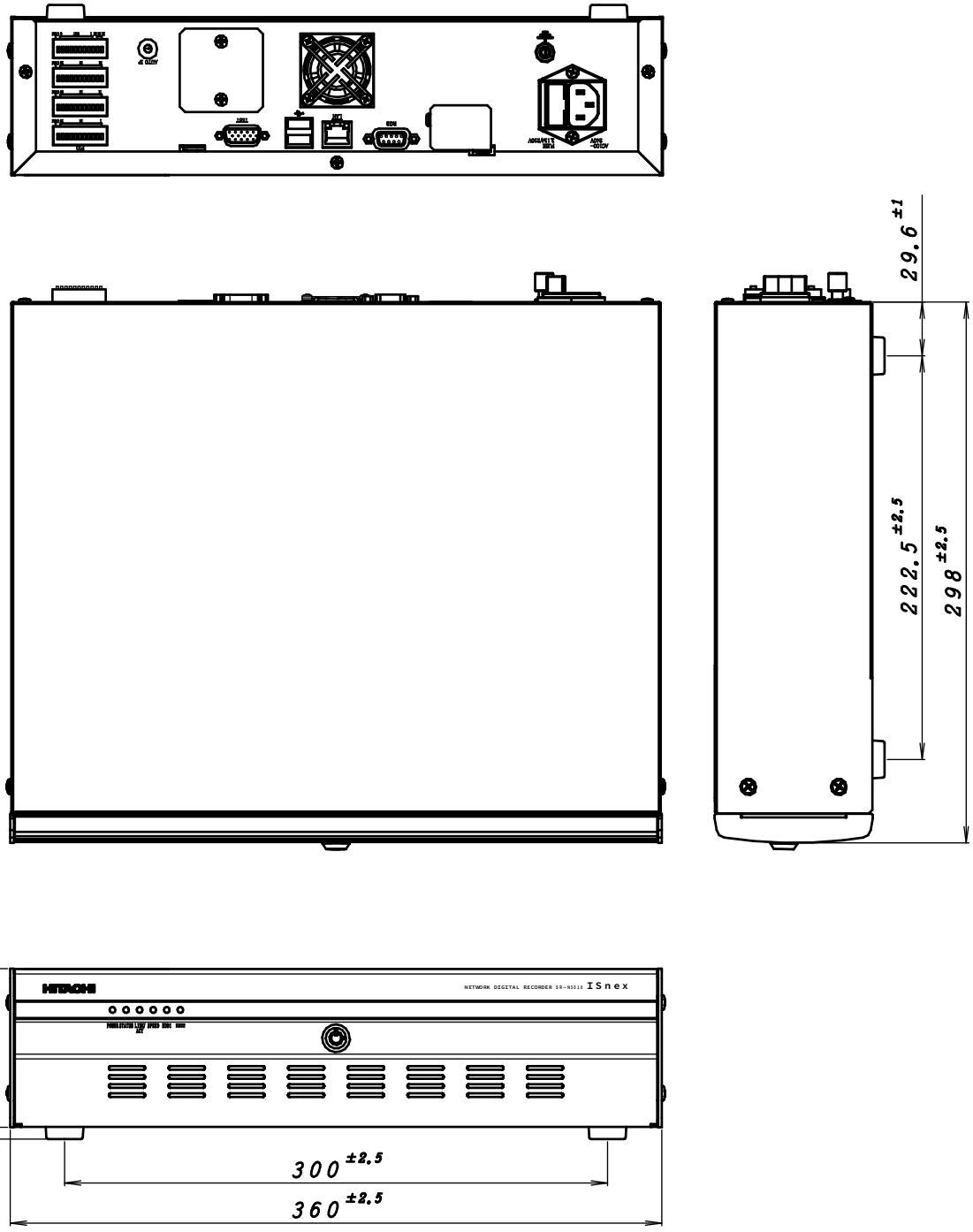
対応 OS	Windows® Vista SP1（メモリ 4G 以上）、 Windows® XP Professional SP3（メモリ 1G 以上）
対応ブラウザ	Internet Explorer® 6.0／7.0

●本体

寸法	360(W)×88(H)×300(D)mm （突起部を除く）
質量	約 7kg
動作温度	5～40℃
電源・消費電力	AC100V、約 40W
時刻精度	月差±2 分以内

本仕様は改良等の理由により予告なく変更する事があります。

外形寸法図



工場出荷時の設定

工場出荷時の状態を示します。

基本設定ページ	
項目	値
＜ＩＰアドレス設定＞	
DHCP を利用して IP アドレスを取得する	OFF
手動で設定する	ON
＜手動で設定する＞	
IP アドレス	192.168.1.120
サブネットマスク	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	192.168.1.254
プライマリ DNS	未設定
セカンダリ DNS	未設定
HTTP ポート（80）	80
映像ポート（2000）	2000
＜DIPdeIP 設定＞	
ON/OFF	ON

ユーザ認証ページ	
項目	値
＜ユーザ認証＞	
ON/OFF	ON
認証領域名称	SR-N5010
＜ユーザ設定＞	
番号 1	ユーザ権限　管理者権限 ユーザ ID　root パスワード　admin

録画カメラページ	
項目	値
＜カメラ設定＞	
1～32	未設定
＜アラーム録画＞	
1～32	OFF
＜音声記録＞	
1～32	OFF

ディスク容量ページ	
項目	値
＜ディスク容量＞	
1～32	手動＆スケジュール録画映像　未設定 手動＆スケジュール録画音声　未設定 アラーム録画映像　未設定

通常録画ページ	
項目	値
＜スケジュール設定＞	
1～32	未設定
＜手動録画設定＞	
1～32	未設定

アラーム録画ページ	
項目	値
＜アラーム録画設定＞	
1～32	未設定

モニタページ	
項目	値
＜4 画面パターン＞	
1～8	未設定
＜9 画面パターン＞	
1～8	未設定
＜シーケンス＞	
切替時間	1min
＜本体モニタ表示＞	
ON/OFF	OFF

起動時ページ	
項目	値
＜モニタ起動時設定＞	
ON/OFF	ON
画面数	1 画面
番号	未設定
シーケンス	OFF
文字表示（本体モニタ）	時刻 ON カメラ名称 ON シーケンス ON ステータス ON 録画 ON
＜カメラ選択画面起動時設定＞	
ON/OFF	OFF
画面数	1 画面
番号	1：CAMERA1
シーケンス	OFF

アラームページ	
項目	値
＜SMTP 設定＞	
メール通知	OFF
送信元アドレス	未設定
プライマリサーバ	未設定
POP3 認証	OFF
POP3/SMTP サーバ IP アドレス	未設定
ユーザ ID	未設定
パスワード	未設定
セカンダリサーバ	未設定
POP3 認証	OFF
POP3/SMTP サーバ IP アドレス	未設定
ユーザ ID	未設定
パスワード	未設定
＜送信先メールアドレスの設定＞	
1～5	未設定

SNMP ページ	
項目	値
＜SNMP 設定＞	
ON/OFF	OFF
SNMP エージェント	未設定
コミュニティ名 Get	未設定
コミュニティ名 TRAP	未設定
TRAP 送信先 IP アドレス 1	未設定
TRAP 送信先 IP アドレス 2	未設定
詳細 TRAP	電源 ON OFF HDD エラー OFF ファンエラー OFF 温度エラー OFF LAN リンクアップ OFF CH ロスト OFF

メディアページ	
項目	値
＜USB 接続ドライブタイプ＞	
USB 接続ドライブタイプ	DVRP-UN8PL2

日付＆時刻ページ	
項目	値
＜時刻設定＞	
手動設定	現在時刻
NTP サーバと同期する	OFF
プライマリ NTP サーバ	未設定
セカンダリ NTP サーバ	未設定
問い合わせ間隔	1 時間
＜タイムゾーン＞	
タイムゾーン	GMT+9:00（Osaka,Sapporo,Tokyo）

ネットカメラページ		
項目	値	
＜カメラ情報＞		
1	グループ	1：GROUP1
	カメラ名称	CAMERA1
	カメラ URL	192.168.1.100
	ポート(80)	80
	映像種類	JPEG(HTTP)
	カメラ ID	1
	回線レート	0kbps
	シーケンス	1
	プリセット	OFF
	切替時間	1min
	ライブ種類	カメラ直接
	録画装置 URL	未設定
	録画装置 HTTP ポート(80)	未設定
	録画装置映像ポート(2000)	未設定
	録画カメラ ID	1

多画面ページ	
項目	値
＜4 画面パターン＞	
1～13	未設定
＜9 画面パターン＞	
1～6	未設定

グループページ	
項目	値
＜グループ情報＞	
1	GROUP1

登録情報コピーページ	
項目	値
＜ネットワーク情報コピー＞	
コピー元の IP アドレス	未設定
ポート	未設定
ユーザ名	未設定
パスワード	未設定

Web ページ設定ページ	
項目	値
＜本体名称＞	
本体名称	SR-N5010
＜ライブページカスタマイズ＞	
カスタマイズ	OFF
リンク　表示するリンク	メインビュー　ON カメラ選択　ON 設定　ON トップ　ON インフォメーション　ON
＜Top ページ指定＞	
ページ選択	デフォルトページ

保証とアフターサービス

1. 保証期間（無償修理期間）は、お買い上げの日より 1 年間です。万一、保証期間中に故障した場合には、販売店までご相談ください。
2. 保証期間経過後の修理については、販売店までご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有償修理をいたします。
3. 修理をご依頼のときは、お手数でも、もう一度取扱説明書をよくお読みになり、再度お確かめの上、型式、購入日、故障状況などをできるだけ詳しくお知らせください。
4. 本製品を長時間安定した性能でご使用いただくためには、約 1〜2 年ごとの定期的な保守、点検の実施をお願いします。
   保守、点検およびアフターサービスについてご不明な点は、販売店までご相談ください。
5. 本製品の故障もしくは不具合により発生した、付随的損害（営業損失などの補填）の責任は負わないものとします。
6. 本製品で使用するハードディスクは消耗品です。ハードディスクが故障した場合、記録した映像、設定などのデータの保管、および復旧はできません。
7. 本製品は、犯罪抑止などを意図して製作された製品ですが、犯罪の防止・安全を完全に保証するものではありません。万一被害など発生しましても、当社は責任を負わないものとします。

問い合わせ窓口

名称	郵便番号	所在地	電話／FAX
■本社	101-8980	東京都千代田区外神田 4-14-1(秋葉原 UDX ビル 11F)	03-5209-5931/03-5209-6119
■放送映像事業部	101-8980	東京都千代田区外神田 4-14-1(秋葉原 UDX ビル 11F)	03-6734-9530/03-5209-6074
■北海道支社	060-0002	北海道札幌市中央区北二条西 1-1(マルイト札幌ビル 11F)	011-233-6111/011-222-0857
■東北支社	980-6010	宮城県仙台市青葉区中央 4-6-1(住友生命仙台中央ビル 10F)	022-723-1800/022-723-1811
青森営業所	030-0801	青森県青森市新町 2-2-4(青森新町二丁目ビル 8F)	017-735-1645/017-773-2963
秋田営業所	010-0976	秋田県秋田市八橋南 2-10-16(秋田県 JA ビル 6F)	018-863-4180/018-865-3237
■中部支社	460-0003	愛知県名古屋市中区錦 2-15-15(豊島ビル 12F)	052-223-2770/052-223-2701
北陸営業所	920-0853	石川県金沢市本町 2-15-1(ポルテ金沢 13F)	076-265-7098/076-233-1918
静岡営業所	420-0851	静岡県静岡市葵区黒金町 59-7（ニッセイ静岡駅前ビル 9F)	054-251-2011/054-251-2829
■関西支社	540-0001	大阪府大阪市中央区城見 2-2-22(マルイト OBP ビル 6F)	06-6920-6320/06-6920-6326
■中国支社	732-0052	広島県広島市東区光町 1-10-19(日本生命広島光町ビル 3F)	082-262-5931/082-264-0003
■四国支社	761-8054	香川県高松市東ハゼ町 9-3	087-867-2300/087-867-3806
高知営業所	780-0870	高知県高知市本町 2-2-34（明治安田生命高知ビル 7F)	088-872-5997/088-872-5141
■九州支社	812-0013	福岡県福岡市博多区博多駅東 2-13-34(エコービル 3F)	092-412-8828/092-412-8838
沖縄営業所	900-0032	沖縄県那覇市松山 1-1-14	098-860-8706/098-860-8705
新潟営業所	950-0986	新潟県新潟市中央区神道寺南 1-6-2	025-244-4000/025-244-3988
茨城営業所	310-0805	茨城県水戸市中央 1-2-15(水戸中央ビル)	029-227-4820/029-227-6648

形式 SR-N5010		製造番号
お買い上げ年月日 ＊　年　月　日	保証期間	1 年
お客様 ご芳名		様
お客様 ご住所	〒 TEL	
販売店	＊ TEL	

＊印欄に記入のない場合は無効となりますから、必ず記入の有無をご確認下さい。

この製品は、厳密なる品質管理のもとで検査を経て、お届けしたものです。お客様の正常なご使用状態で、万一故障した場合には保証規定により修理いたします。

・本製品についての故障修理その他の問い合せはお買上げ販売店または最寄りのサービス窓口へご連絡下さい。

・本保証書は再発行いたしませんので、大切に保管して下さい。

株式会社 日立国際電気
〒101-8980 東京都千代田区外神田 4-14-1
TEL 03(5209)5931

保 証 規 定

1. 弊社は保証期間内に万一製造上の不備に起因する故障が発生した場合は、弊社のサービス担当において無料で修理いたします。

2. 保証期間内に無料修理を受ける場合は、お買上げ販売店または弊社サービス窓口に製品と本書をご提示の上、依頼して下さい。

3. 次のような場合には保証期間内でも有料修理になります。
   (1) 使用上の誤りにより生じた故障。
   (2) 弊社のサービスマン以外の手による修理または改造により生じた故障。
   (3) 高温環境（40℃以上）での連続使用による故障。
   (4) 他の機器から受けた障害（たとえば周囲の強力な磁界など）。
   (5) お買上げ後の移動、輸送、落下冠水などによる故障。
   (6) 火災、塩害、ガス害、異常電圧、地震、落雷、風水害、その他天災地変などによる故障。
   (7) お客様のご要望により出張サービスを行った場合の出張料金。
   (8) 本保証書にお買上げ年月日、販売店名の記入がない場合、あるいは字句が書き替えられた場合。
   (9) この保証書のご提示がない場合。

4. 本保証書は日本国内においてのみ有効です。
   This warranty is valid only in Japan.